

西尾市 介護保険事業計画  
策定にかかるアンケート調査  
【調査結果報告書】

令和8年3月

西 尾 市



## 目 次

|     |                      |     |
|-----|----------------------|-----|
| I   | 調査の概要                | 1   |
| 1   | 調査の目的                | 2   |
| 2   | 調査の実施概要              | 2   |
| 3   | 報告書の見方               | 3   |
| II  | 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果   | 5   |
| 1   | あなたご自身について           | 6   |
| 2   | あなたのご家族や生活状況について     | 9   |
| 3   | からだを動かすことについて        | 15  |
| 4   | 食べることについて            | 22  |
| 5   | 毎日の生活について            | 27  |
| 6   | 地域での活動について           | 34  |
| 7   | たすけあいについて            | 38  |
| 8   | 健康について               | 43  |
| 9   | 認知症に関することについて        | 48  |
| 10  | 介護保険や高齢者福祉施策について     | 52  |
| 11  | 調査結果からみる調査対象者の評価について | 58  |
| III | 在宅介護実態調査結果           | 71  |
| A票  | 基本調査項目               | 72  |
| B票  | 主な介護者に関する調査項目        | 88  |
| IV  | 事業所調査結果              | 95  |
| 1   | 事業所の概要について           | 96  |
| 2   | 事業所の人材確保の状況について      | 100 |
| 3   | サービスや人材の質の向上について     | 111 |
| 4   | 他機関等との連携状況について       | 113 |
| 5   | 市の介護保険サービスについて       | 117 |
| 6   | 事業所運営や介護保険全般について     | 119 |
| 7   | 施設・居住系サービス事業所について    | 123 |



# I 調査の概要

# 1 調査の目的

本調査は、「第10期西尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定のための基礎資料とすることを目的とし、市内にお住まいの65歳以上の方と、要支援・要介護認定を受けている方、市内の事業所を対象として、生活の状況や高齢者福祉、介護保険に関するニーズや課題などを把握するために実施しました。

# 2 調査の実施概要

## ■調査に関する事項

| 区 分  | 介護予防・日常生活<br>圏域ニーズ調査               | 在宅介護実態調査                         | 事業所調査                |
|------|------------------------------------|----------------------------------|----------------------|
| 対象   | 市内在住の65歳以上の方<br>で要介護認定を受けてい<br>ない方 | 市内在住の要支援・要介<br>護認定を受けている方        | 市内の介護事業所             |
| 調査方法 | 郵送配布<br>郵送回収<br>(一部WEB回収)          | 郵送配布・郵送回収、<br>一部調査員による<br>聞き取り調査 | 郵送配布<br>郵送回収         |
| 調査期間 | 令和7年12月1日～<br>12月19日               | 令和7年12月1日～<br>令和8年1月16日          | 令和7年12月1日～<br>12月24日 |

## ■配布・回収に関する事項

| 区 分      | 介護予防・日常生活<br>圏域ニーズ調査 | 在宅介護実態調査 | 事業所調査 |
|----------|----------------------|----------|-------|
| 配布数(A)   | 7,000件               | 1,145件   | 216件  |
| 回収件数(B)  | 4,898件               | 641件     | 180件  |
| 回収率(B/A) | 70.0%                | 56.0%    | 83.3% |

### 3 報告書の見方

---

#### ●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果とクロス集計結果を記載しています。なお、クロス集計結果では、性別等の不明・無回答者が含まれていないため、クロス集計結果の回答者総数の合計と全体の回答者総数は合致しません。

#### ●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。

#### ●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

#### ●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

#### ●「不明・無回答」について

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

#### ●表について

表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、**最も割合の高い項目**と**二番目に割合の高い項目**を表しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は順位の表記を省略し、読取文の対象外としています。

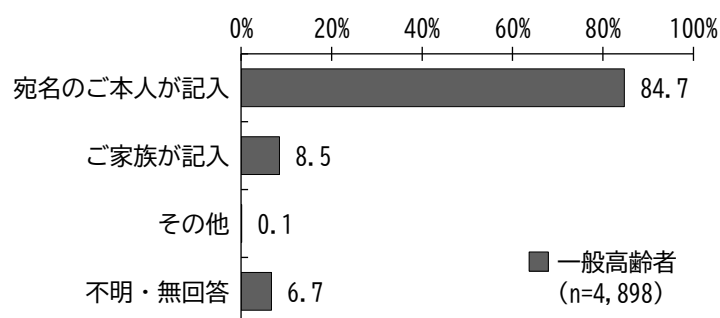




## Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

記入者は、「宛名のご本人が記入」が84.7%、「ご家族が記入」が8.5%、「その他」が0.1%となっています。

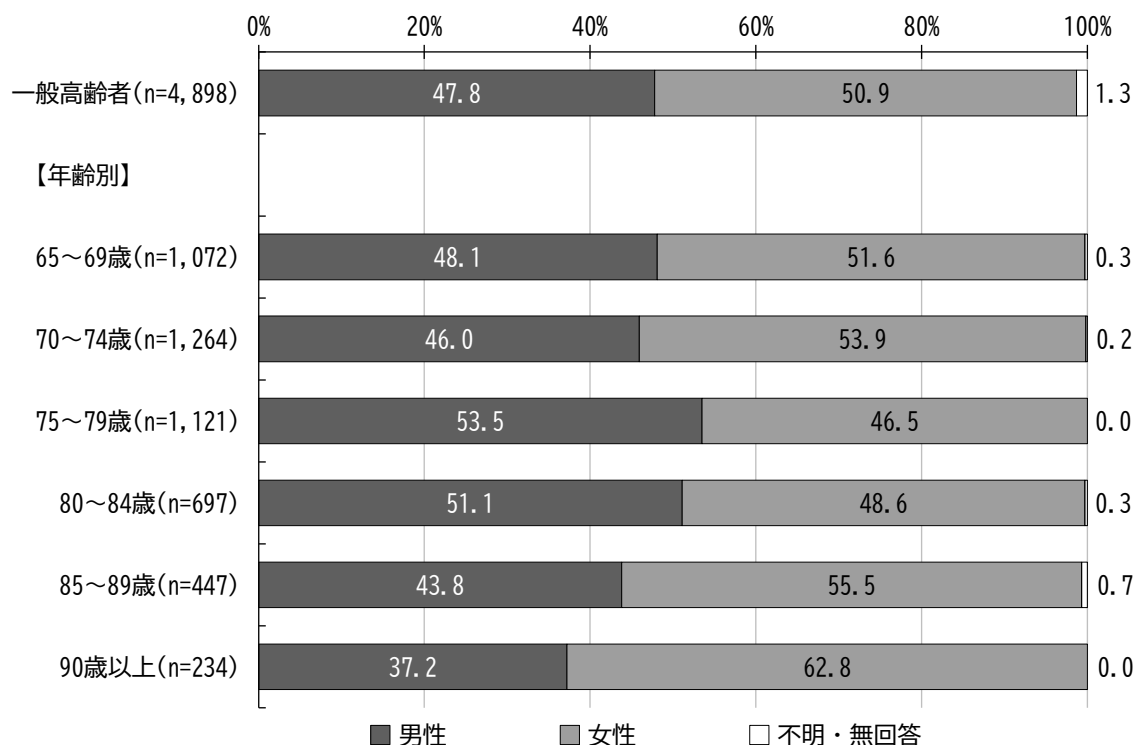


## 1 あなたご自身について

(1) あなたの性別は、どちらですか。(○は1つ)

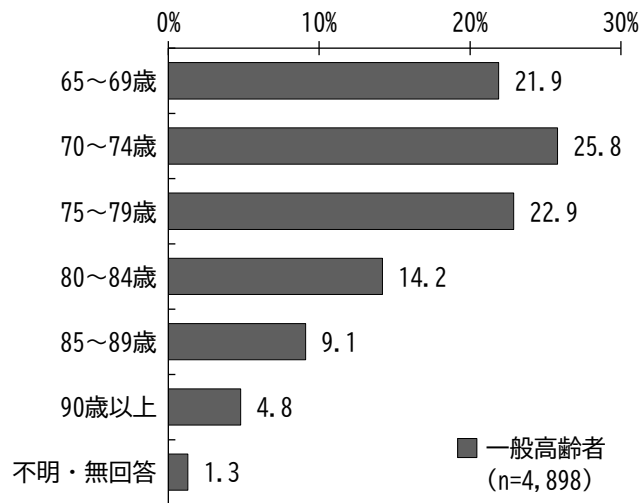
性別は、「男性」が47.8%、「女性」が50.9%となっています。

年齢別では、75～79歳、80～84歳で「男性」がそれぞれ5割台となっています。



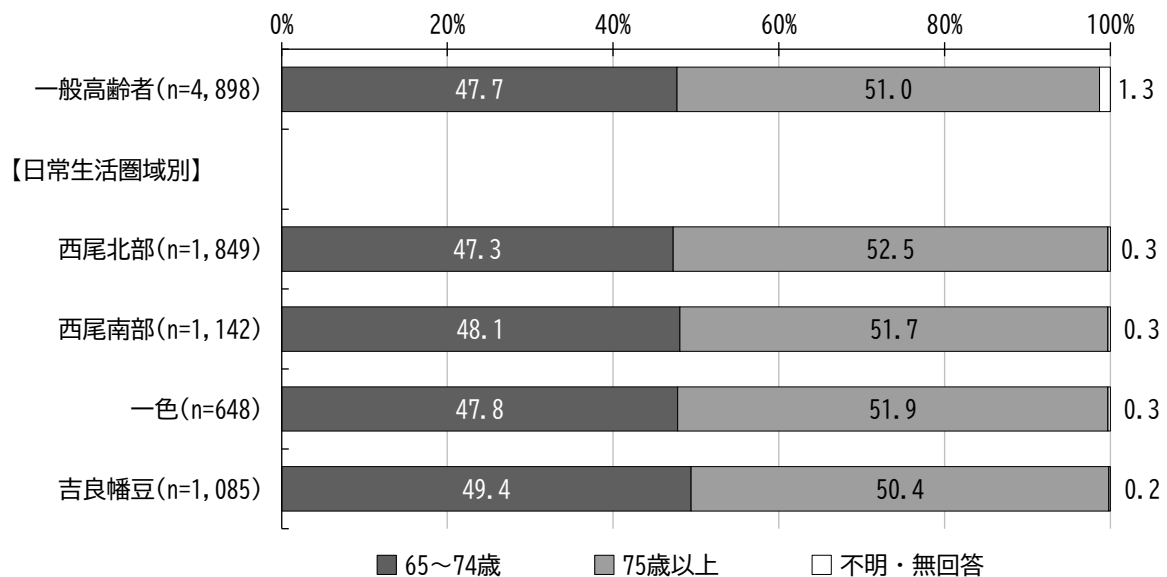
(2) あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つ)

年齢は、「70～74 歳」が 25.8%と最も高く、次いで「75～79 歳」が 22.9%、「65～69 歳」が 21.9%となっています。



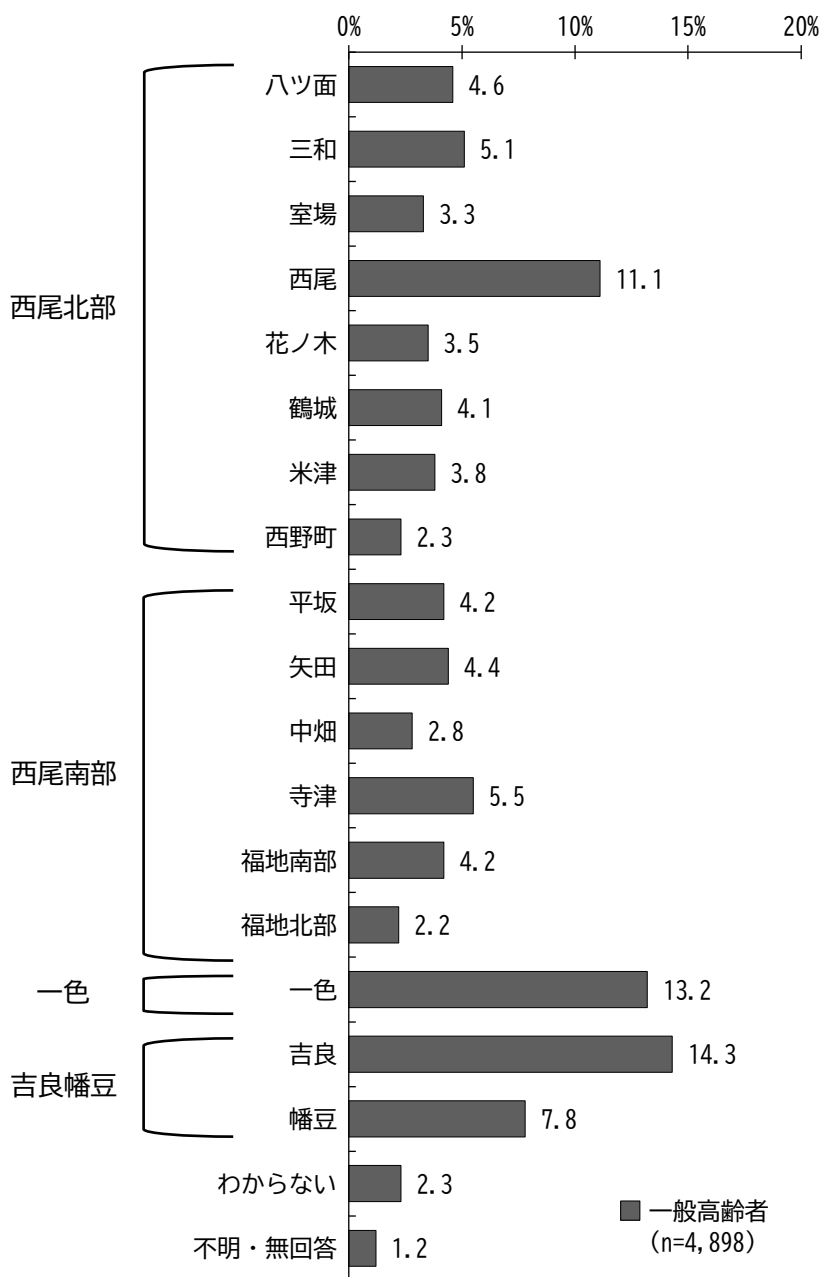
年齢を前期高齢者と後期高齢者に分類すると、「65～74 歳」の前期高齢者が 47.7%、「75 歳以上」の後期高齢者が 51.0%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「65～74 歳」の前期高齢者がそれぞれ4割台、「75 歳以上」の後期高齢者がそれぞれ5割台となっています。

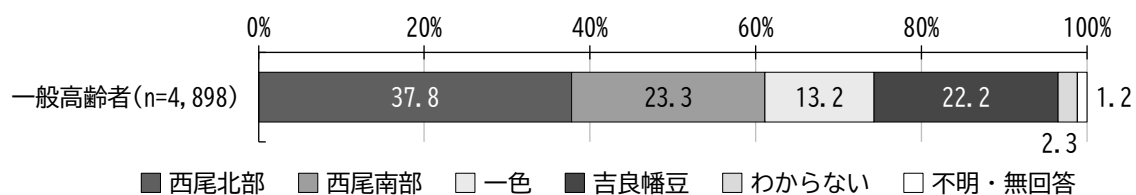


(3) あなたの居住地（生活圏域）は、次のどれですか。（○は1つ）

居住地は、「吉良」が14.3%と最も高く、次いで「一色」が13.2%、「西尾」が11.1%となっています。



日常生活圏域は、「西尾北部」が37.8%と最も高く、次いで「西尾南部」が23.3%、「吉良幡豆」が22.2%となっています。



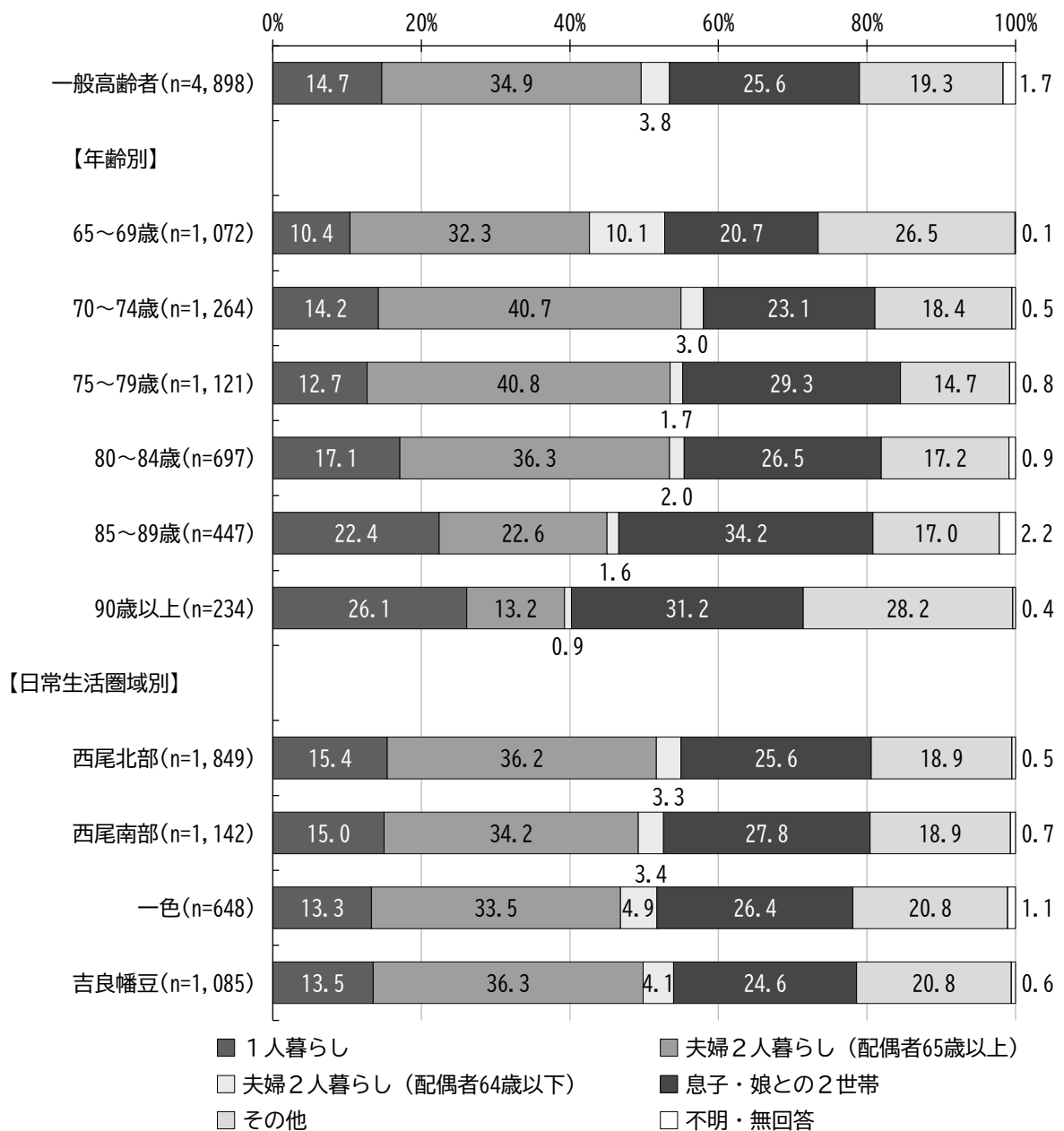
## 2 あなたのご家族や生活状況について

### (1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

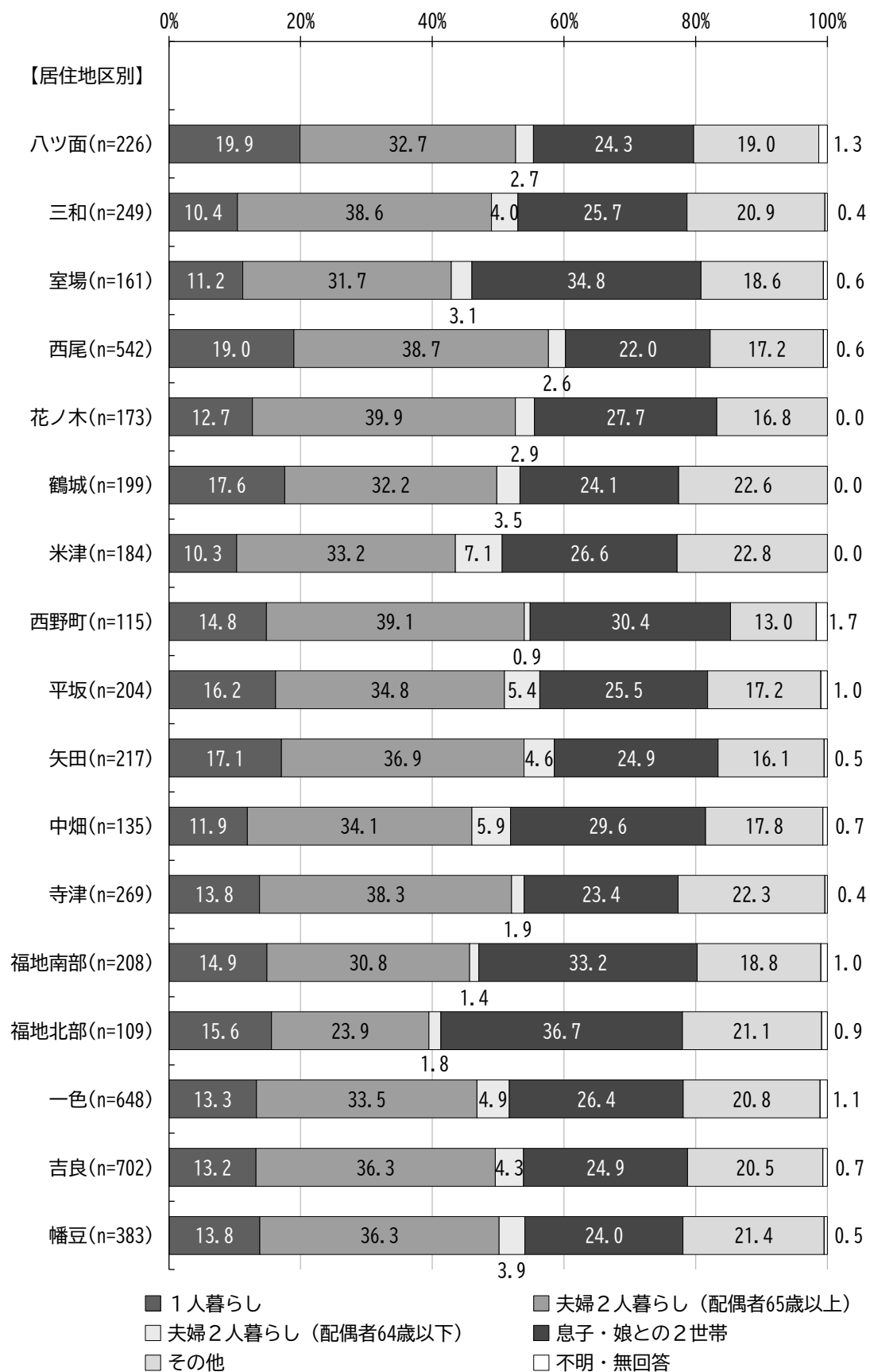
家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が34.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が25.6%、「その他」が19.3%となっています。なお、「1人暮らし」は14.7%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」が高くなっており、90歳以上で26.1%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「1人暮らし」がそれぞれ1割台となっています。

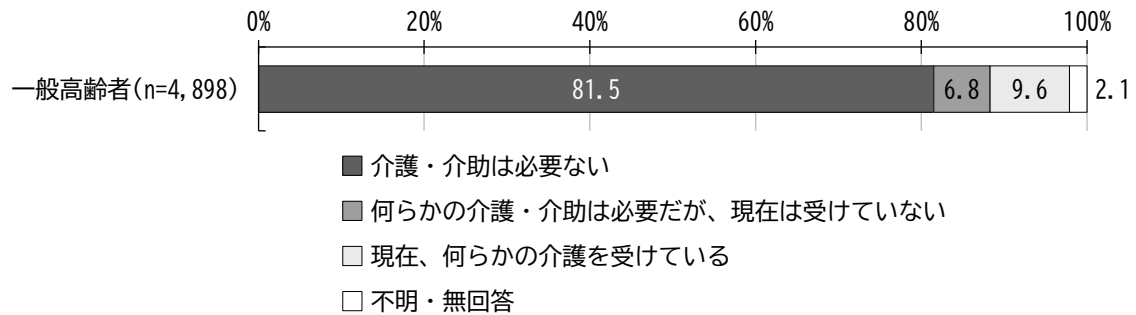


居住地別では、八ツ面、西尾で「1人暮らし」がそれぞれ約2割となっています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

普段の生活で誰かの介護・介助が必要かは、「介護・介助は必要ない」が81.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.8%、「現在、何らかの介護を受けている」が9.6%となっています。

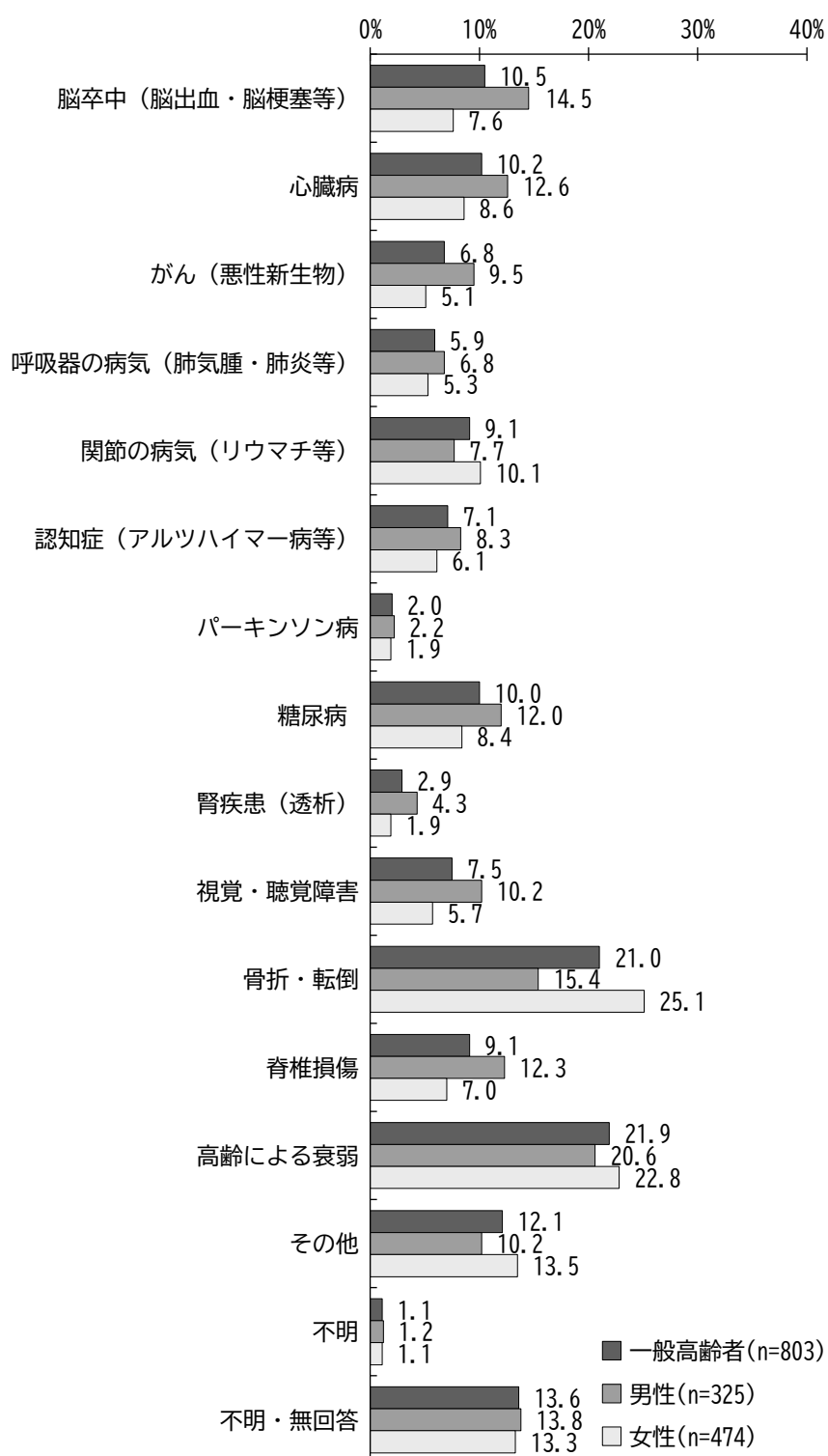


【(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」に○を付けた方】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（○はいくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が21.9%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が21.0%、「その他」が12.1%となっています。

性別では、男性で「高齢による衰弱」が20.6%、女性で「骨折・転倒」が25.1%と、それぞれ最も高くなっています。

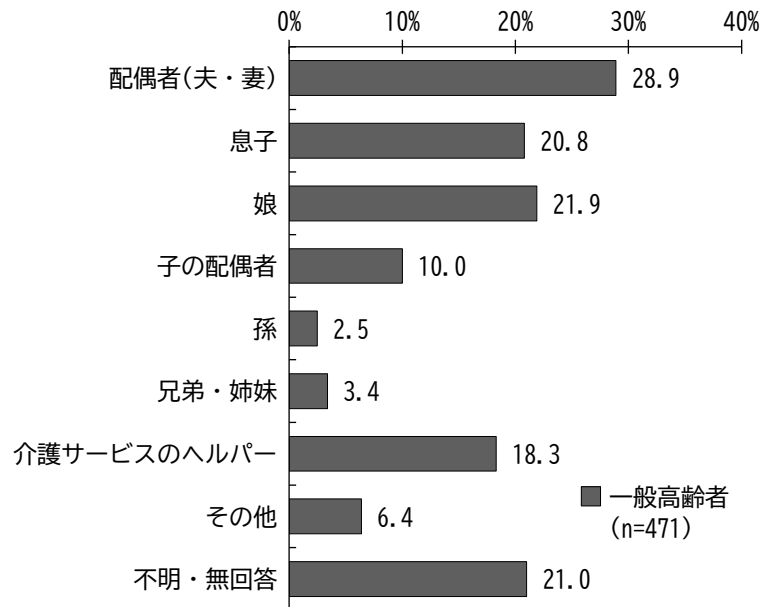




【(2)で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」に○を付けた方】

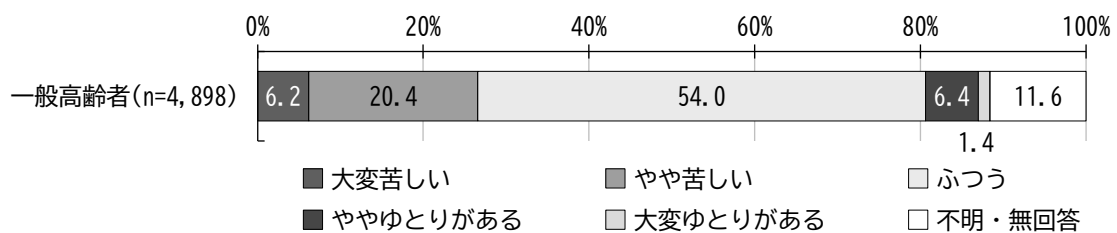
②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

主にどなたの介護、介助を受けているかは、「配偶者(夫・妻)」が 28.9%と最も高く、次いで「娘」が 21.9%、「息子」が 20.8%となっています。



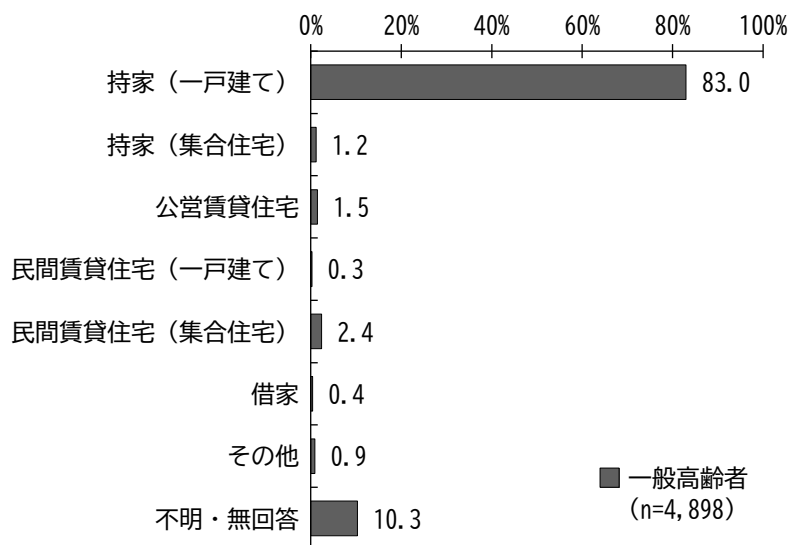
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかは、『苦しい』(「大変苦しい」と「やや苦しい」の合算)が 26.6%、「ふつう」が 54.0%、『ゆとりがある』(「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合算)が 7.8%となっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

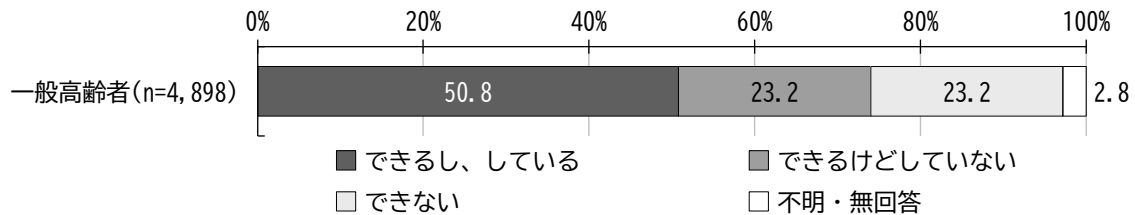
住まいについてみると、「持家（一戸建て）」が83.0%と最も高くなっています。



### 3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ) ※「運動器の機能低下」判定項目

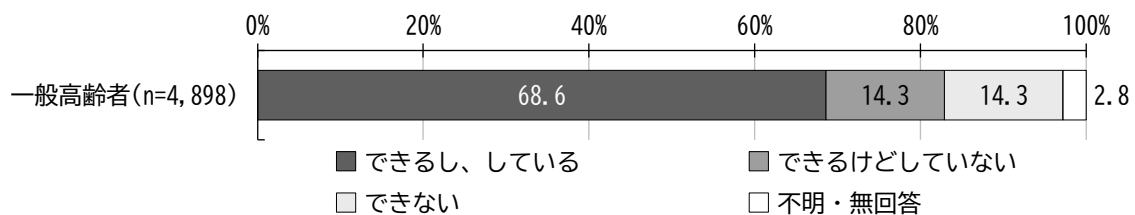
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が50.8%、「できるけどしていない」が23.2%、「できない」が23.2%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は74.0%となっています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

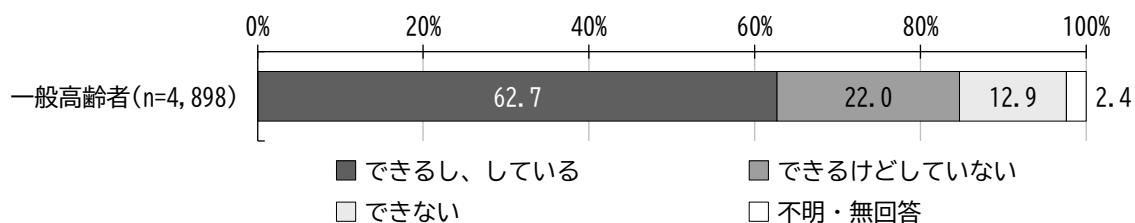
※「運動器の機能低下」判定項目

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が68.6%、「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が14.3%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は82.9%となっています。



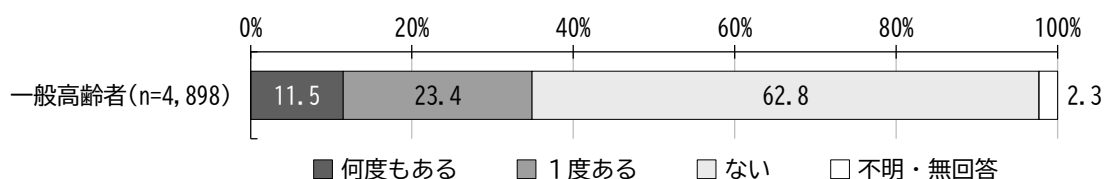
(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ) ※「運動器の機能低下」判定項目

15分位続けて歩いているかは、「できるし、している」が62.7%、「できるけどしていない」が22.0%、「できない」が12.9%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は84.7%となっています。



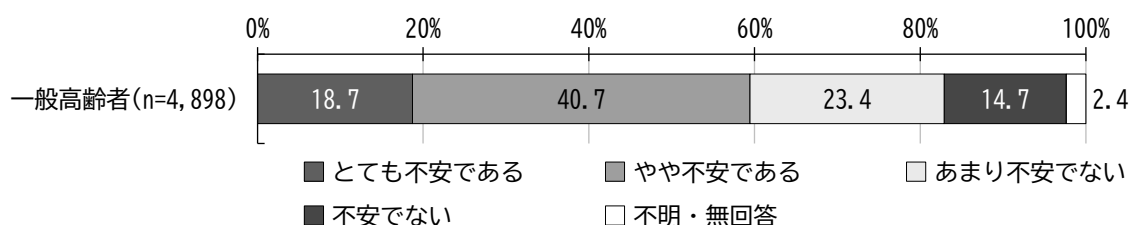
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ) ※「運動器の機能低下」「転倒リスク」判定項目

過去1年間に転んだ経験があるかは、「何度もある」が11.5%、「1度ある」が23.4%、「ない」が62.8%となっています。



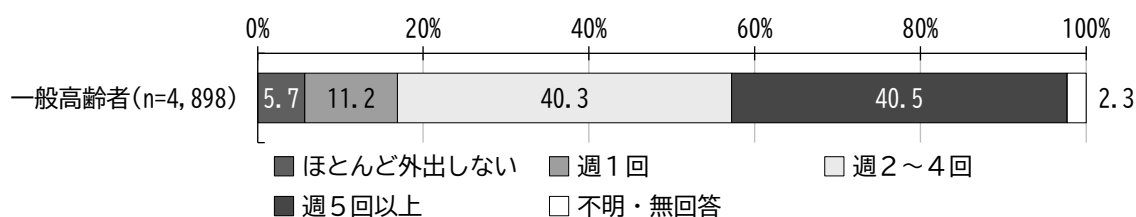
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ) ※「運動器の機能低下」判定項目

転倒に対する不安は大きいかは、『不安である』(「とても不安である」と「やや不安である」の合算)が59.4%、『不安でない』(「あまり不安でない」と「不安でない」の合算)が38.1%となっています。



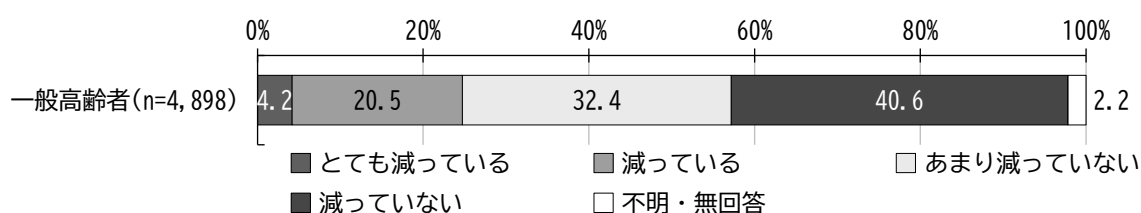
(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ) ※「閉じこもり傾向」判定項目

週に1回以上は外出しているかは、「週5回以上」が40.5%と最も高く、次いで「週2～4回」が40.3%、「週1回」が11.2%となっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

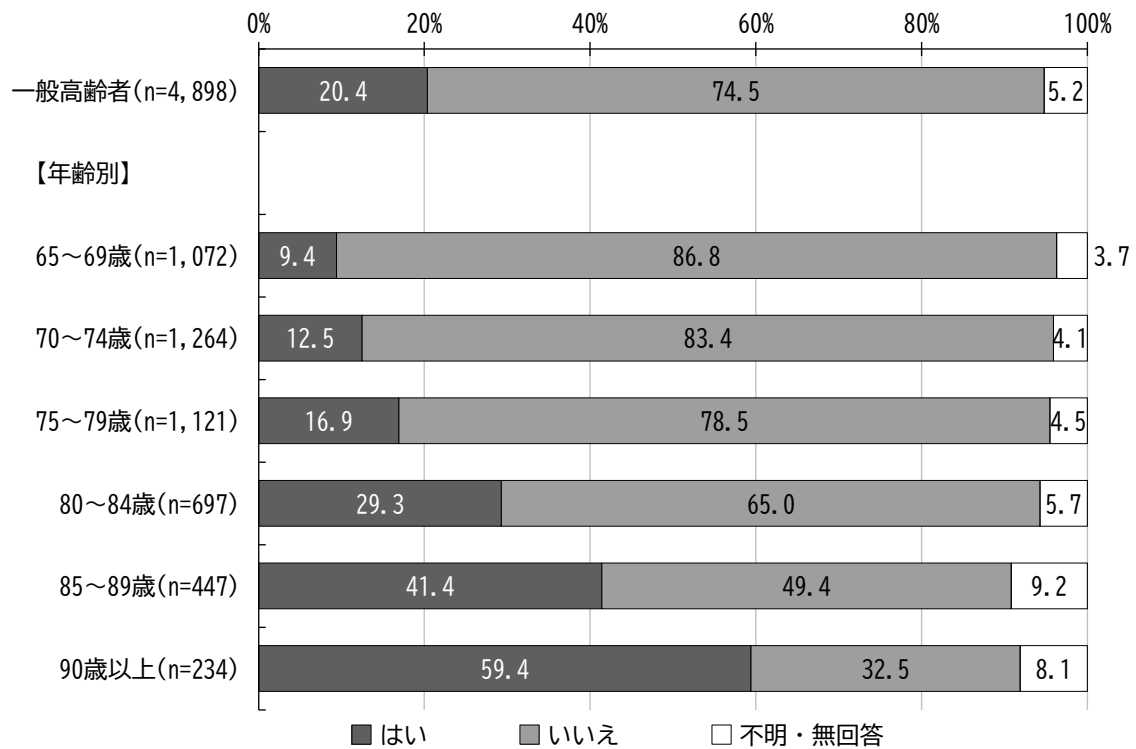
昨年と比べて外出の回数が減っているかは、『減っている』(「とても減っている」と「減っている」の合算)が24.7%、『減っていない』(「あまり減っていない」と「減っていない」の合算)が73.0%となっています。



(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかは、「はい」が20.4%、「いいえ」が74.5%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「はい」が高くなっており、90歳以上で59.4%となっています。

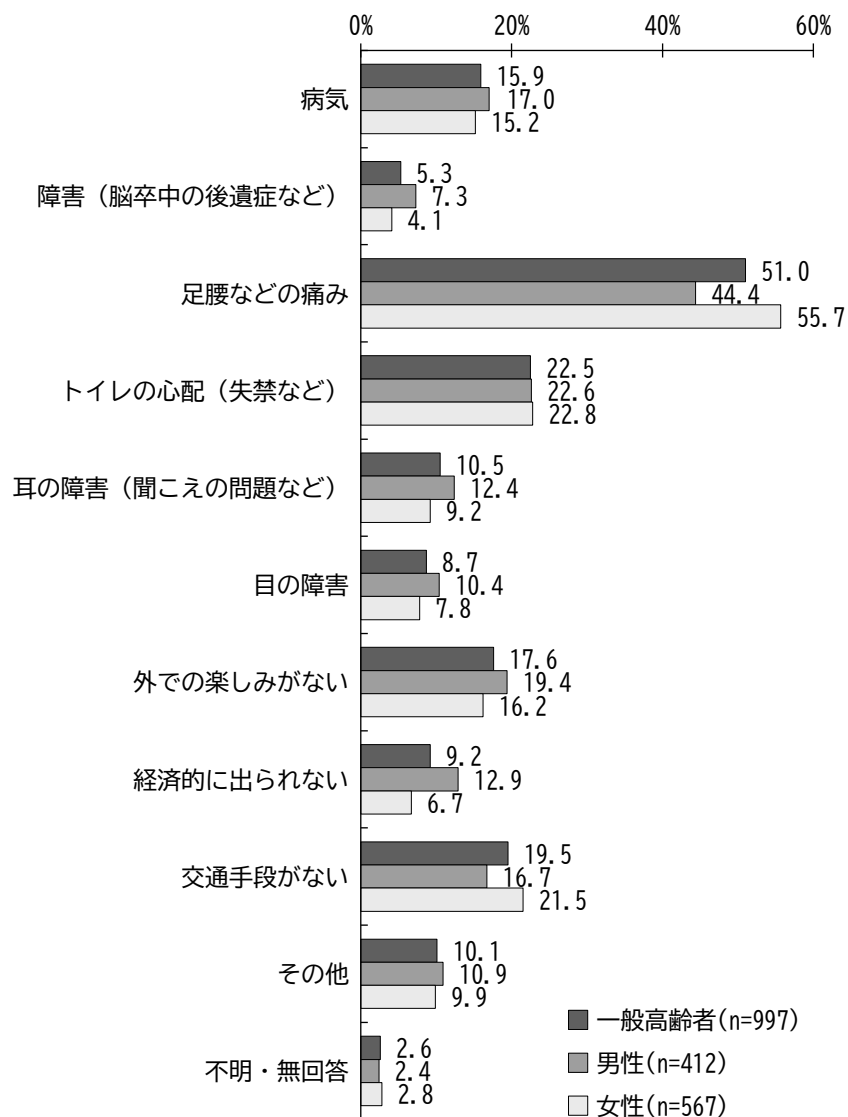


【(8)で「はい」に○を付けた方】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が51.0%と最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が22.5%、「交通手段がない」が19.5%となっています。

性別では、男性、女性ともに「足腰などの痛み」が最も高く、特に女性で55.7%と、男性と比べて11.3ポイント高くなっています。



年齢別では、いずれも「足腰などの痛み」が最も高く、75歳以上でそれぞれ5～6割となっています。  
また、85歳以上で「交通手段がない」がそれぞれ3割以上と、他の年代と比べて高くなっています。

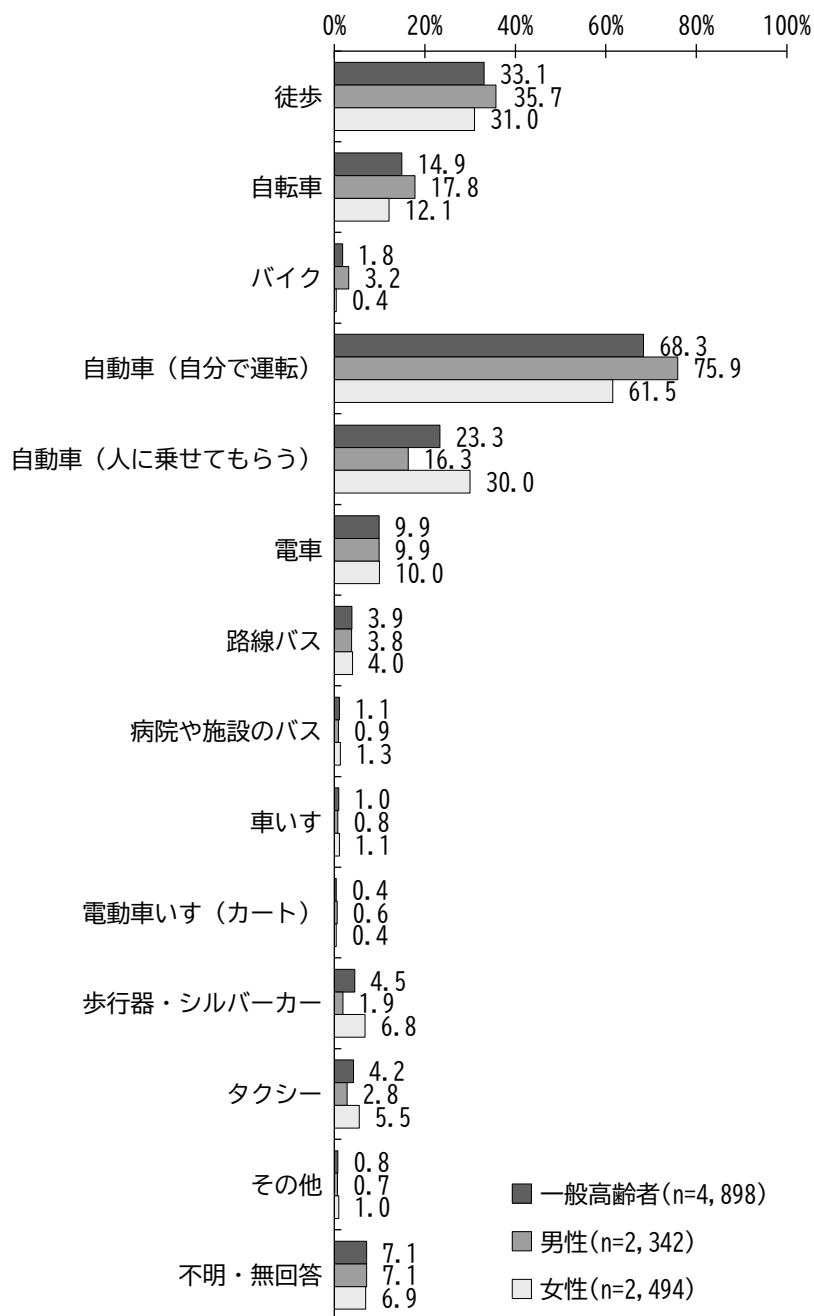
■年齢別クロス集計

|                | 病<br>気 | 障<br>害<br>(脳卒中の後遺症など) | 足<br>腰<br>な<br>ど<br>の<br>痛<br>み | ト<br>イ<br>レ<br>の<br>心<br>配<br>(失禁など) | 耳<br>の<br>障<br>害<br>(聞こえの問題など) | 目<br>の<br>障<br>害 | 外<br>で<br>の<br>楽<br>し<br>み<br>が<br>な<br>い | 経<br>済<br>的<br>に<br>出<br>ら<br>れ<br>な<br>い | 交<br>通<br>手<br>段<br>が<br>な<br>い | そ<br>の<br>他 | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|----------------|--------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------------|-------------|----------------------------|
| (単位：%)         |        |                       |                                 |                                      |                                |                  |                                           |                                           |                                 |             |                            |
| 65～69歳 (n=101) | 18.8   | 7.9                   | 27.7                            | 9.9                                  | 3.0                            | 6.9              | 16.8                                      | 16.8                                      | 4.0                             | 22.8        | 3.0                        |
| 70～74歳 (n=158) | 18.4   | 6.3                   | 40.5                            | 19.0                                 | 3.8                            | 6.3              | 20.9                                      | 13.9                                      | 8.9                             | 18.4        | 1.9                        |
| 75～79歳 (n=190) | 18.9   | 4.2                   | 52.6                            | 21.1                                 | 4.7                            | 6.3              | 24.2                                      | 12.1                                      | 13.2                            | 6.3         | 2.6                        |
| 80～84歳 (n=204) | 15.7   | 6.9                   | 57.8                            | 27.0                                 | 11.8                           | 9.3              | 11.8                                      | 6.9                                       | 22.1                            | 6.9         | 3.9                        |
| 85～89歳 (n=185) | 13.0   | 3.2                   | 55.7                            | 25.9                                 | 16.2                           | 13.0             | 17.3                                      | 7.6                                       | 32.4                            | 8.1         | 1.6                        |
| 90歳以上 (n=139)  | 10.8   | 5.0                   | 60.4                            | 26.6                                 | 23.0                           | 10.8             | 14.4                                      | 1.4                                       | 30.2                            | 5.8         | 2.9                        |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が68.3%と最も高く、次いで「徒歩」が33.1%、「自動車（人に乗せてもらう）」が23.3%となっています。

性別では、男性で「自動車（自分で運転）」が75.9%と、女性と比べて14.4ポイント高くなっています。





## Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

年齢別では、85歳未満で「自動車（自分で運転）」が、85歳以上で「自動車（人に乗せてもらう）」がそれぞれ最も高くなっています。

### ■年齢別クロス集計

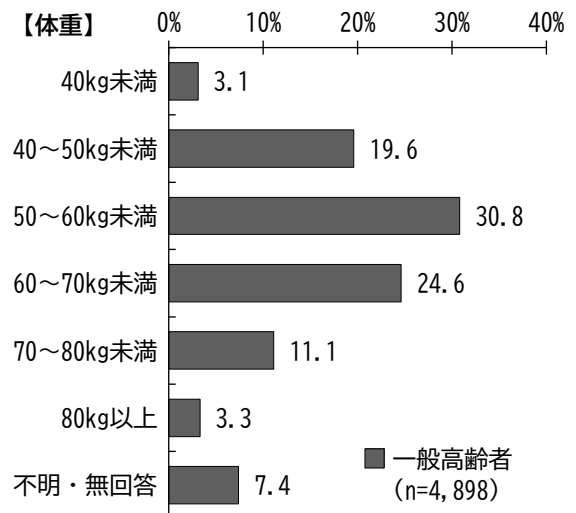
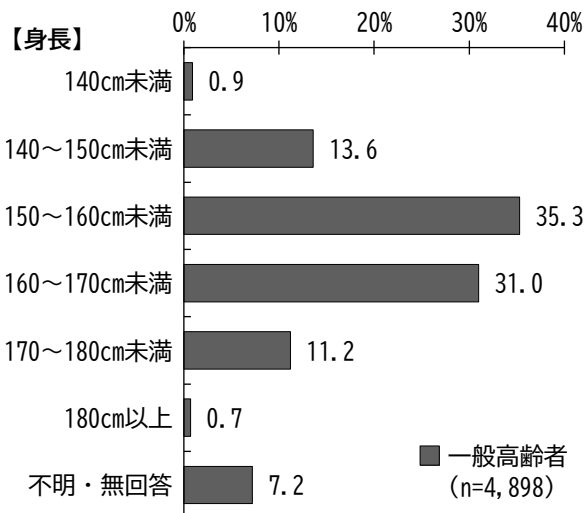
|                  | 徒歩   | 自転車  | バイク | 自動車<br>(自分で運転) | 自動車<br>(人に乗せてもらう) | 電車   | 路線バス | 病院や施設のバス | 車いす | 電動車いす<br>(カート) | 歩行器・シルバーカー | タクシー | その他 | 不明・無回答 |
|------------------|------|------|-----|----------------|-------------------|------|------|----------|-----|----------------|------------|------|-----|--------|
| (単位：%)           |      |      |     |                |                   |      |      |          |     |                |            |      |     |        |
| 65～69歳 (n=1,072) | 36.5 | 14.6 | 3.5 | 85.0           | 16.1              | 14.6 | 2.9  | 0.0      | 0.6 | 0.0            | 0.7        | 1.3  | 0.6 | 6.4    |
| 70～74歳 (n=1,264) | 34.3 | 15.3 | 1.8 | 78.8           | 17.5              | 11.2 | 3.7  | 0.7      | 0.2 | 0.2            | 0.7        | 2.0  | 0.4 | 8.1    |
| 75～79歳 (n=1,121) | 33.2 | 15.7 | 1.2 | 73.8           | 19.6              | 8.1  | 4.0  | 0.3      | 0.8 | 0.0            | 1.6        | 3.4  | 0.6 | 8.1    |
| 80～84歳 (n=697)   | 31.9 | 17.1 | 0.9 | 60.1           | 27.1              | 8.9  | 4.0  | 1.7      | 1.0 | 0.4            | 6.5        | 5.7  | 1.0 | 5.3    |
| 85～89歳 (n=447)   | 28.0 | 13.2 | 1.3 | 30.2           | 42.7              | 5.4  | 5.6  | 3.6      | 2.9 | 1.8            | 17.2       | 9.2  | 2.5 | 6.7    |
| 90歳以上 (n=234)    | 27.8 | 6.8  | 0.0 | 9.8            | 56.4              | 1.7  | 6.0  | 4.7      | 3.4 | 3.8            | 24.4       | 19.2 | 1.3 | 3.8    |

## 4 食べることについて

### (1) 身長・体重（数字を記入）

身長は、「150～160cm 未満」が 35.3%と最も高く、次いで「160～170cm 未満」が 31.0%、「140～150cm 未満」が 13.6%となっています。

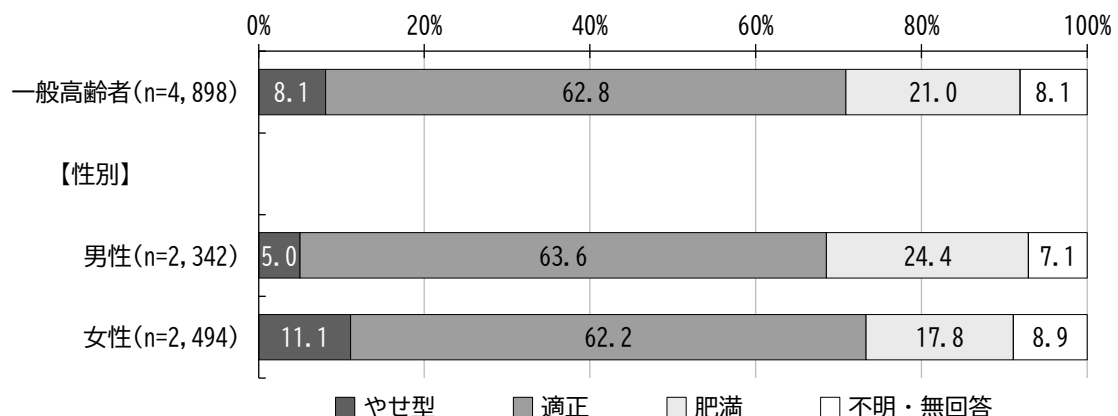
体重は、「50～60kg 未満」が 30.8%と最も高く、次いで「60～70kg 未満」が 24.6%、「40～50kg 未満」が 19.6%となっています。



### (1) BMI（身長・体重から算出） ※「低栄養状態」判定項目

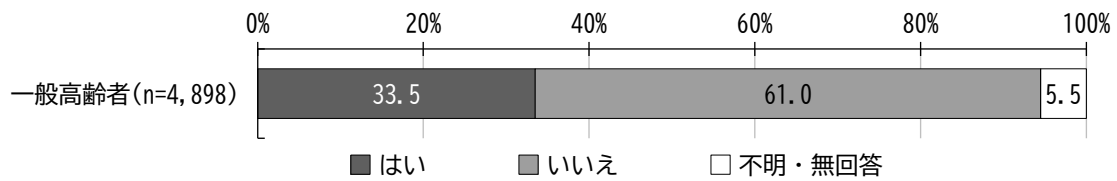
BMIは、「やせ型」が 8.1%、「適正」が 62.8%、「肥満」が 21.0%となっています。

性別では、女性で「やせ型」が 11.1%と、男性と比べて 6.1 ポイント高くなっています。



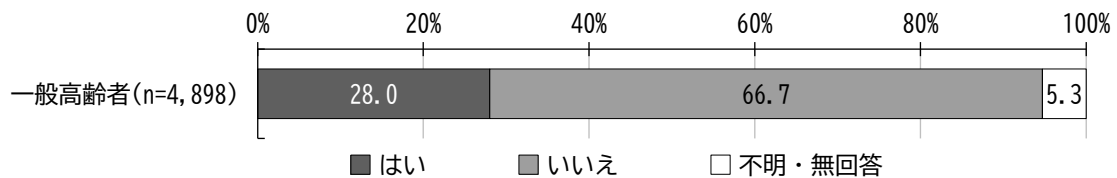
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ) ※「口腔機能の低下」判定項目

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「はい」が33.5%、「いいえ」が61.0%となっています。



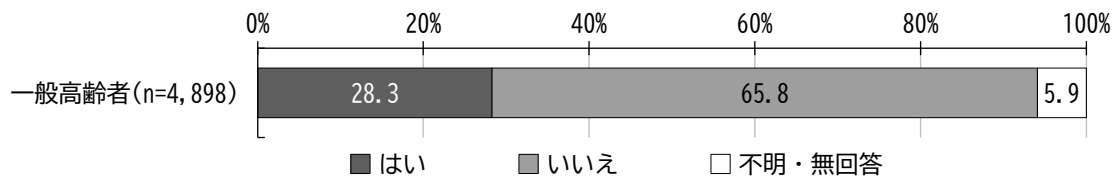
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ) ※「口腔機能の低下」判定項目

お茶や汁物等でむせることがあるかは、「はい」が28.0%、「いいえ」が66.7%となっています。



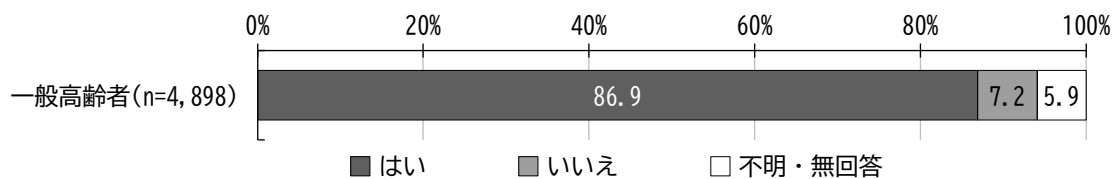
(4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ) ※「口腔機能の低下」判定項目

口の渇きが気になるかは、「はい」が28.3%、「いいえ」が65.8%となっています。



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。(○は1つ)

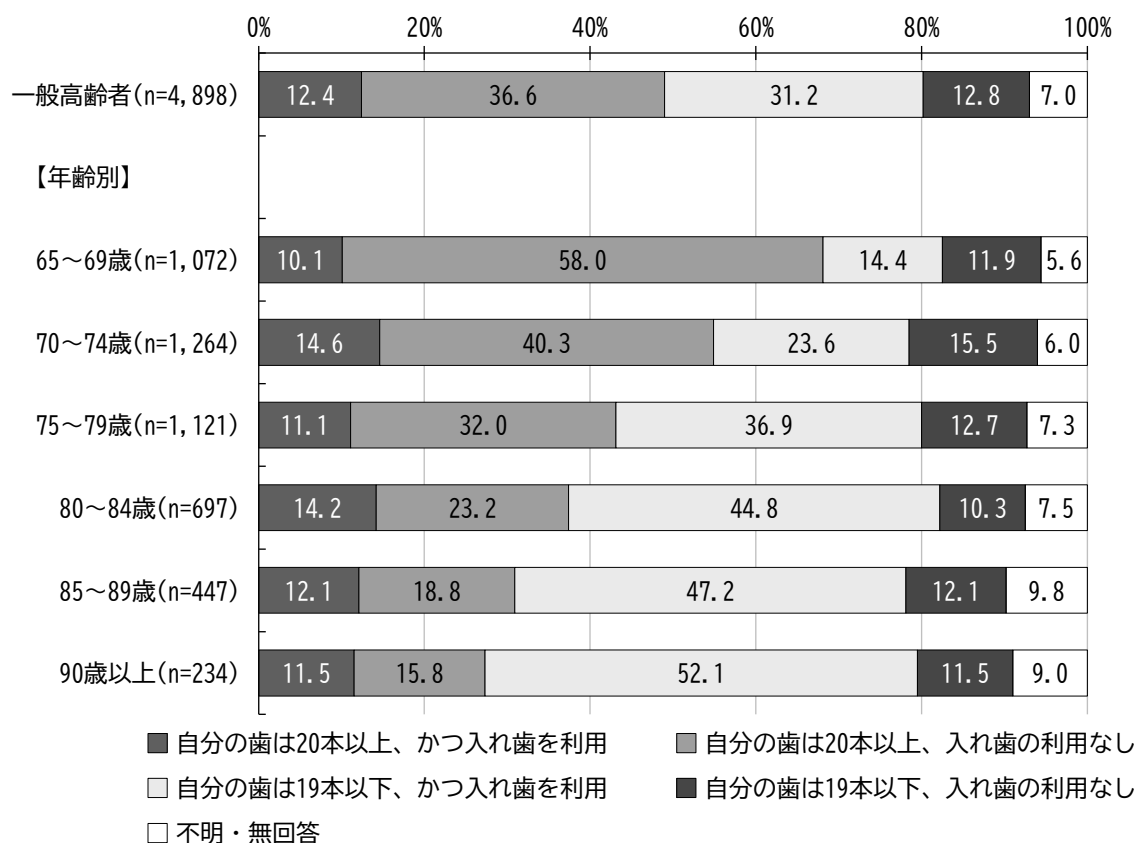
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかは、「はい」が86.9%、「いいえ」が7.2%となっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

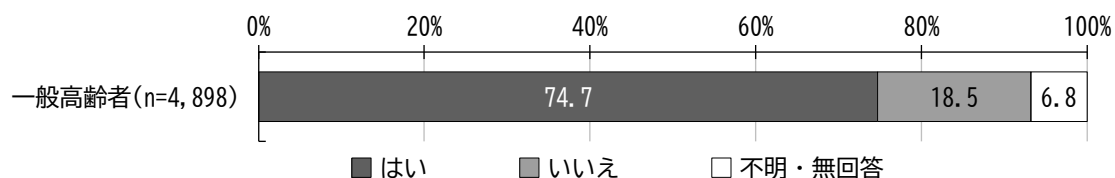
歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.6%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.8%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が高くなっており、85歳以上でそれぞれ約5割となっています。



①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

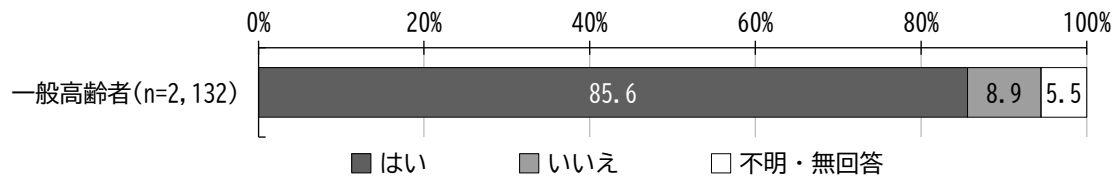
噛み合わせは良いかは、「はい」が74.7%、「いいえ」が18.5%となっています。



【(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」に○を付けた方】

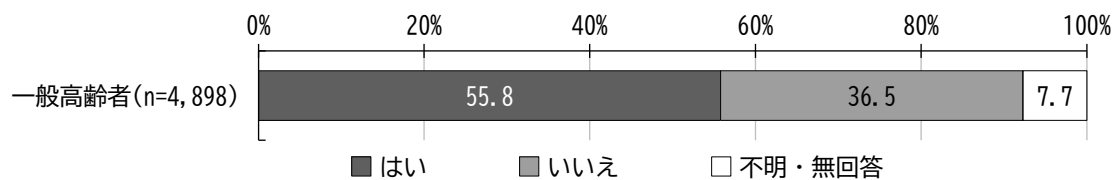
②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

毎日入れ歯の手入れをしているかは、「はい」が85.6%、「いいえ」が8.9%となっています。



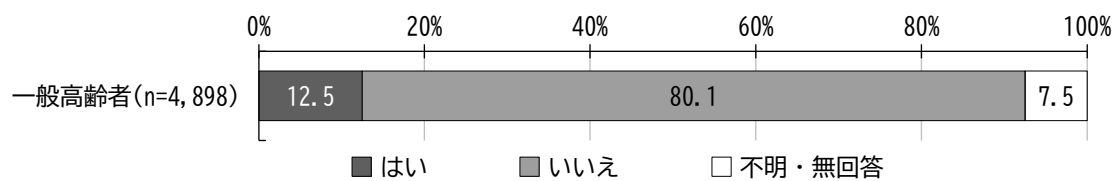
(7) 年に1回以上はかかりつけの歯科医院で定期健診を受けていますか。(○は1つ)

年に1回以上はかかりつけの歯科医院で定期健診を受けているかは、「はい」が55.8%、「いいえ」が36.5%となっています。



(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ) ※「低栄養状態」判定項目

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかは、「はい」が12.5%、「いいえ」が80.1%となっています。

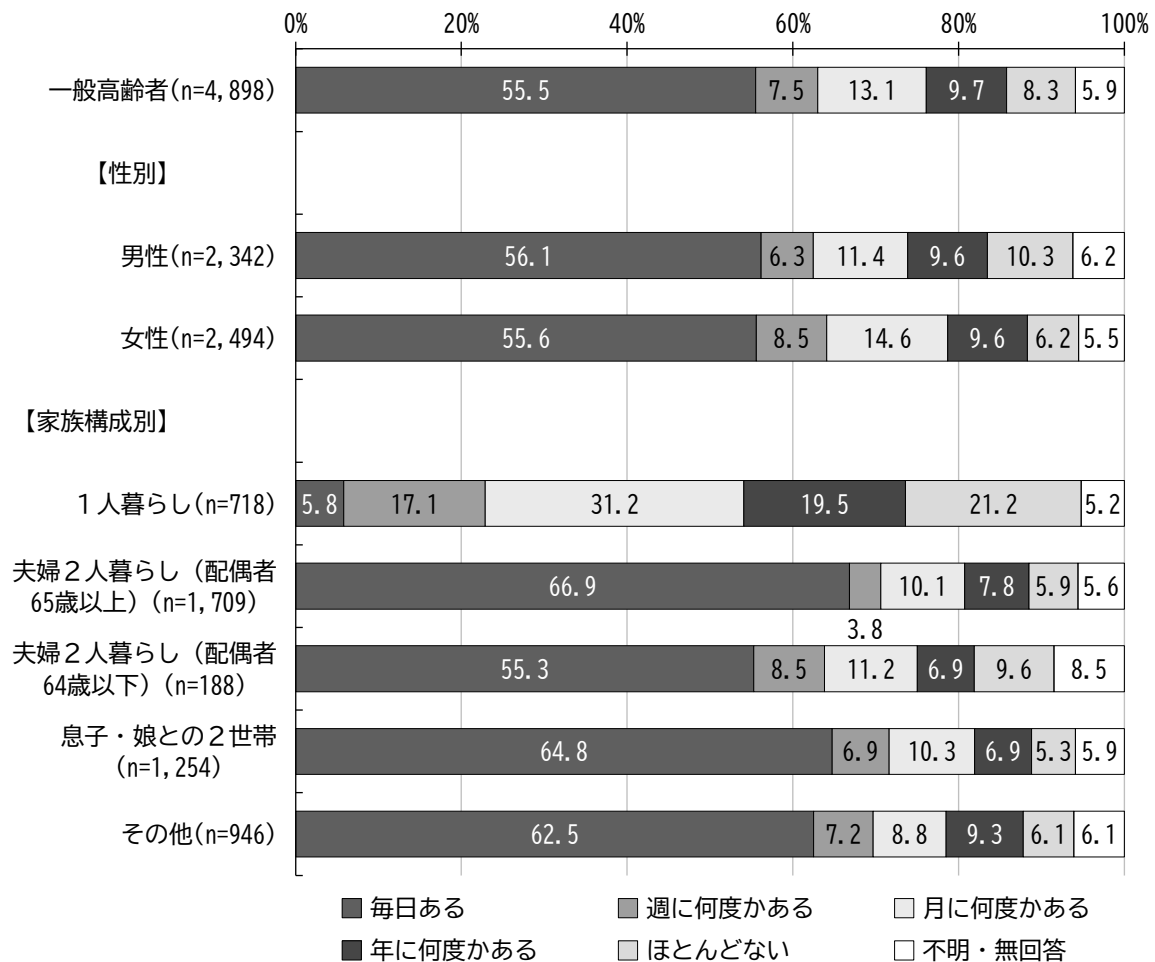


(9) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

誰かと食事をとにもする機会は、「毎日ある」が55.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が13.1%、「年に何度かある」が9.7%となっています。なお、「ほとんどない」は8.3%となっています。

性別では、男性で「ほとんどない」が10.3%と、女性と比べて4.1ポイント高くなっています。

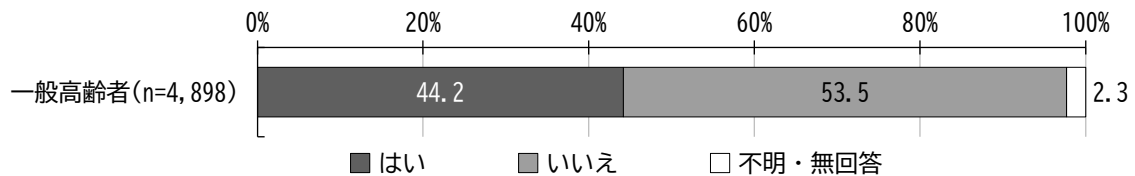
家族構成別では、1人暮らしで「毎日ある」が5.8%と、他の家族構成と比べて低くなっている一方で、「ほとんどない」が21.2%と高くなっています。



## 5 毎日の生活について

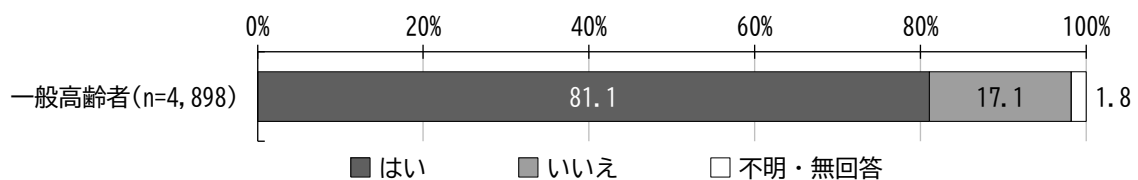
(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ) ※「認知機能」判定項目

物忘れが多いと感じるかは、「はい」が44.2%、「いいえ」が53.5%となっています。



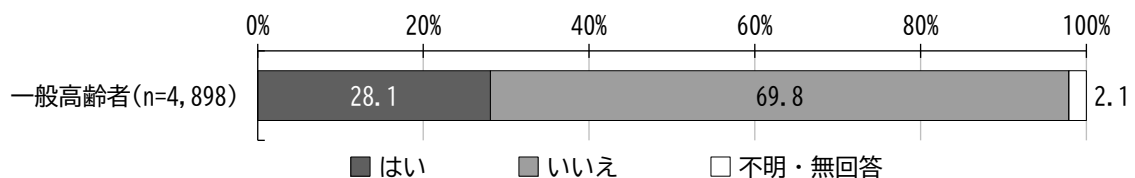
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかは、「はい」が81.1%、「いいえ」が17.1%となっています。



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

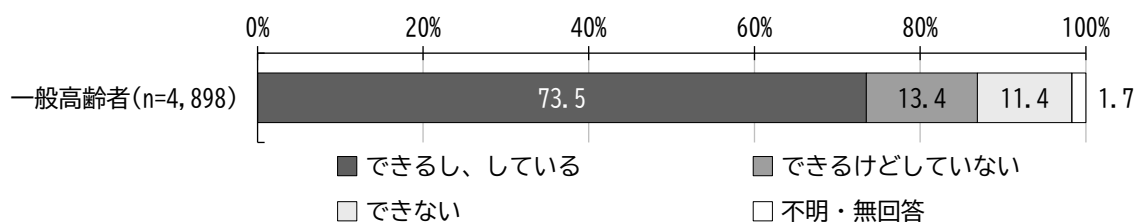
今日が何月何日かわからない時があるかは、「はい」が28.1%、「いいえ」が69.8%となっています。



(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

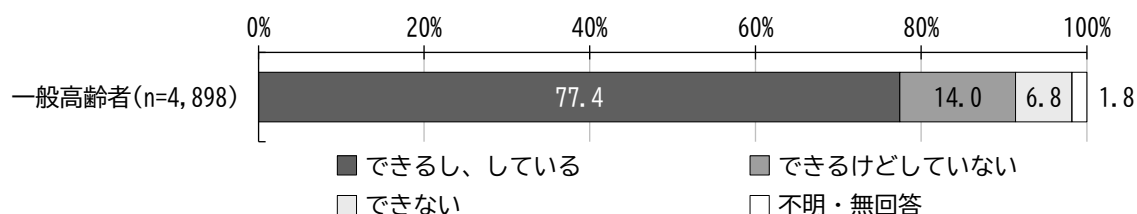
※「IADL」判定項目

バスや電車を使って1人で外出しているかは、「できるし、している」が73.5%、「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が11.4%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は86.9%となっています。



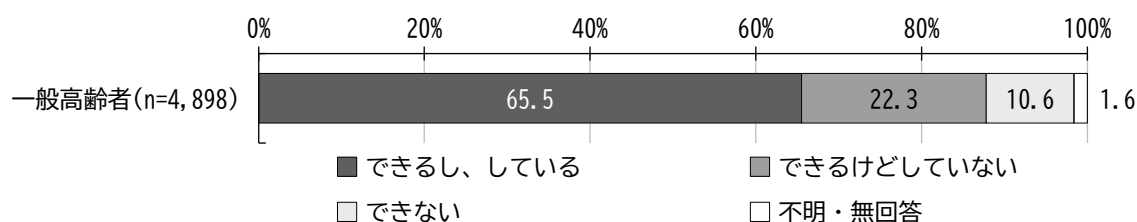
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ) ※「IADL」判定項目

自分で食品・日用品の買物をしているかは、「できるし、している」が77.4%、「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が6.8%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は91.4%となっています。



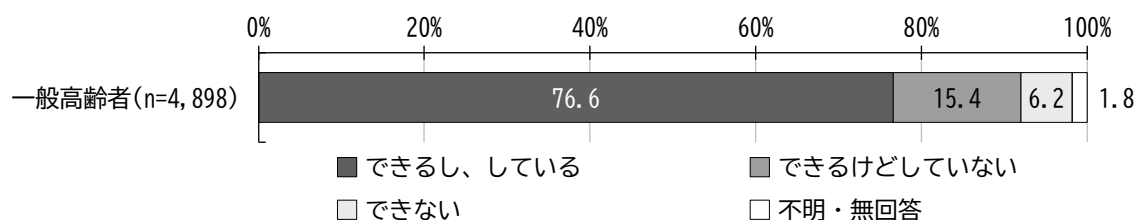
(6) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ) ※「IADL」判定項目

自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が65.5%、「できるけどしていない」が22.3%、「できない」が10.6%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は87.8%となっています。



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ) ※「IADL」判定項目

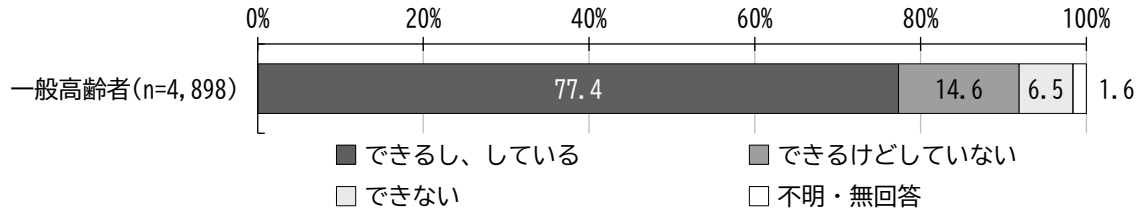
自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が76.6%、「できるけどしていない」が15.4%、「できない」が6.2%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は92.0%となっています。





(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ) ※「IADL」判定項目

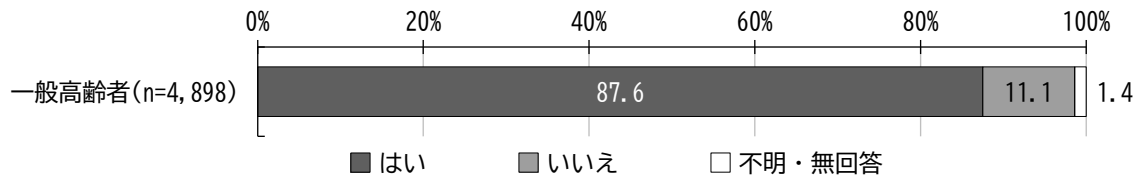
自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が77.4%、「できるけどしていない」が14.6%、「できない」が6.5%となっています。なお、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』は92.0%となっています。



(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(○は1つ)

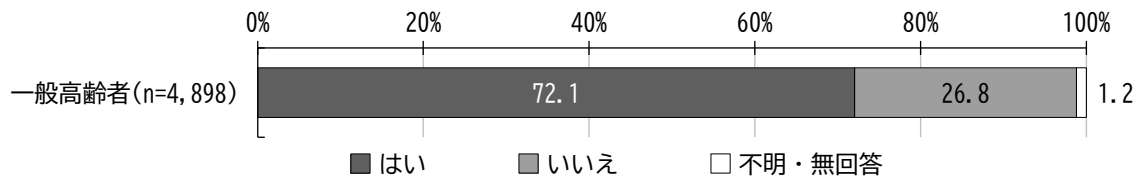
※「知的能動性」判定項目

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかは、「はい」が87.6%、「いいえ」が11.1%となっています。



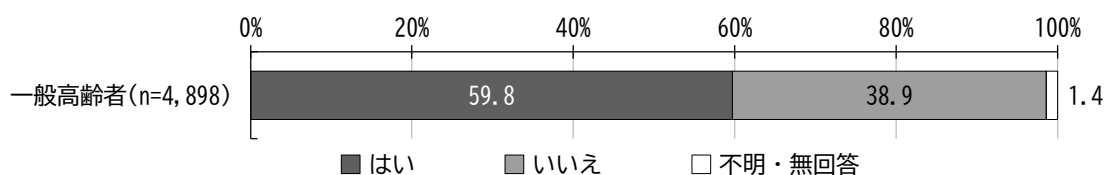
(10) 新聞を読んでいますか。(○は1つ) ※「知的能動性」判定項目

新聞を読んでいるかは、「はい」が72.1%、「いいえ」が26.8%となっています。



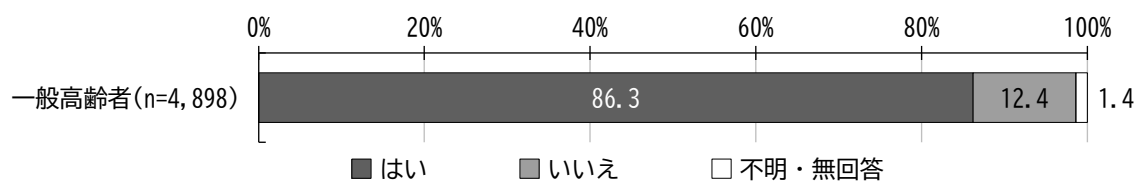
(11) 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ) ※「知的能動性」判定項目

本や雑誌を読んでいるかは、「はい」が59.8%、「いいえ」が38.9%となっています。



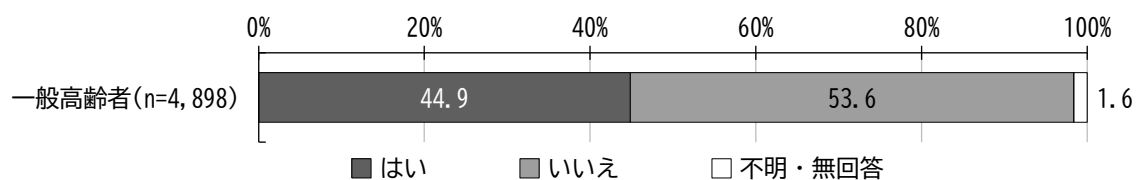
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ) ※「知的能動性」判定項目

健康についての記事や番組に関心があるかは、「はい」が86.3%、「いいえ」が12.4%となっています。



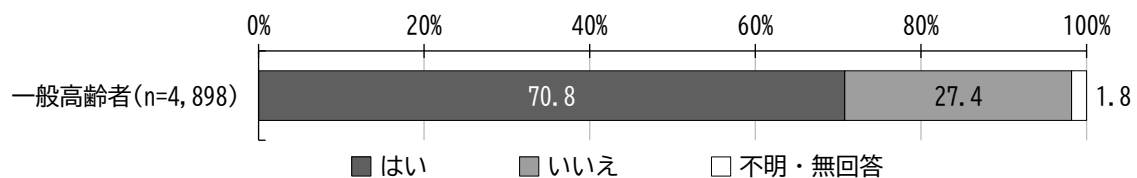
(13) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ) ※「社会的役割」判定項目

友人の家を訪ねているかは、「はい」が44.9%、「いいえ」が53.6%となっています。



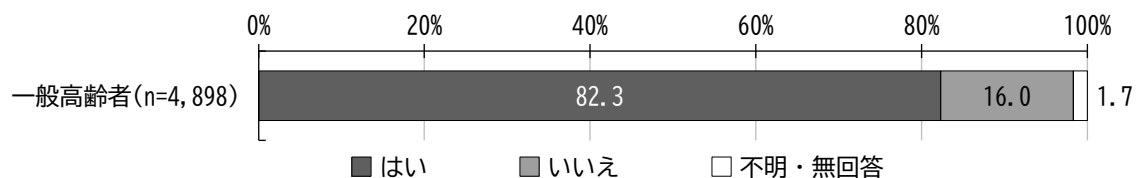
(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ) ※「社会的役割」判定項目

家族や友人の相談にのっているかは、「はい」が70.8%、「いいえ」が27.4%となっています。



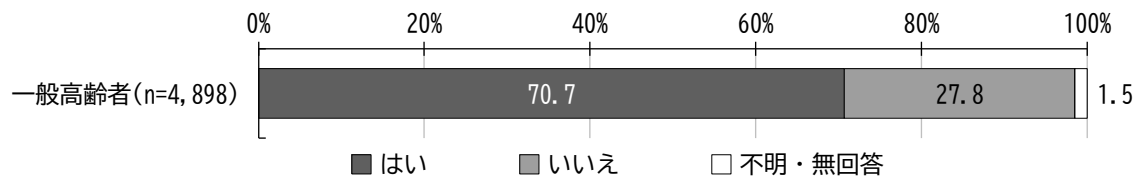
(15) 病人を見舞うことができますか。(○は1つ) ※「社会的役割」判定項目

病人を見舞うことができるかは、「はい」が82.3%、「いいえ」が16.0%となっています。



(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ) ※「社会的役割」判定項目

若い人に自分から話しかけることがあるかは、「はい」が70.7%、「いいえ」が27.8%となっています。

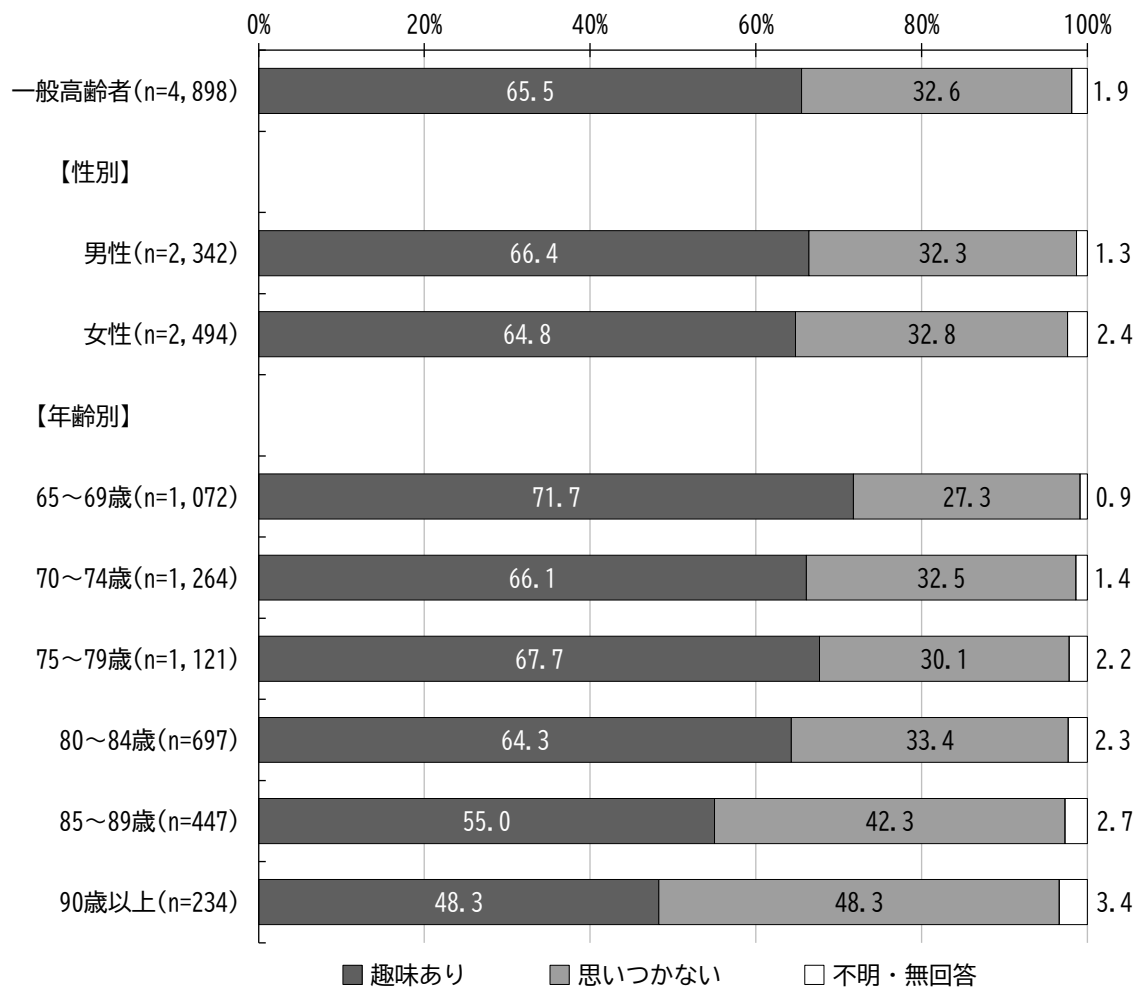


(17) 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味はあるかは、「趣味あり」が65.5%、「思いつかない」が32.6%となっています。

性別では、男性、女性ともに「趣味あり」がそれぞれ6割台と高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「趣味あり」が低くなっており、90歳以上で48.3%となっています。

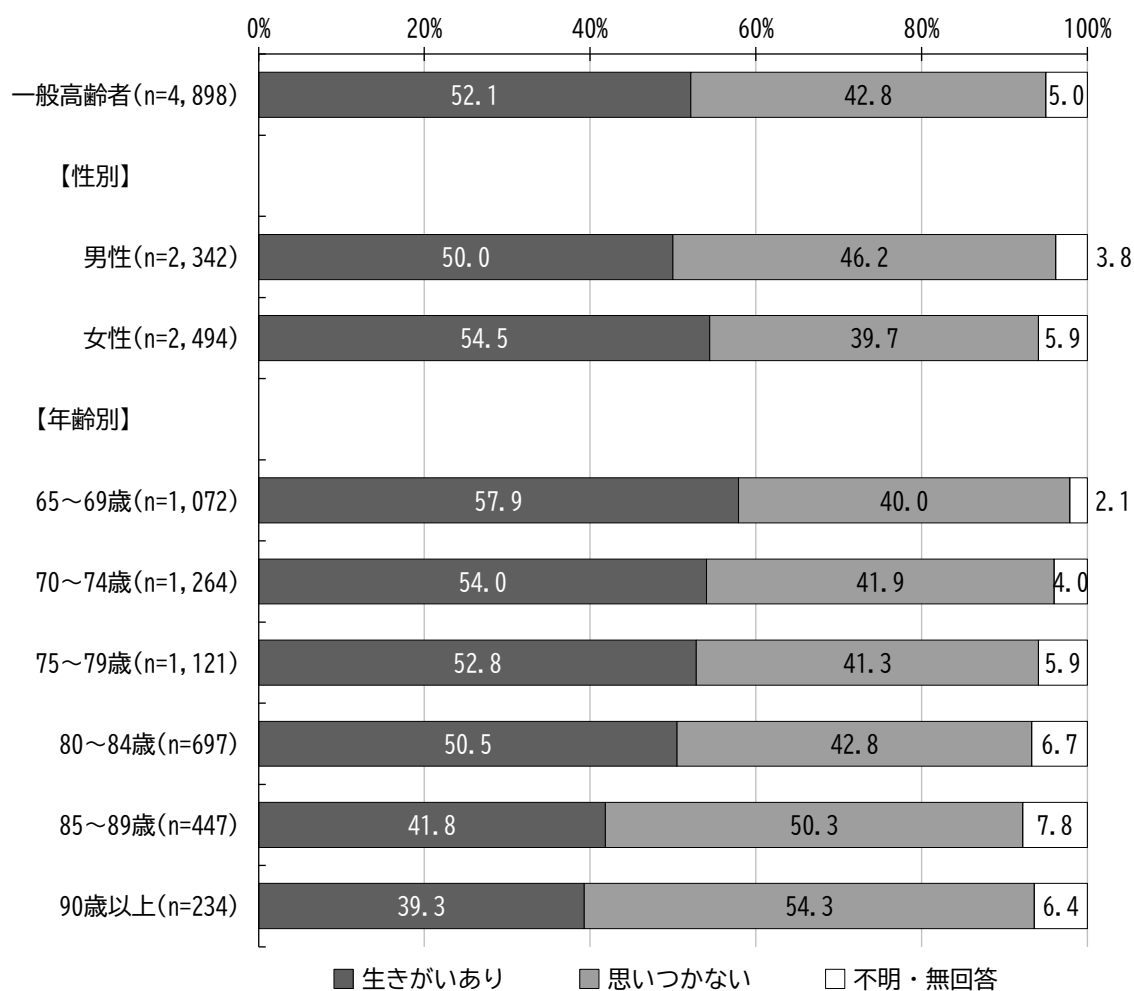


(18) 生きがいがありますか。(○は1つ)

生きがいがあるかは、「生きがいあり」が52.1%、「思いつかない」が42.8%となっています。

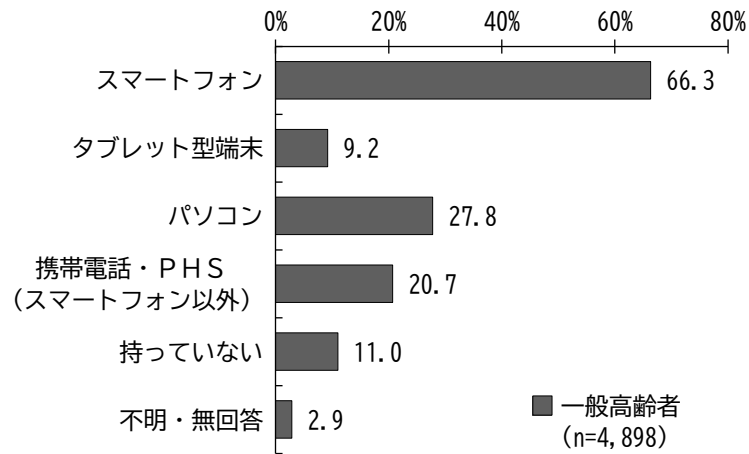
性別では、男性、女性ともに「生きがいあり」がそれぞれ5割台と高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「生きがいあり」が低くなっており、85歳以上でそれぞれ約4割となっています。



(19) 利用している通信機器について、次のような通信機器を持っていますか。(〇はいくつでも)

利用している通信機器は、「スマートフォン」が 66.3%と最も高く、次いで「パソコン」が 27.8%、「携帯電話・PHS（スマートフォン以外）」が 20.7%となっています。なお、「持っていない」は 11.0%となっています。



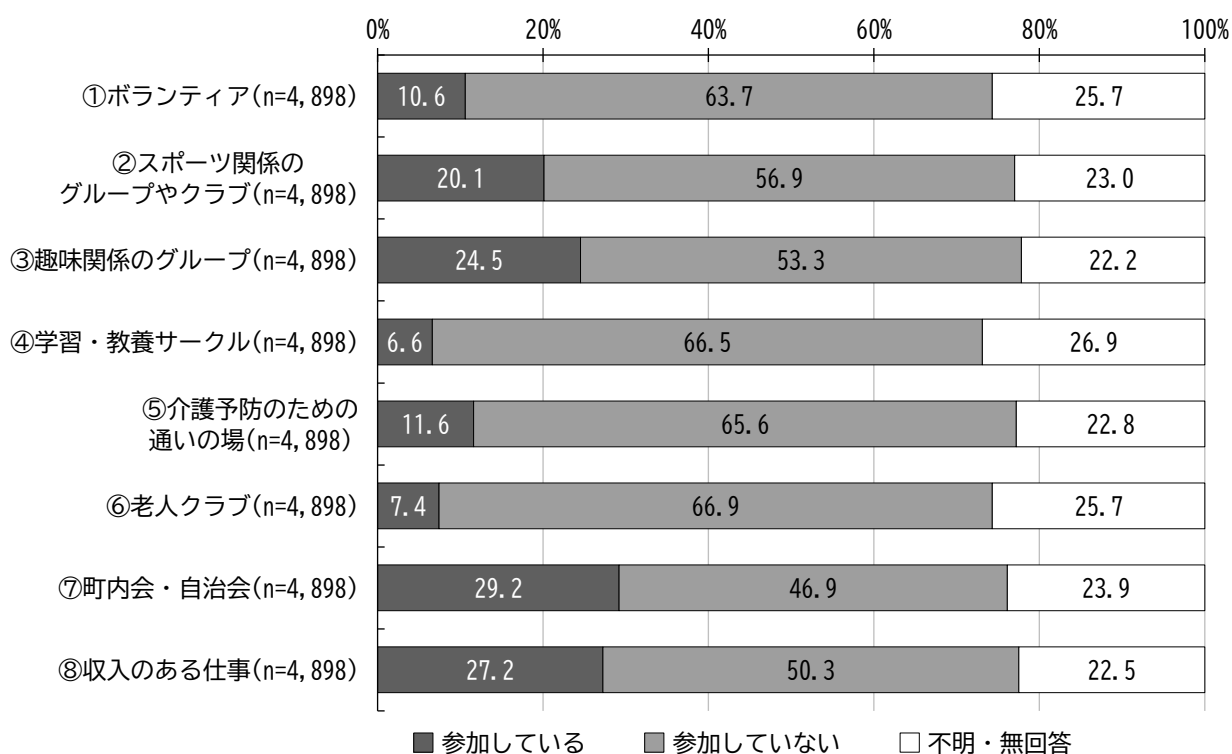
## 6 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
(①～⑧についてそれぞれ○は1つ)

### 【参加状況】

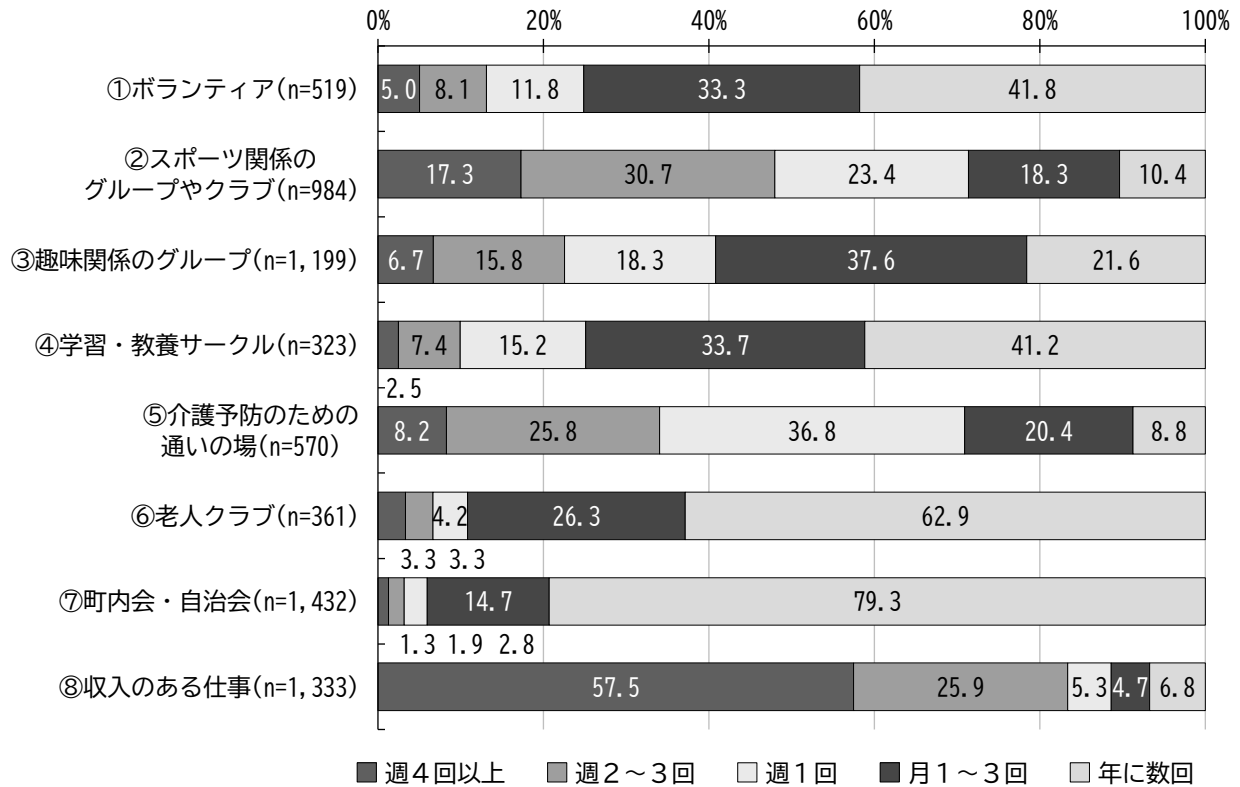
本設問では、選択肢の「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」を合わせて『参加している』と表現しています。

会・グループ等への参加状況は、『参加している』割合が高いものは、〔⑦町内会・自治会〕〔⑧収入のある仕事〕〔③趣味関係のグループ〕となっています。



【参加頻度】 ※各会・グループに『参加している』人だけの集計

会・グループ等への参加頻度は、〔⑧収入のある仕事〕で「週4日以上」が57.5%と最も高くなっています。また、〔⑥老人クラブ〕〔⑦町内会・自治会〕で「年に数回」がそれぞれ62.9%、79.3%と高くなっています。

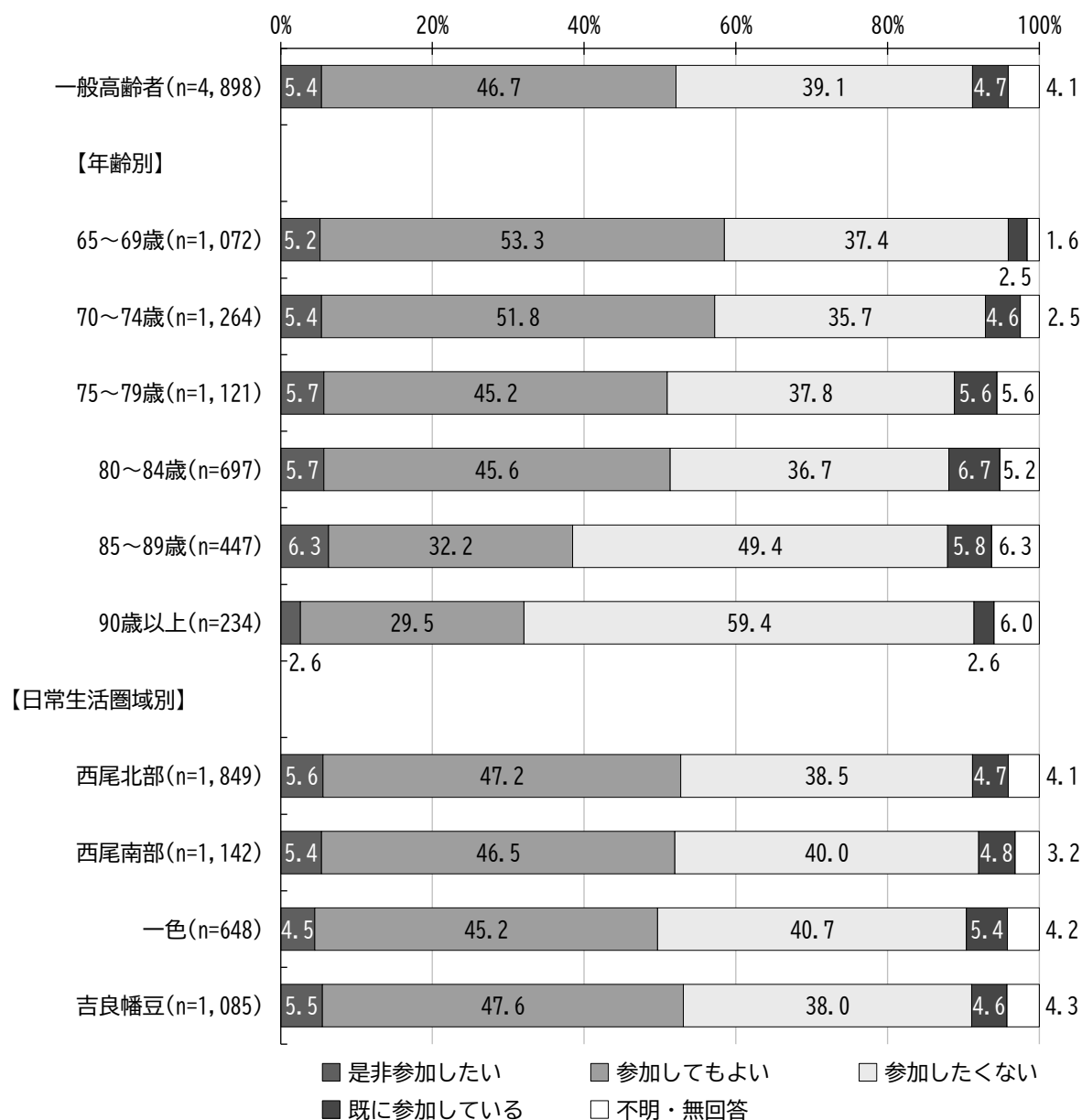


(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。  
(〇は1つ)

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかは、「参加してもよい」が46.7%と最も高く、次いで「参加したくない」が39.1%、「是非参加したい」が5.4%となっています。なお、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向がある』は52.1%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『参加意向がある』が低くなっており、90歳以上で32.1%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも『参加意向がある』がそれぞれ約5割となっています。



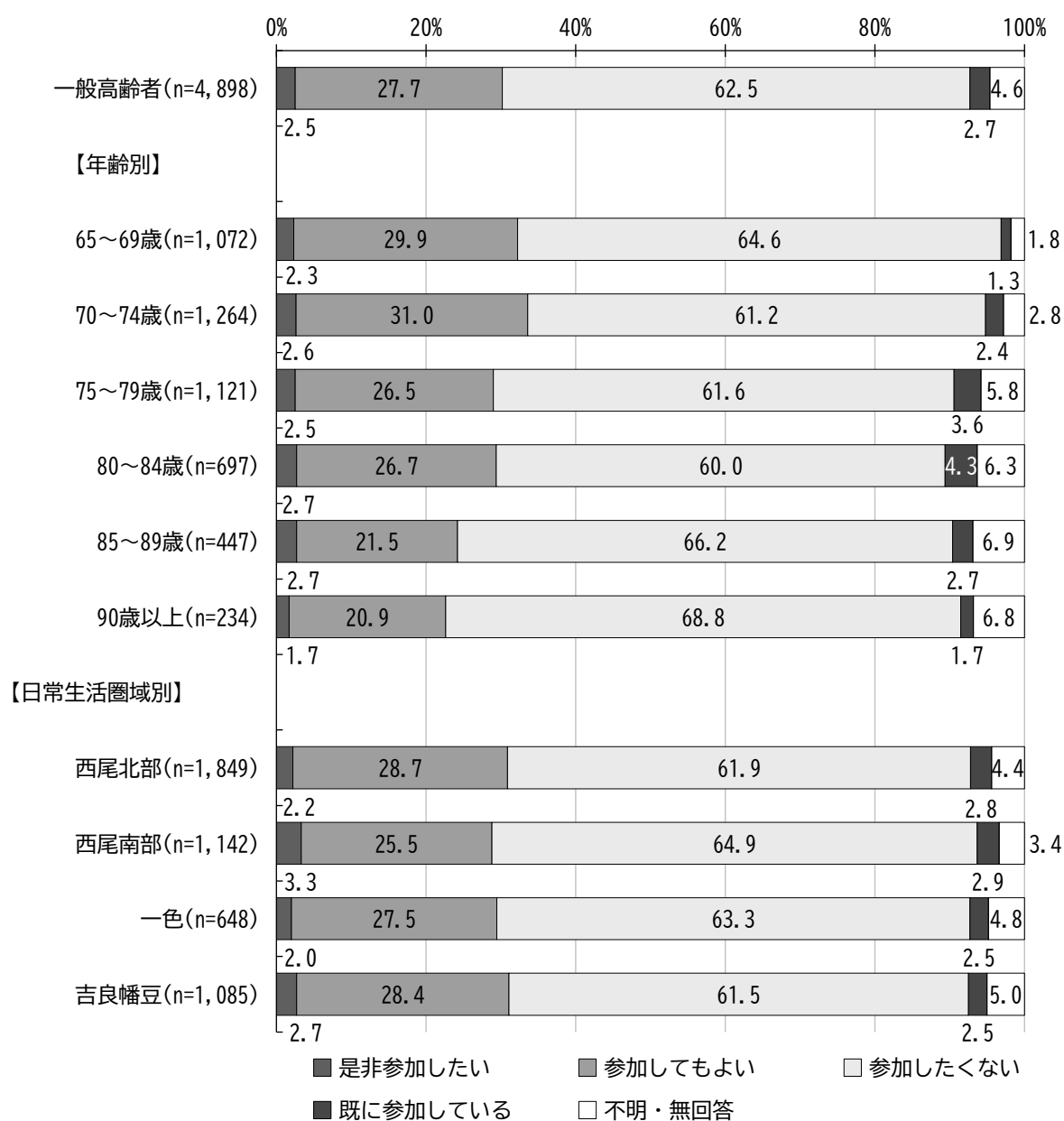


(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかは、「参加したくない」が 62.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 27.7%、「既に参加している」が 2.7%となっています。なお、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向がある』は 30.2%となっています。

年齢別では、75 歳以上で『参加意向がある』がそれぞれ2割台と、他の年代と比べて低くなっています。

日常生活圏域別では、いずれも『参加意向がある』が約3割となっています。



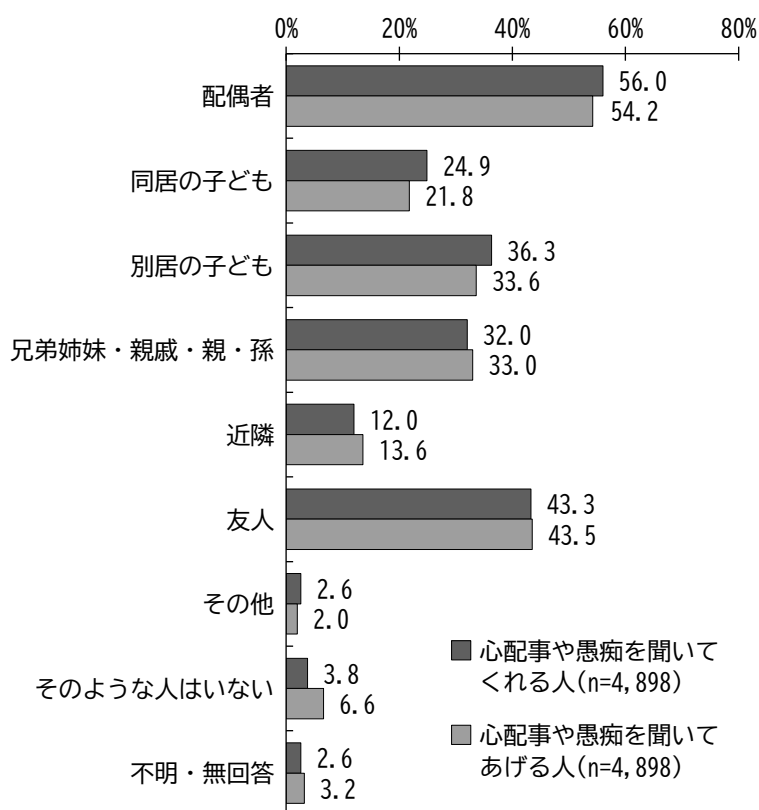
## 7 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は、「配偶者」が56.0%と最も高く、次いで「友人」が43.3%、「別居の子ども」が36.3%となっています。なお、「そのような人はいない」は3.8%となっています。

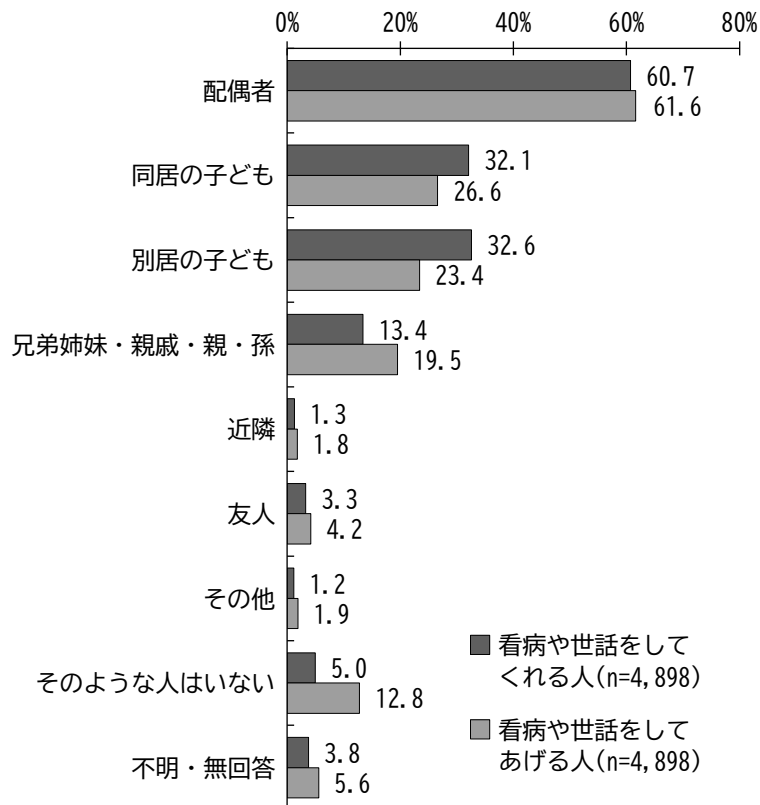
心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、「配偶者」が54.2%と最も高く、次いで「友人」が43.5%、「別居の子ども」が33.6%となっています。なお、「そのような人はいない」は6.6%となっています。



- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(○はいくつでも)  
 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(○はいくつでも)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が60.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」が32.6%、「同居の子ども」が32.1%となっています。なお、「そのような人はいない」は5.0%となっています。

看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が61.6%と最も高く、次いで「同居の子ども」が26.6%、「別居の子ども」が23.4%となっています。なお、「そのような人はいない」は12.8%となっています。

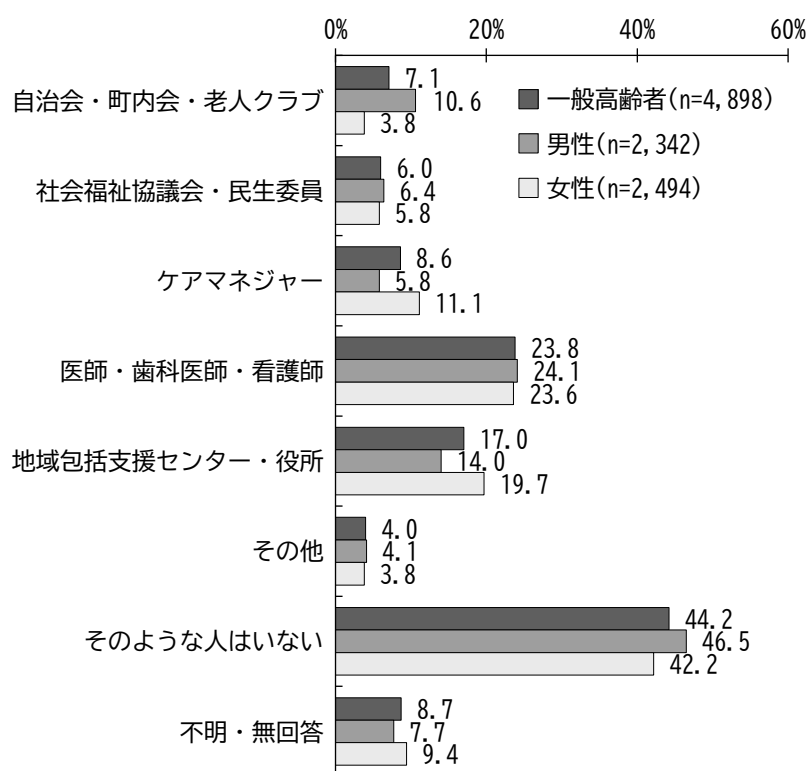


(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」が44.2%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が23.8%、「地域包括支援センター・役所」が17.0%となっています。

性別では、男性、女性ともに「そのような人はいない」がそれぞれ4割台となっています。

家族構成別では、1人暮らしで「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」がそれぞれ他の家族構成と比べて高くなっています。

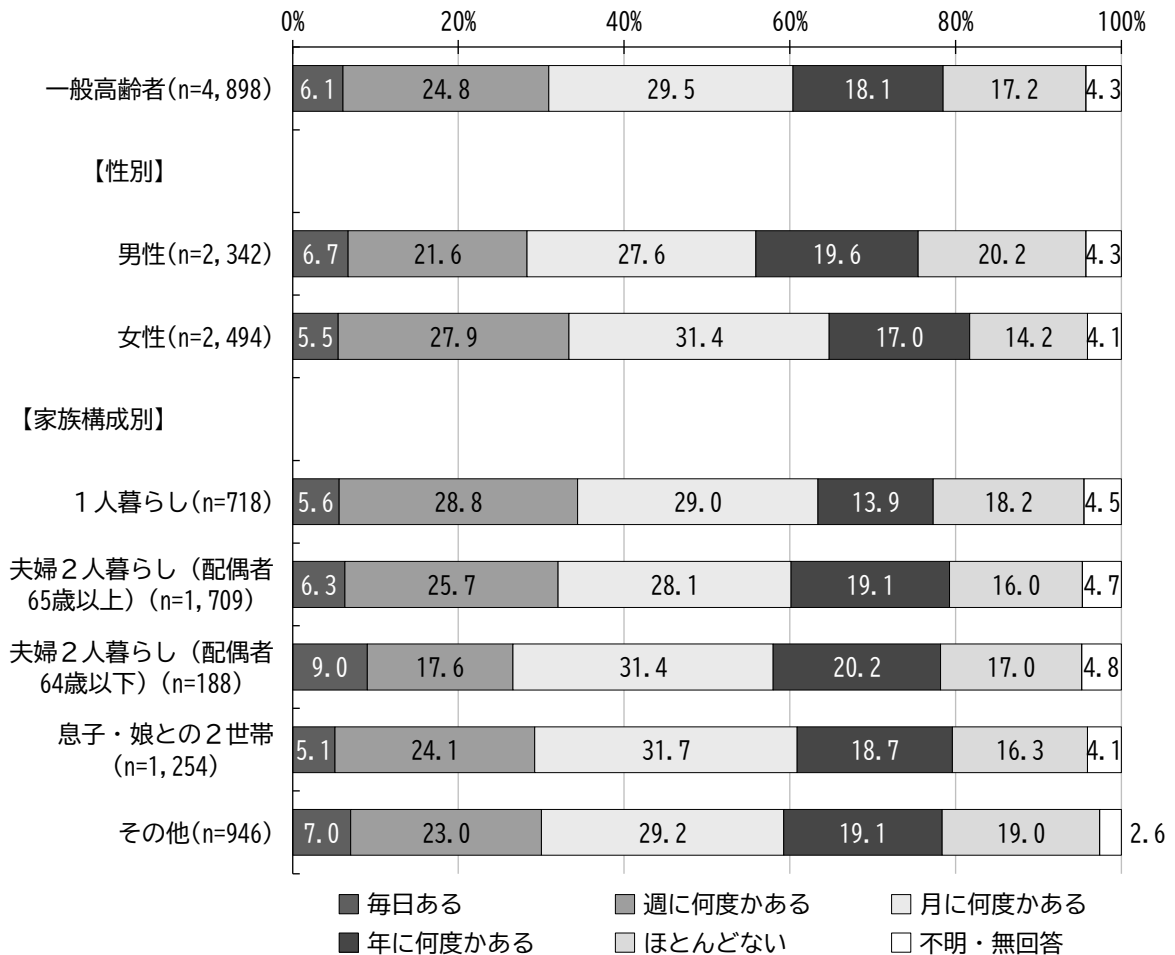


■家族構成別クロス集計

|                             | 自治会・町内会・老人クラブ | 社会福祉協議会・民生委員 | ケアマネジャー | 医師・歯科医師・看護師 | 地域包括支援センター・役所 | その他 | そのような人はいない | 不明・無回答 |
|-----------------------------|---------------|--------------|---------|-------------|---------------|-----|------------|--------|
| (単位：%)                      |               |              |         |             |               |     |            |        |
| 1人暮らし (n=718)               | 6.8           | 11.0         | 12.0    | 20.5        | 20.3          | 4.5 | 39.7       | 9.2    |
| 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n=1,709) | 7.1           | 4.9          | 7.0     | 25.0        | 17.0          | 3.9 | 43.8       | 8.7    |
| 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n=188)   | 9.0           | 3.7          | 1.6     | 23.9        | 12.2          | 2.7 | 53.7       | 6.4    |
| 息子・娘との2世帯 (n=1,254)         | 7.7           | 5.7          | 8.9     | 24.6        | 16.3          | 3.1 | 44.8       | 9.3    |
| その他 (n=946)                 | 6.0           | 5.5          | 9.5     | 23.2        | 15.9          | 5.3 | 46.4       | 7.3    |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

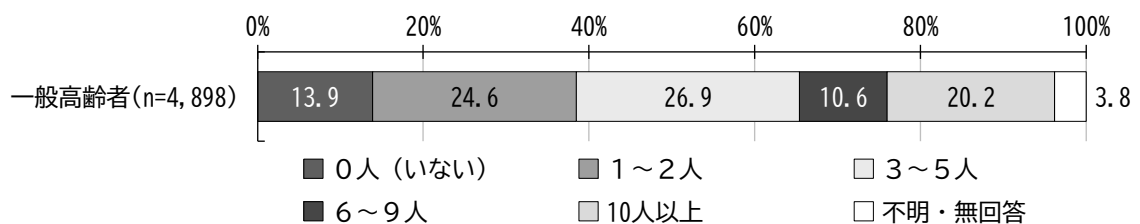
友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が29.5%と最も高く、次いで「週に何度かある」が24.8%、「年に何度かある」が18.1%となっています。なお、「ほとんどない」は17.2%となっています。性別では、男性で「ほとんどない」が20.2%と、女性と比べて6.0ポイント高くなっています。家族構成別では、いずれも「ほとんどない」が1割台となっています。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)

※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

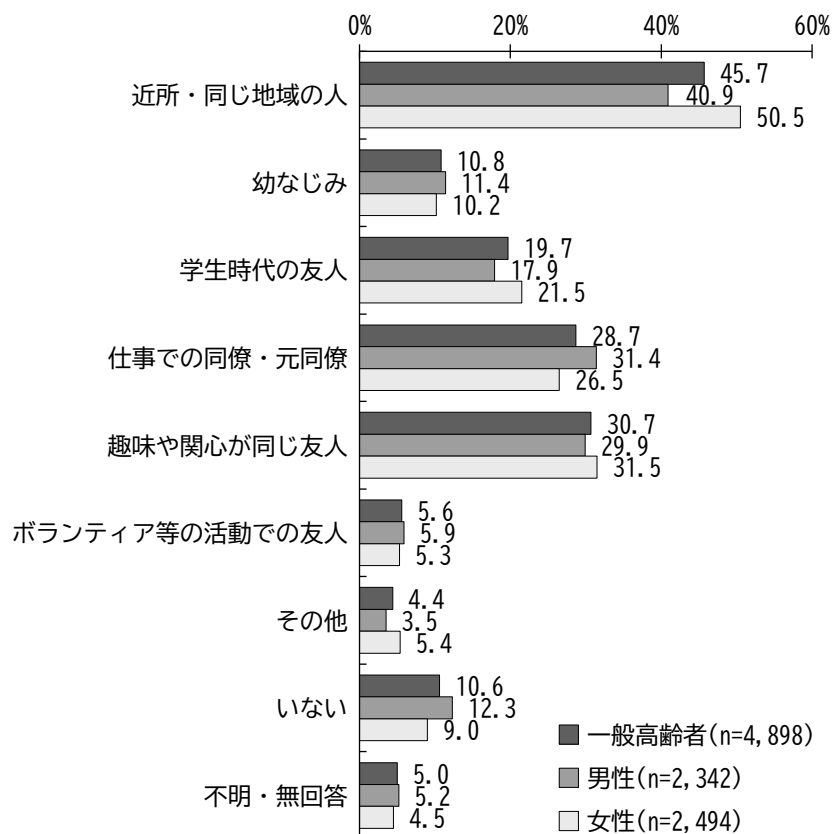
この1か月間に会った友人・知人の人数は、「3～5人」が26.9%と最も高く、次いで「1～2人」が24.6%、「10人以上」が20.2%となっています。なお、「0人(いない)」は13.9%となっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が45.7%と最も高く、次いで「趣味や関心  
が同じ友人」が30.7%、「仕事での同僚・元同僚」が28.7%となっています。なお、「いない」は10.6%  
となっています。

性別では、女性で「近所・同じ地域の人」が50.5%と、男性と比べて9.6ポイント高くなっています。

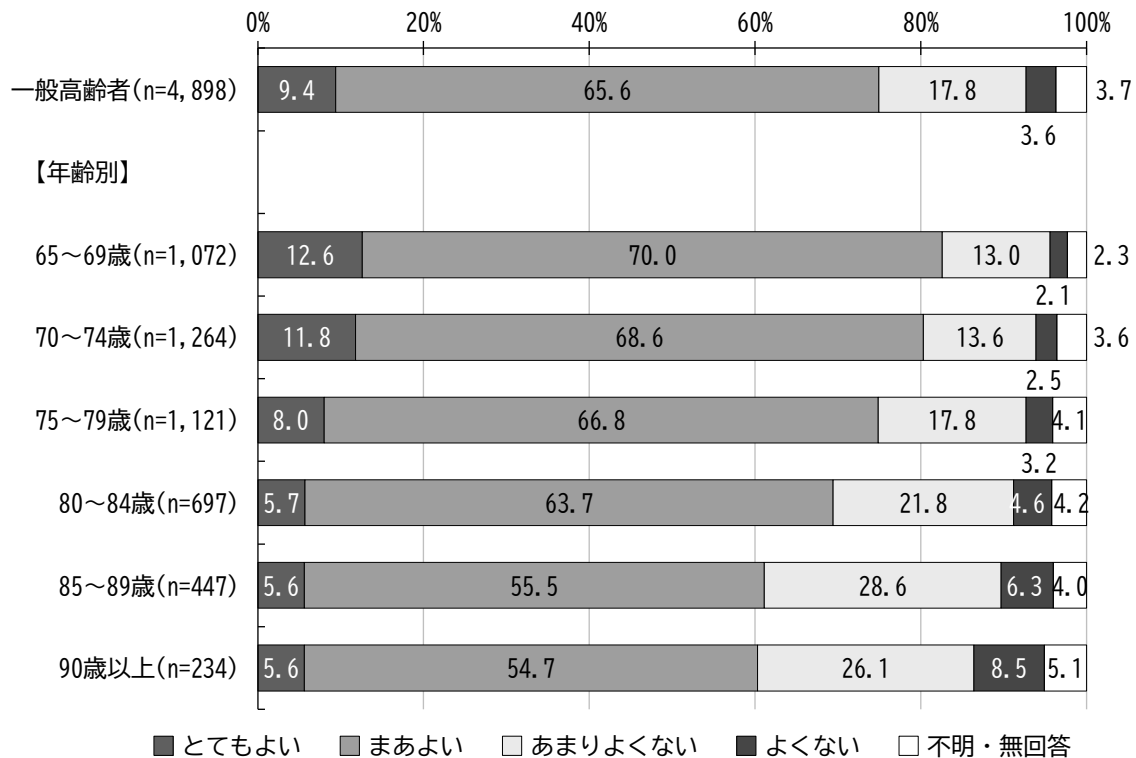


## 8 健康について

### (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

健康状態は、『よい』(「とてもよい」と「まあよい」の合算)が75.0%、『よくない』(「あまりよくない」と「よくない」の合算)が21.4%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『よい』が低くなっており、85歳以上で『よい』がそれぞれ約6割となっています。

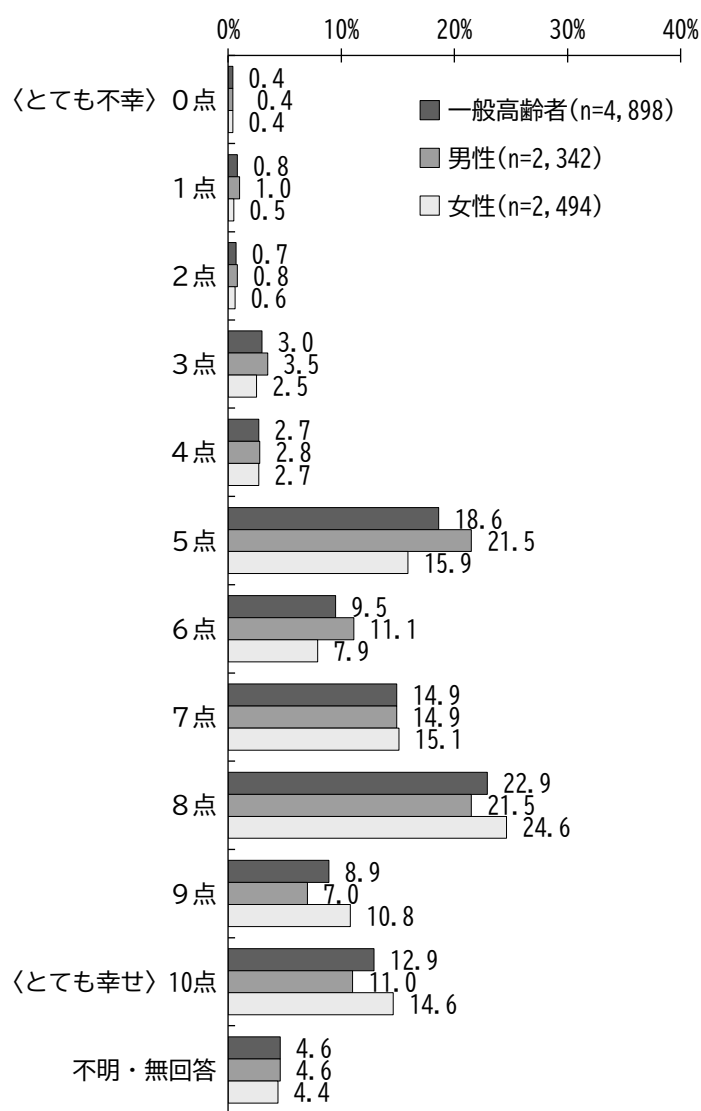


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。

現在の幸福度は、「8点」が22.9%と最も高く、次いで「5点」が18.6%、「7点」が14.9%となっています。なお、「不明・無回答」を除いた平均点は7.0点 (n=4,675) となっています。

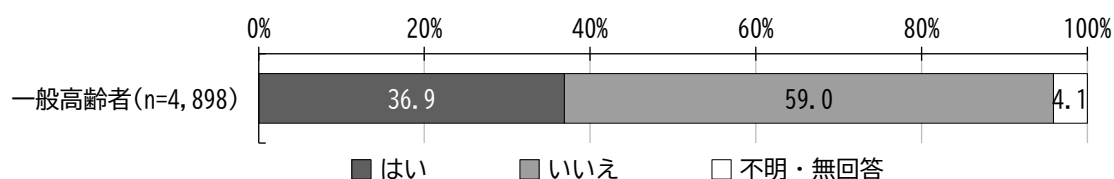
性別では、男性で「5点」「8点」が21.5%、女性で「8点」が24.6%と、それぞれ最も高くなっています。なお、「不明・無回答」を除いた平均点は男性で6.8点 (n=2,235)、女性で7.2点 (n=2,385) となっています。





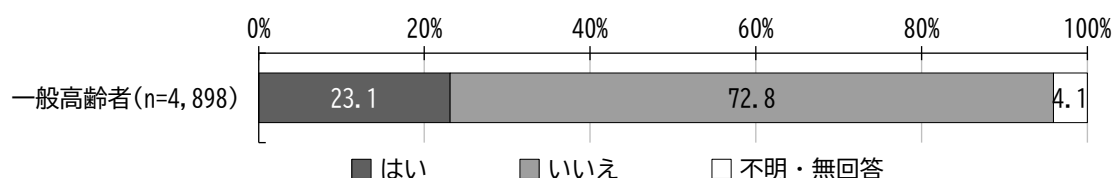
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
(○は1つ) ※「うつ傾向」判定項目

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、「はい」が36.9%、「いいえ」が59.0%となっています。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ) ※「うつ傾向」判定項目

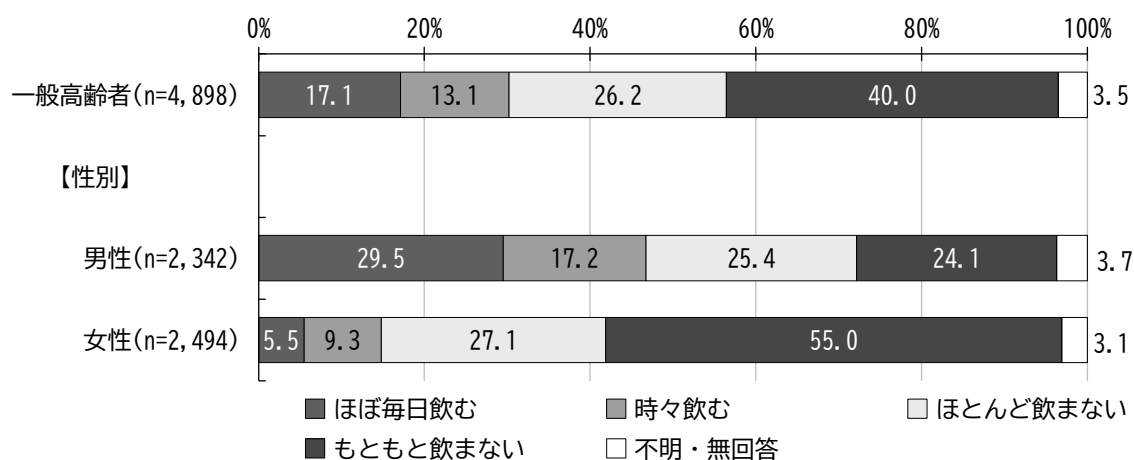
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかは、「はい」が23.1%、「いいえ」が72.8%となっています。



(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒の状況は、「もともと飲まない」が40.0%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.2%、「ほぼ毎日飲む」が17.1%となっています。

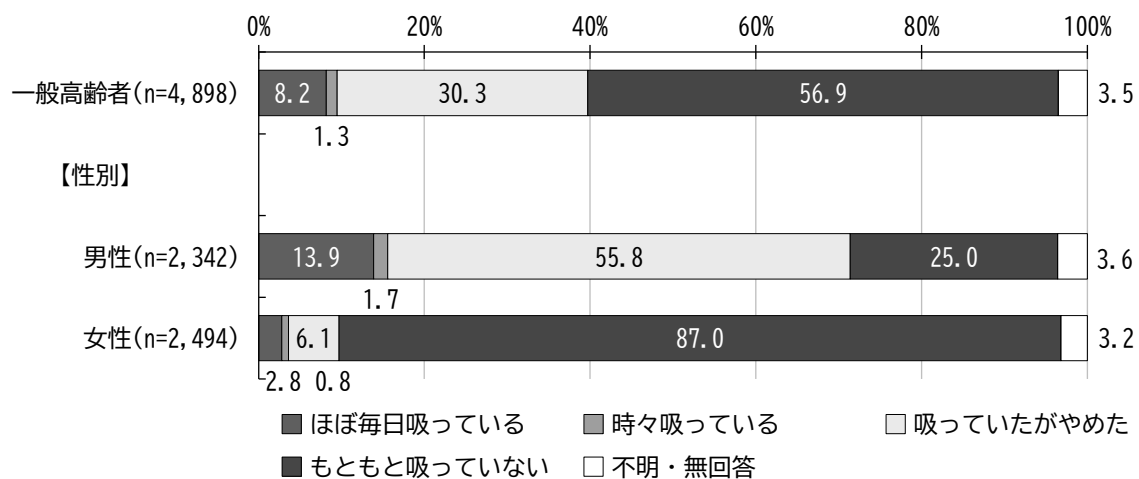
性別では、男性で「ほぼ毎日飲む」が29.5%と、女性と比べて24.0ポイント高くなっています。



(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙の状況は、「もともと吸っていない」が56.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が30.3%、「ほぼ毎日吸っている」が8.2%となっています。

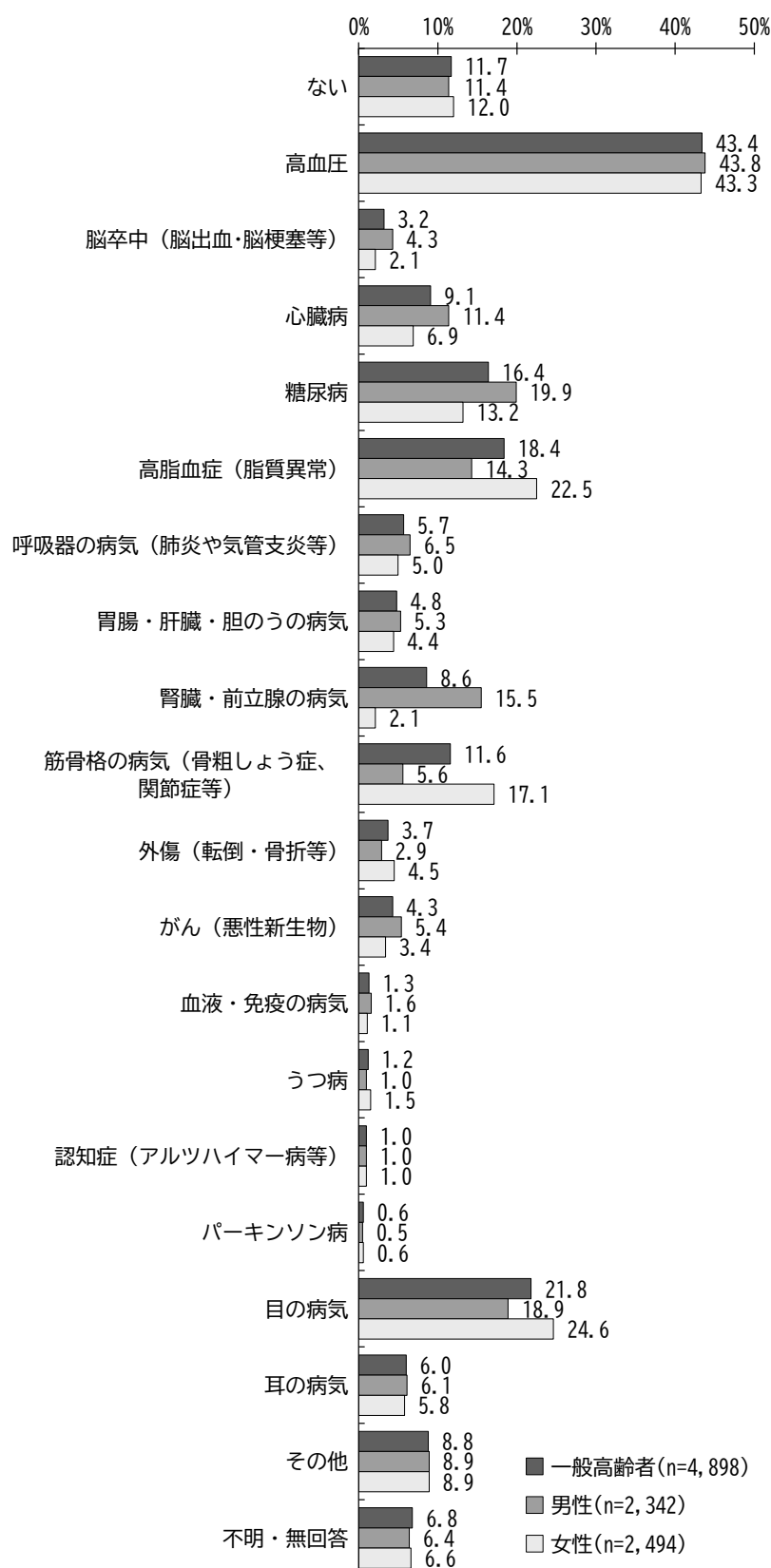
性別では、男性で「ほぼ毎日吸っている」が13.9%と、女性と比べて11.1ポイント高くなっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が43.4%と最も高く、次いで「目の病気」が21.8%、「高脂血症（脂質異常）」が18.4%となっています。

性別では、男性で「腎臓・前立腺の病気」が15.5%と、女性と比べて13.4ポイント高くなっています。一方で、女性で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が17.1%と、男性と比べて11.5ポイント高くなっています。

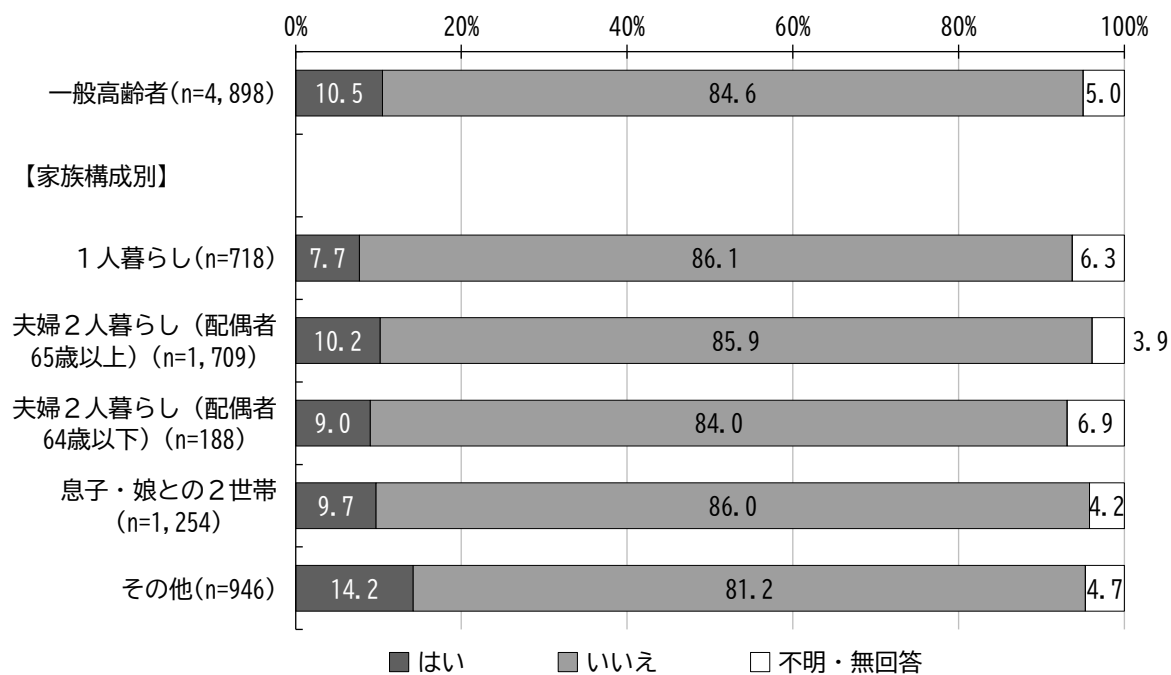


## 9 認知症に関することについて

(1) 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がありますか。(○は1つ)

認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」が10.5%、「いいえ」が84.6%となっています。

家族構成別では、いずれも「はい」がそれぞれ約1割となっています。

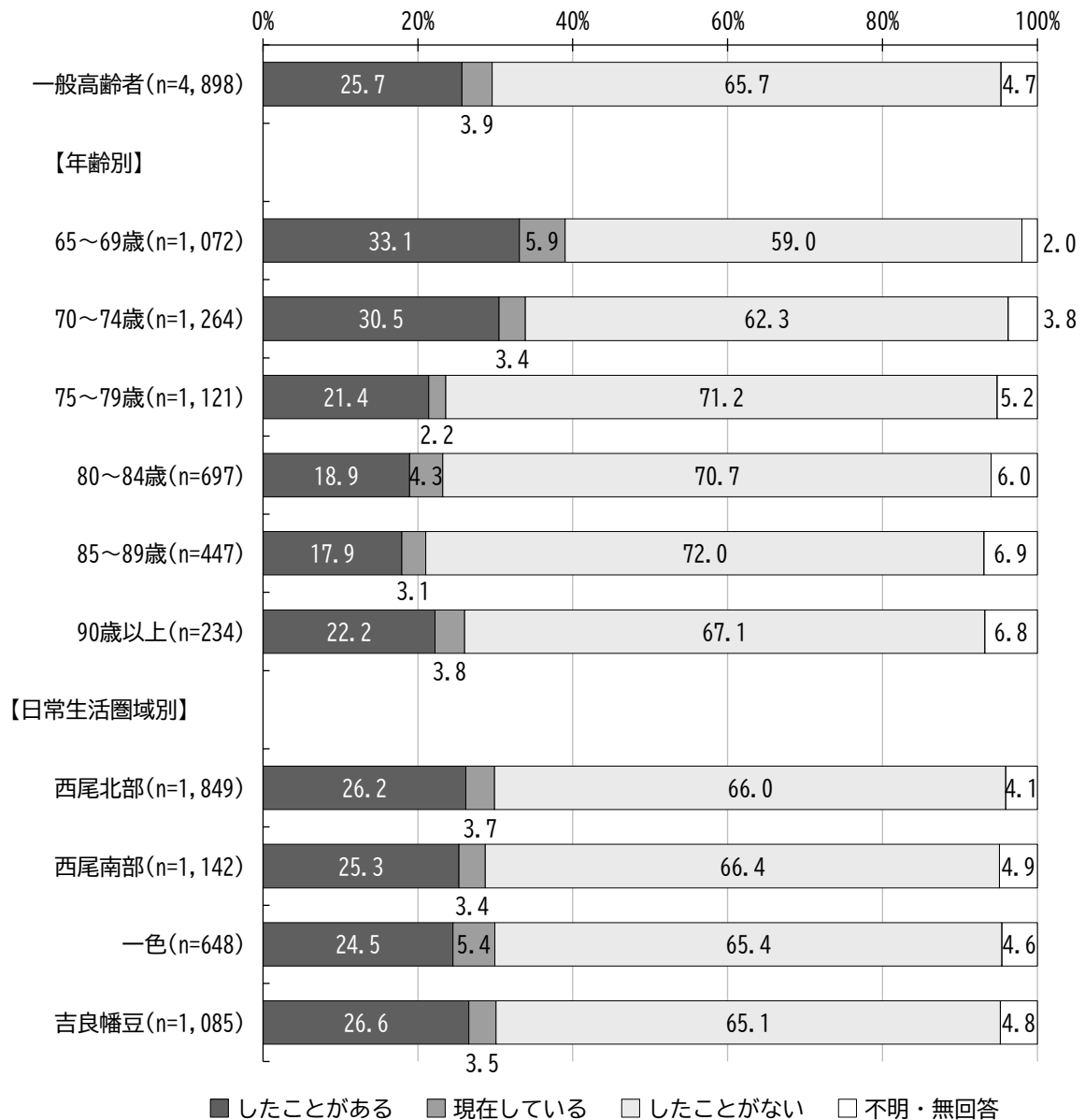


(2) 認知症の人の介護をしたことがあるまたは介護をしていますか。(○は1つ)

認知症の人の介護をしたことがあるまたは介護をしているかは、「したことがある」が25.7%、「現在している」が3.9%、「したことがない」が65.7%となっています。

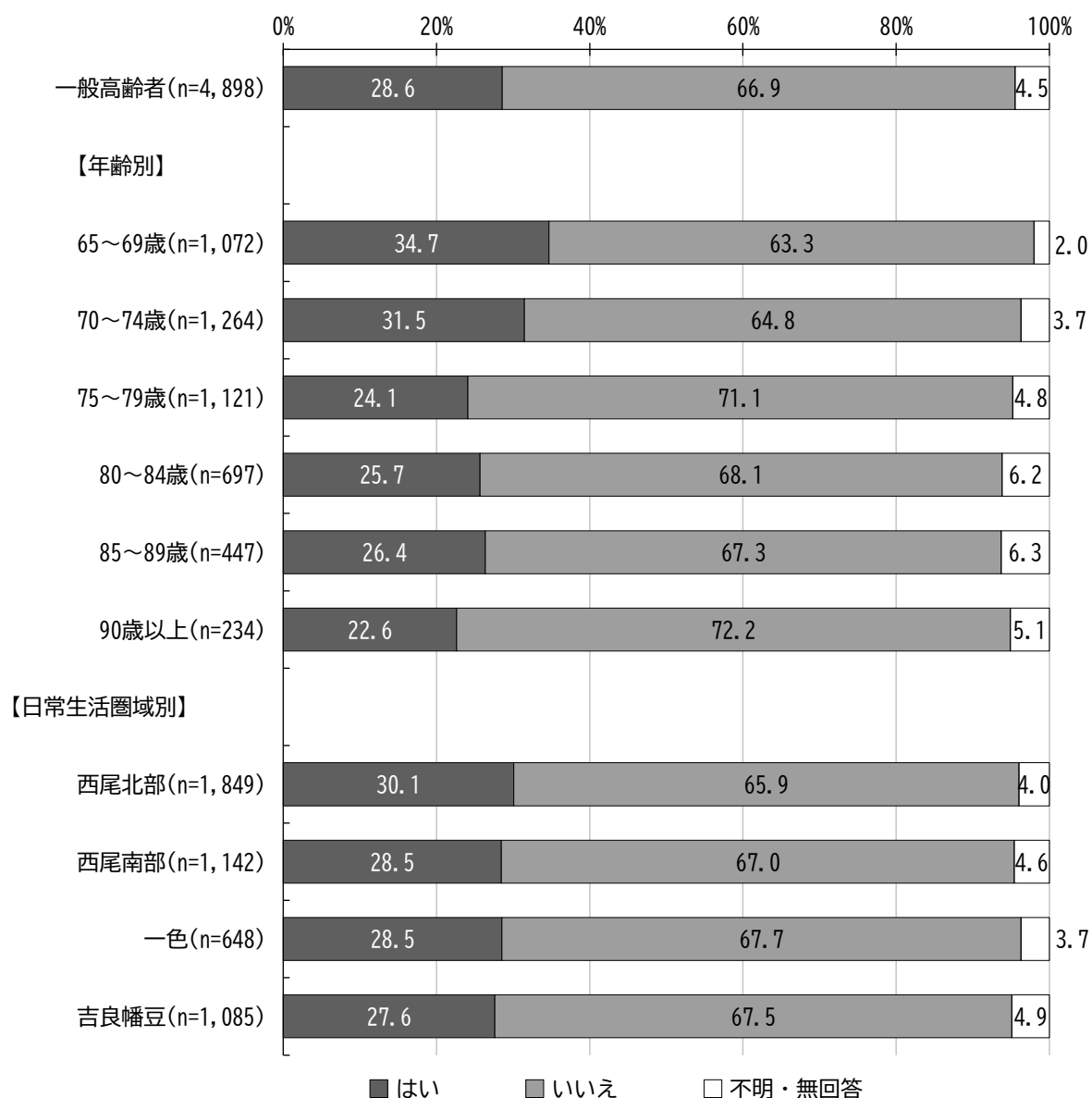
年齢別では、65～69歳、70～74歳で「したことがある」がそれぞれ3割台と、他の年代と比べて高くなっています。

日常生活圏域別では、いずれも「したことがある」がそれぞれ2割台となっています。



(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」が28.6%、「いいえ」が66.9%となっています。  
年齢別では、75歳未満で「はい」がそれぞれ3割台と、他の年代と比べて高くなっています。  
日常生活圏域別では、いずれも「はい」がそれぞれ約3割となっています。

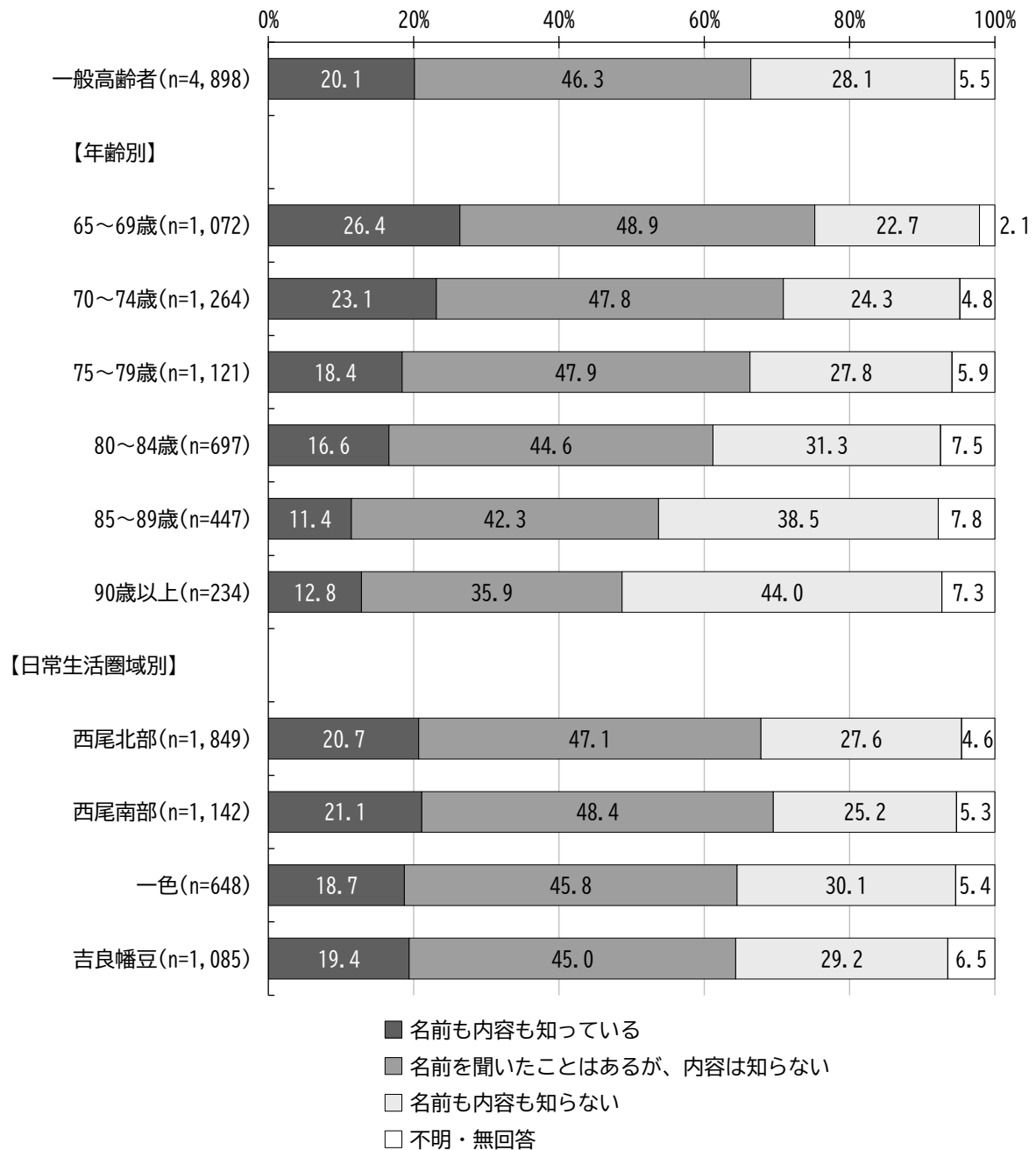


(4) 成年後見制度について知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度を知っているかは、「名前も内容も知っている」が20.1%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が46.3%、「名前も内容も知らない」が28.1%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「名前も内容も知らない」が高くなっており、90歳以上で44.0%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「名前も内容も知っている」がそれぞれ約2割となっています。



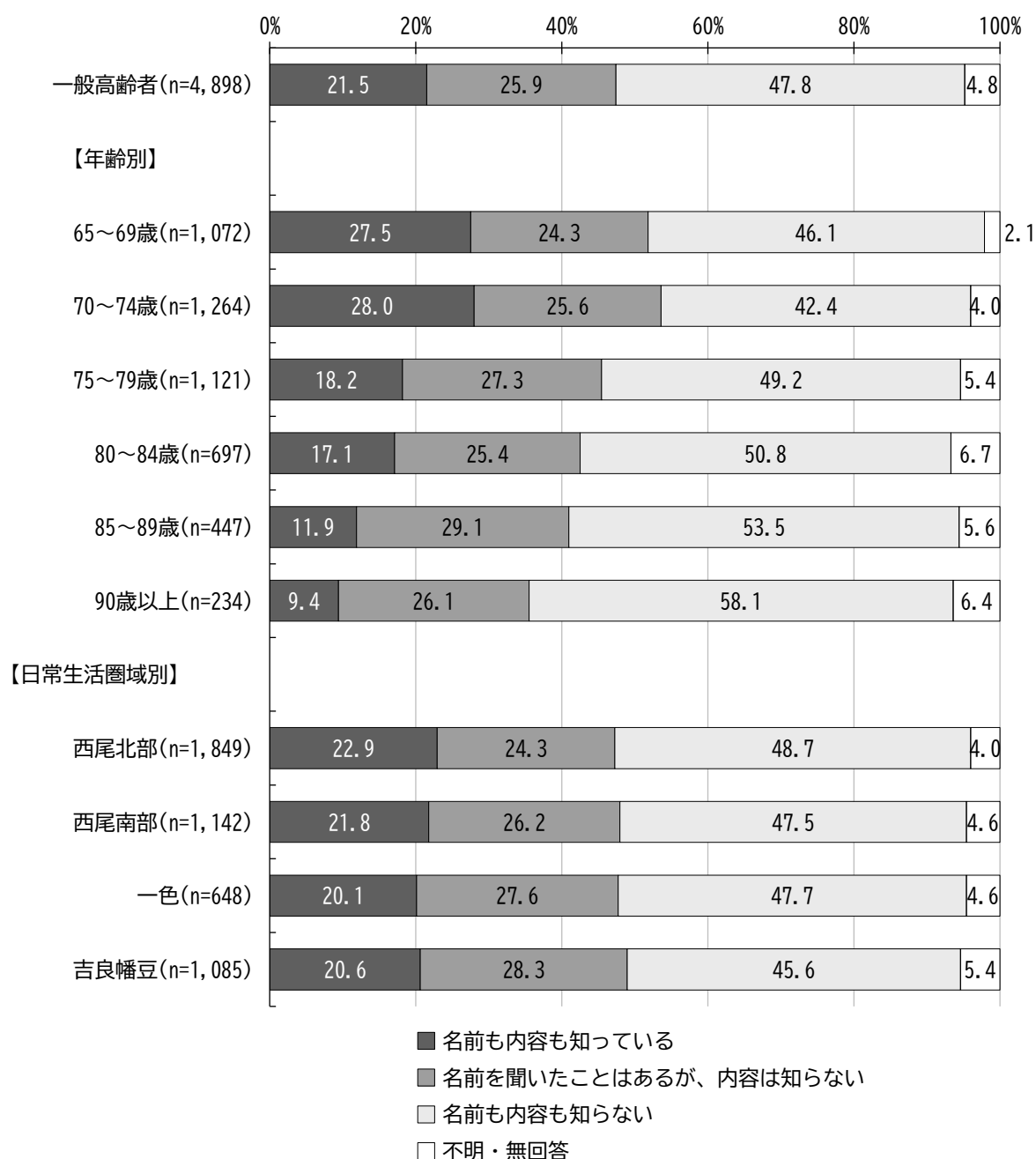
## 10 介護保険や高齢者福祉施策について

(1) 加齢に伴い、運動量の低下と社会交流機会が減少することで筋力や認知機能の低下を起し、徐々に心身の機能が衰えていく「フレイル」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

「フレイル」という言葉を知っているかは、「名前も内容も知っている」が21.5%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.9%、「名前も内容も知らない」が47.8%となっています。

年齢別では、80歳以上で「名前も内容も知らない」がそれぞれ5割台と、他の年代と比べて高くなっています。

日常生活圏域別では、いずれも「名前も内容も知っている」がそれぞれ2割台となっています。

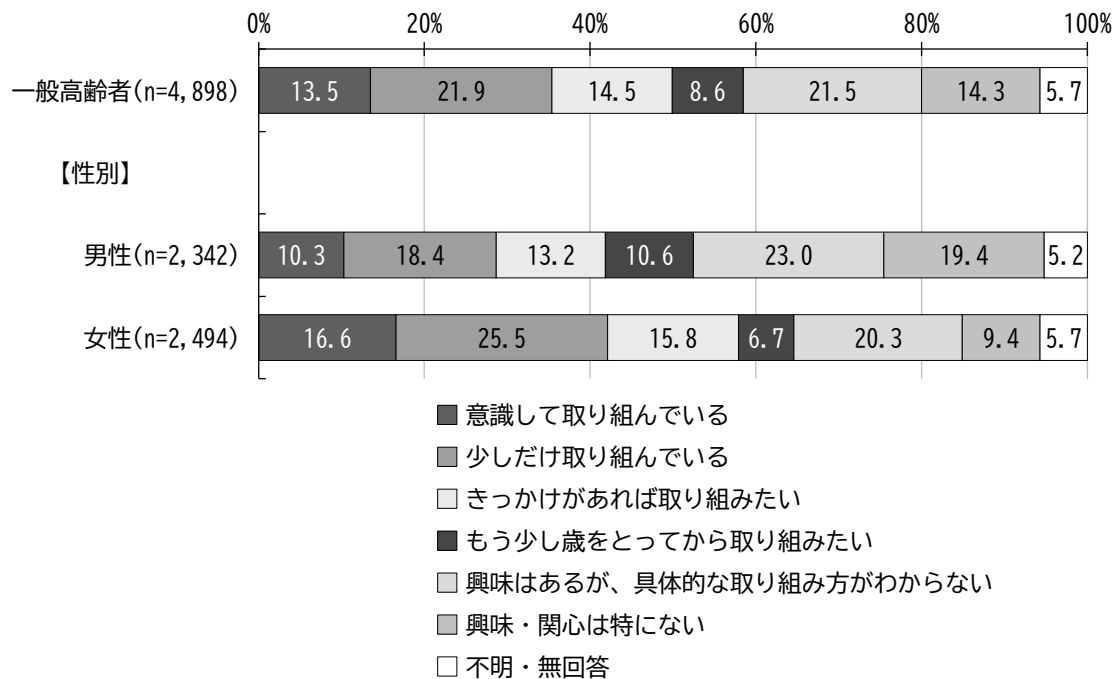




(2) あなたは現在、介護予防に取り組んでいますか。(〇は1つ)

現在、介護予防に取り組んでいるかは、「少しだけ取り組んでいる」が21.9%と最も高く、次いで「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」が21.5%、「きっかけがあれば取り組みたい」が14.5%となっています。なお、「意識して取り組んでいる」と「少しだけ取り組んでいる」を合わせた『介護予防に取り組んでいる』は35.4%となっています。

性別では、女性で『介護予防に取り組んでいる』が42.1%となっており、男性と比べて13.4ポイント高くなっています。

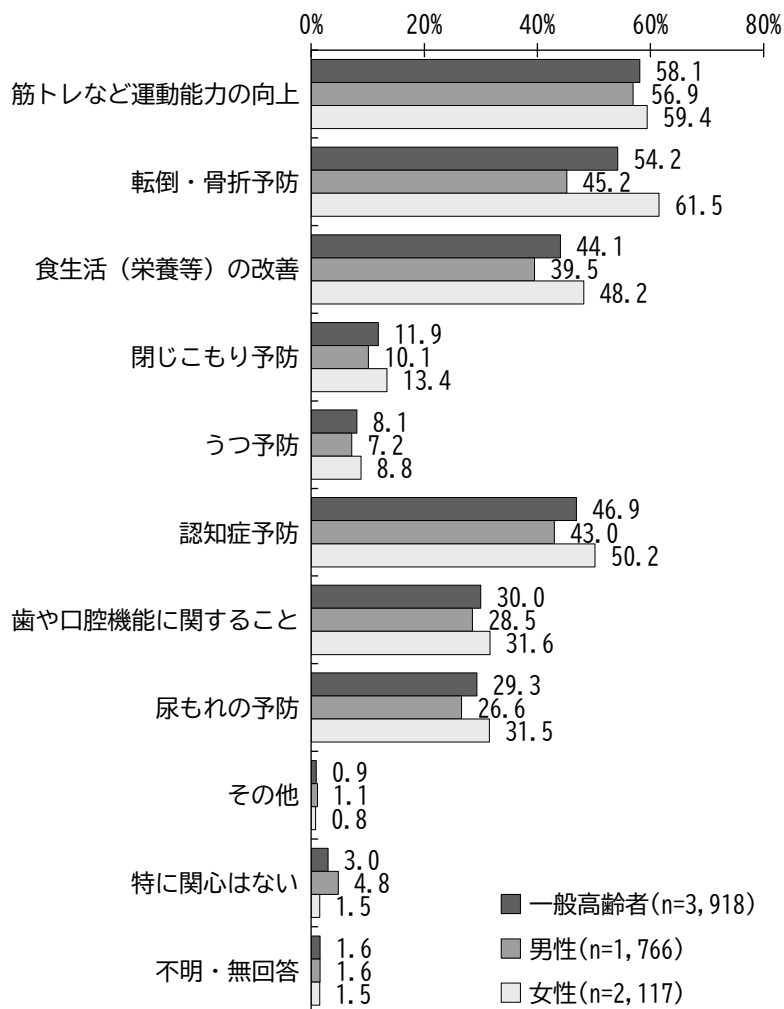


【(2)で「興味・関心は特にない」以外に○を付けた方】

(3) 介護予防に関して、関心のある事項は何ですか。(○はいくつでも)

介護予防に関して、関心のある事項は、「筋トレなど運動能力の向上」が 58.1%と最も高く、次いで「転倒・骨折予防」が 54.2%、「認知症予防」が 46.9%となっています。なお、「特に関心はない」は 3.0%となっています。

性別では、女性で「転倒・骨折予防」が61.5%と、男性と比べて 16.3 ポイント高くなっています。

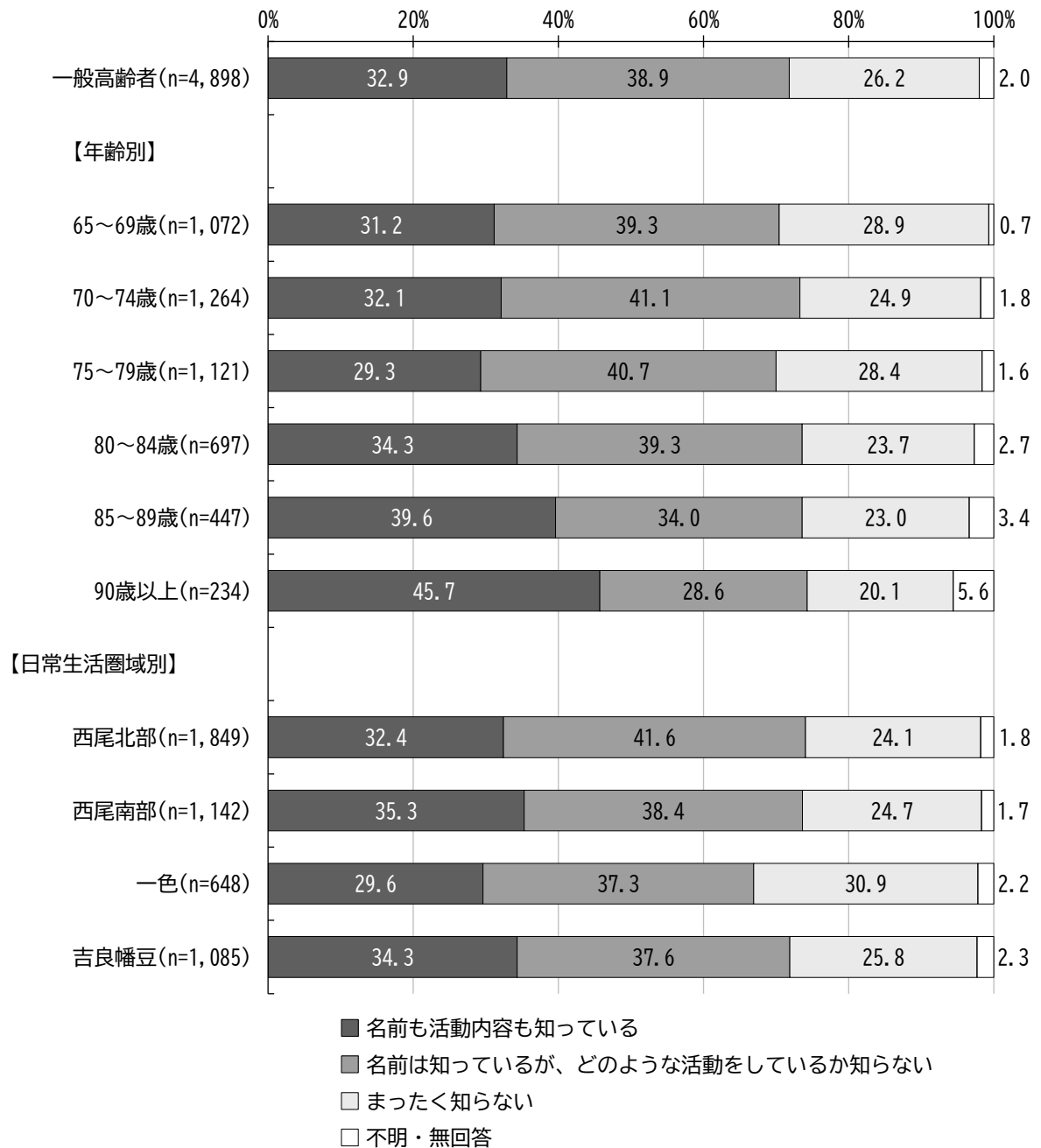


(4) あなたは、地域包括支援センターのことをご存知ですか。(〇は1つ)

地域包括支援センターのことを知っているかは、「名前も活動内容も知っている」が32.9%、「名前は知っているが、どのような活動をしているか知らない」が38.9%、「まったく知らない」が26.2%となっています。

年齢別では、概ね年齢が上がるにつれて「名前も活動内容も知っている」が高くなっており、90歳以上で45.7%となっています。

日常生活圏域別では、一色を除いて「名前も活動内容も知っている」がそれぞれ3割台となっています。

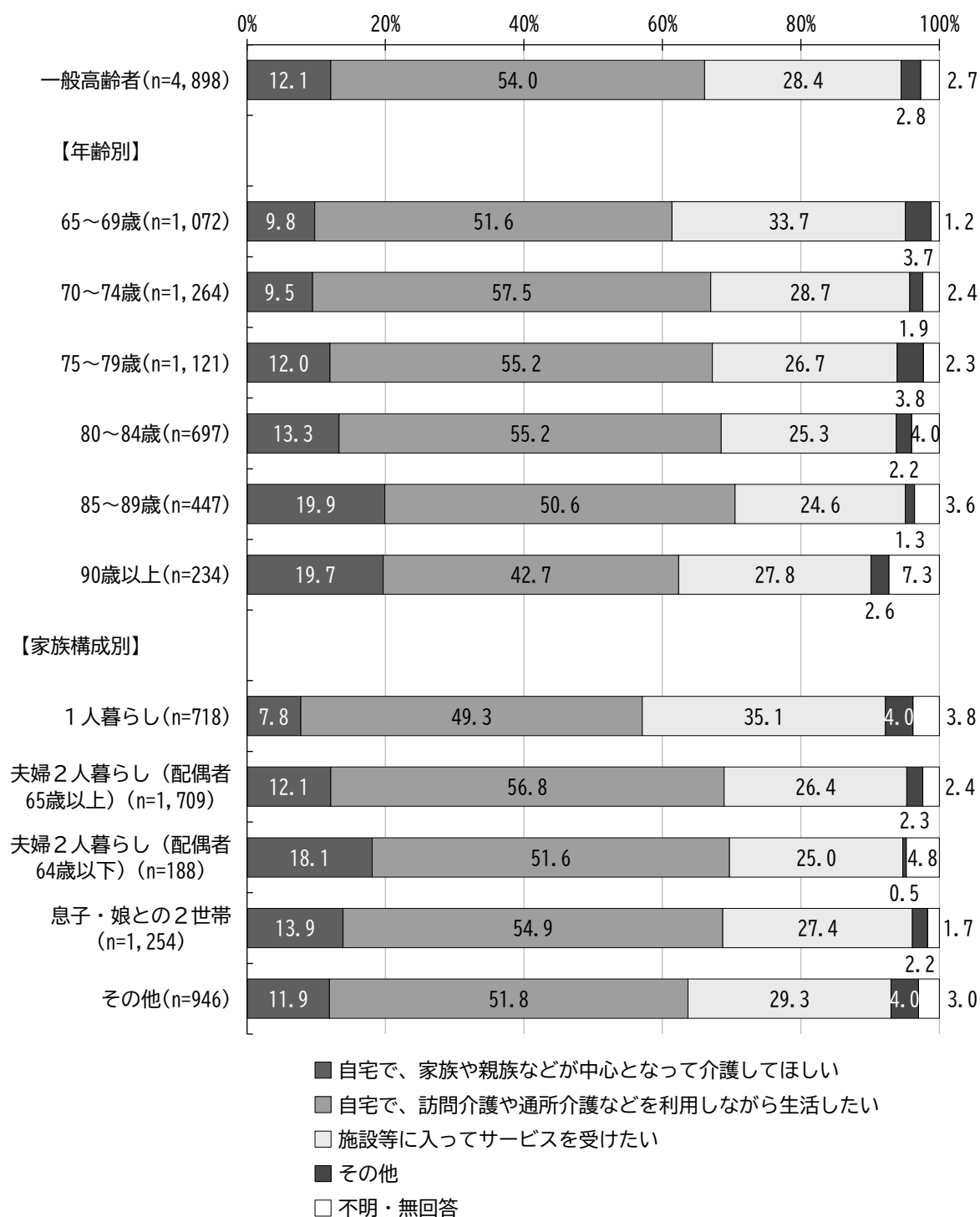


(5) 今後、仮にあなたに介護が必要になった場合、どのような生活を希望されますか。(〇は1つ)

今後、仮に介護が必要になった場合に希望する生活は、「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら生活したい」が54.0%と最も高く、次いで「施設等に入ってサービスを受けたい」が28.4%、「自宅で、家族や親族などが中心となって介護してほしい」が12.1%となっています。

年齢別では、85歳以上で「自宅で、家族や親族などが中心となって介護してほしい」がそれぞれ約2割と、他の年代と比べて高くなっています。

家族構成別では、1人暮らしで「施設等に入ってサービスを受けたい」が35.1%と、他の家族構成と比べて高くなっています。

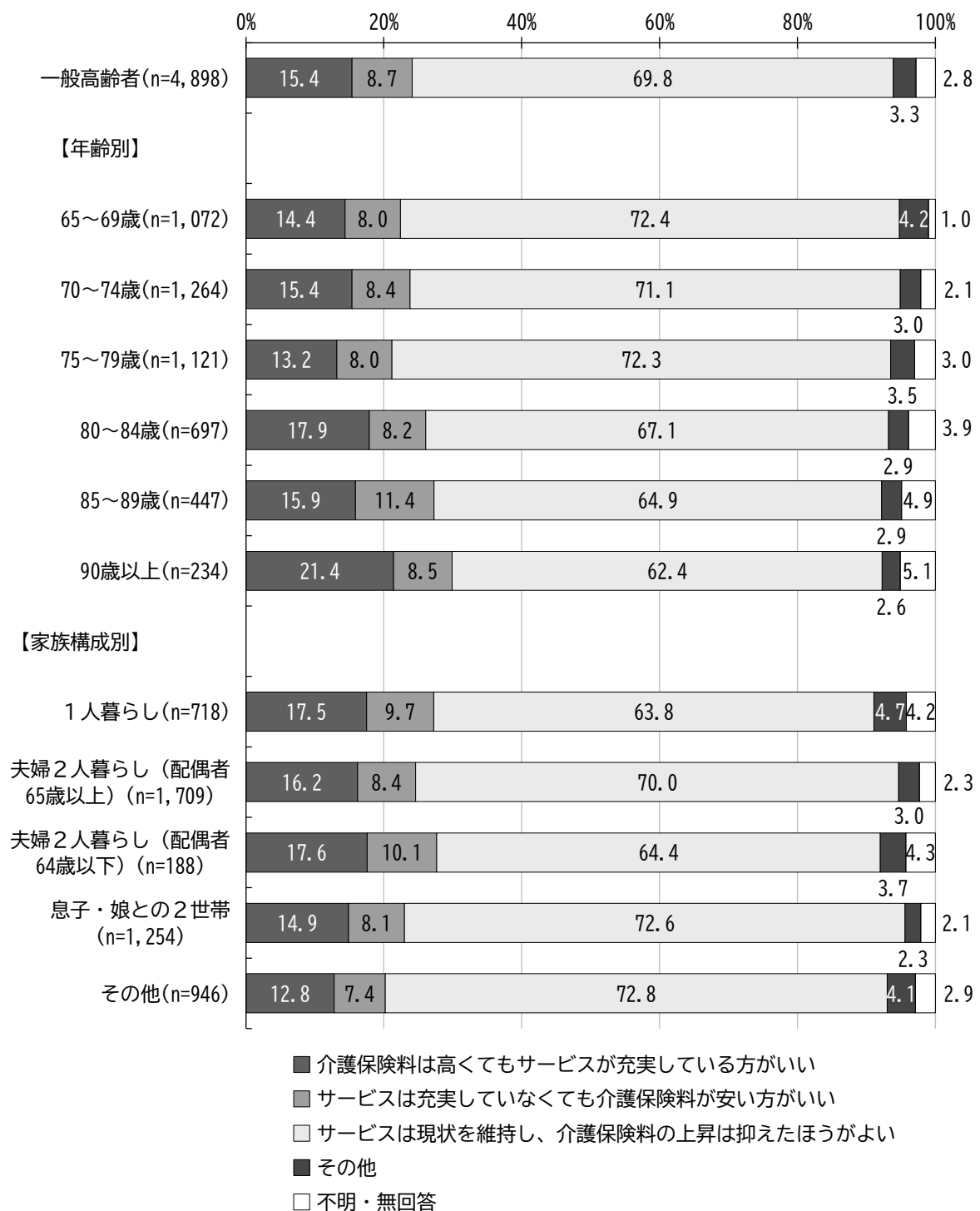


(6) 今後も超高齢化社会が続き介護保険料の上昇が見込まれます。あなたは、介護サービスの水準と介護保険料についてどのように考えますか。(〇は1つ)

介護サービスの水準と介護保険料の考え方は、「サービスは現状を維持し、介護保険料の上昇は抑えたほうがよい」が69.8%と最も高く、次いで「介護保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」が15.4%、「サービスは充実していなくても介護保険料が安い方がいい」が8.7%となっています。

年齢別では、90歳以上で「介護保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」が21.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

家族構成別では、いずれも「介護保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」がそれぞれ1割台となっています。



# 11 調査結果からみる調査対象者の評価について

## (1) 運動器の機能低下

下記の設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、運動器の機能低下している高齢者になります。

該当設問 運動器機能の低下について

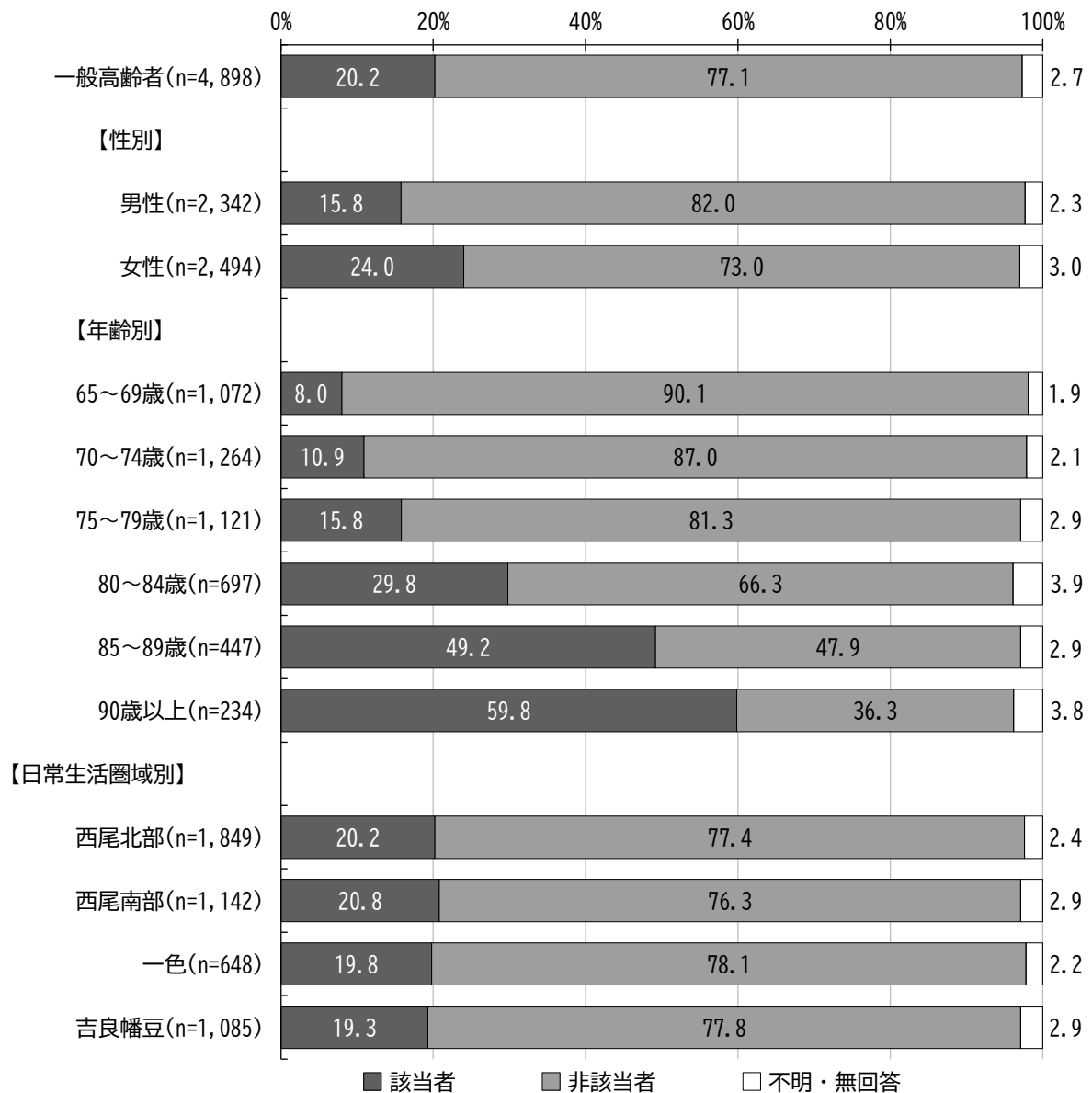
| 設問番号  | 設問                            | 選択肢                                                  |
|-------|-------------------------------|------------------------------------------------------|
| 3 (1) | 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。        | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない             |
| 3 (2) | 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない             |
| 3 (3) | 15分位続けて歩いていますか。               | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない             |
| 3 (4) | 過去1年間に転んだ経験がありますか。            | 1. 何度もある<br>2. 1度ある<br>3. ない                         |
| 3 (5) | 転倒に対する不安は大きいですか。              | 1. とても不安である<br>2. やや不安である<br>3. あまり不安でない<br>4. 不安でない |

20.2%の高齢者に運動器の機能低下がみられます。

性別では、女性で「該当者」が24.0%と、男性と比べて8.2ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっており、90歳以上で59.8%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「該当者」がそれぞれ約2割となっています。



## (2) 転倒リスク

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります。

該当設問 転倒リスクについて

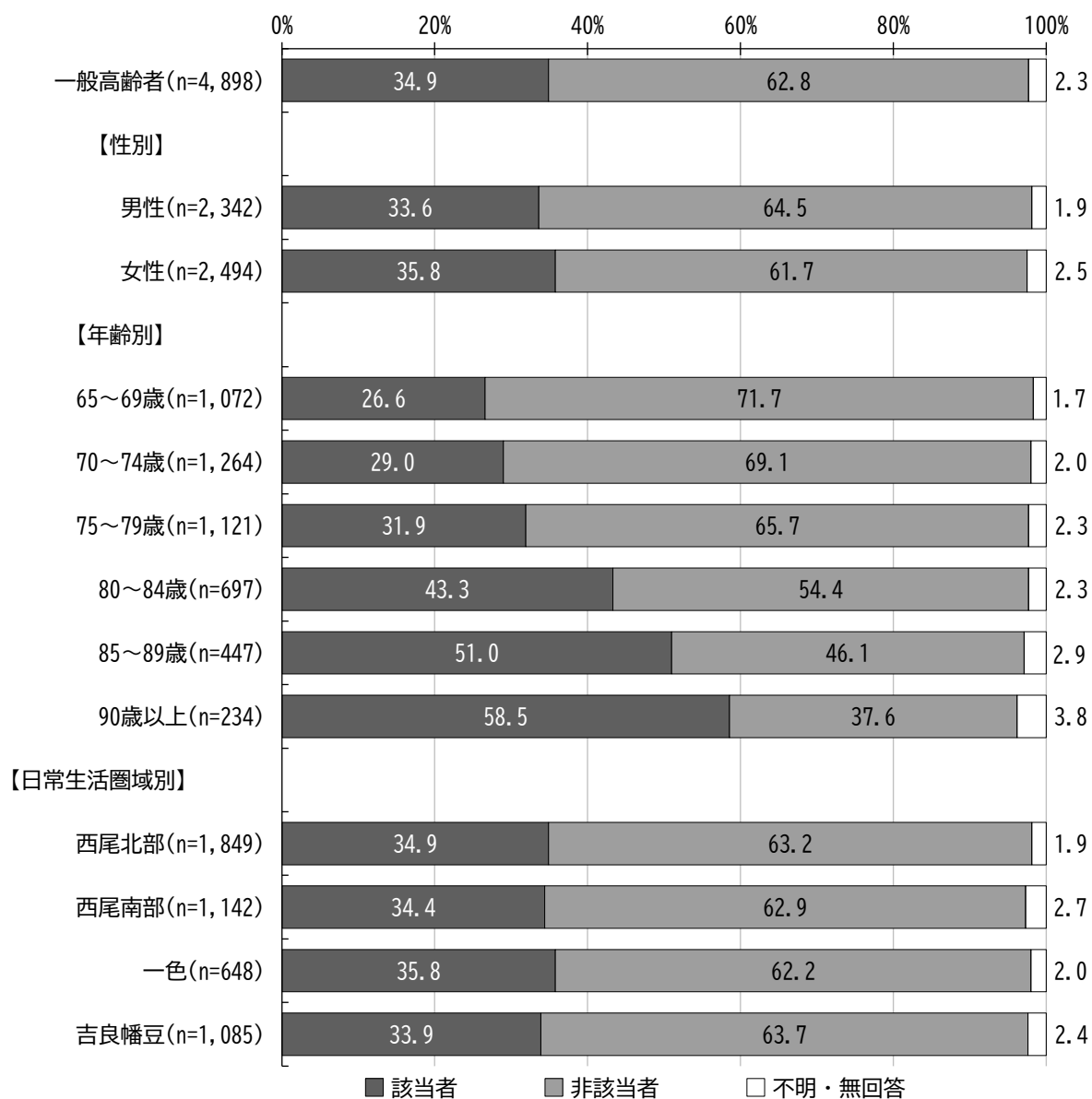
| 設問番号  | 設問                 | 選択肢                          |
|-------|--------------------|------------------------------|
| 3 (4) | 過去1年間に転んだ経験がありますか。 | 1. 何度もある<br>2. 1度ある<br>3. ない |

34.9%の高齢者に転倒リスクがみられます。

性別では、男性、女性ともに「該当者」がそれぞれ3割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっており、85歳以上でそれぞれ5割台となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「該当者」がそれぞれ3割台となっています。





(3) 閉じこもり傾向

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

該当設問 閉じこもり傾向について

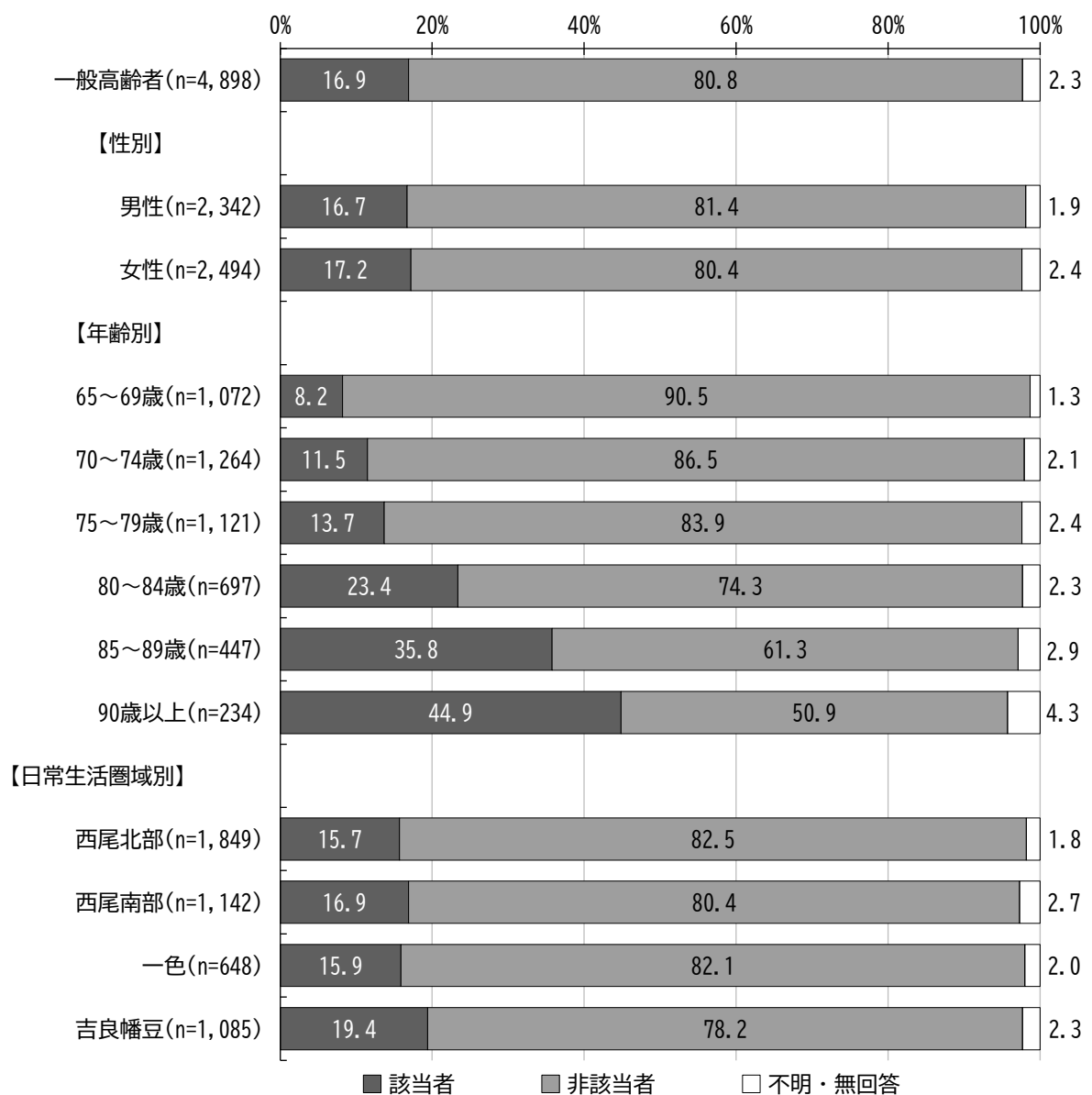
| 設問番号  | 設問               | 選択肢                                            |
|-------|------------------|------------------------------------------------|
| 3 (6) | 週に1回以上は外出していますか。 | 1. ほとんど外出しない<br>2. 週1回<br>3. 週2～4回<br>4. 週5回以上 |

16.9%の高齢者に閉じこもり傾向がみられます。

性別では、男性、女性ともに「該当者」がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっており、90歳以上で44.9%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「該当者」がそれぞれ1割台となっています。



#### (4) 低栄養状態

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

該当設問 低栄養状態について

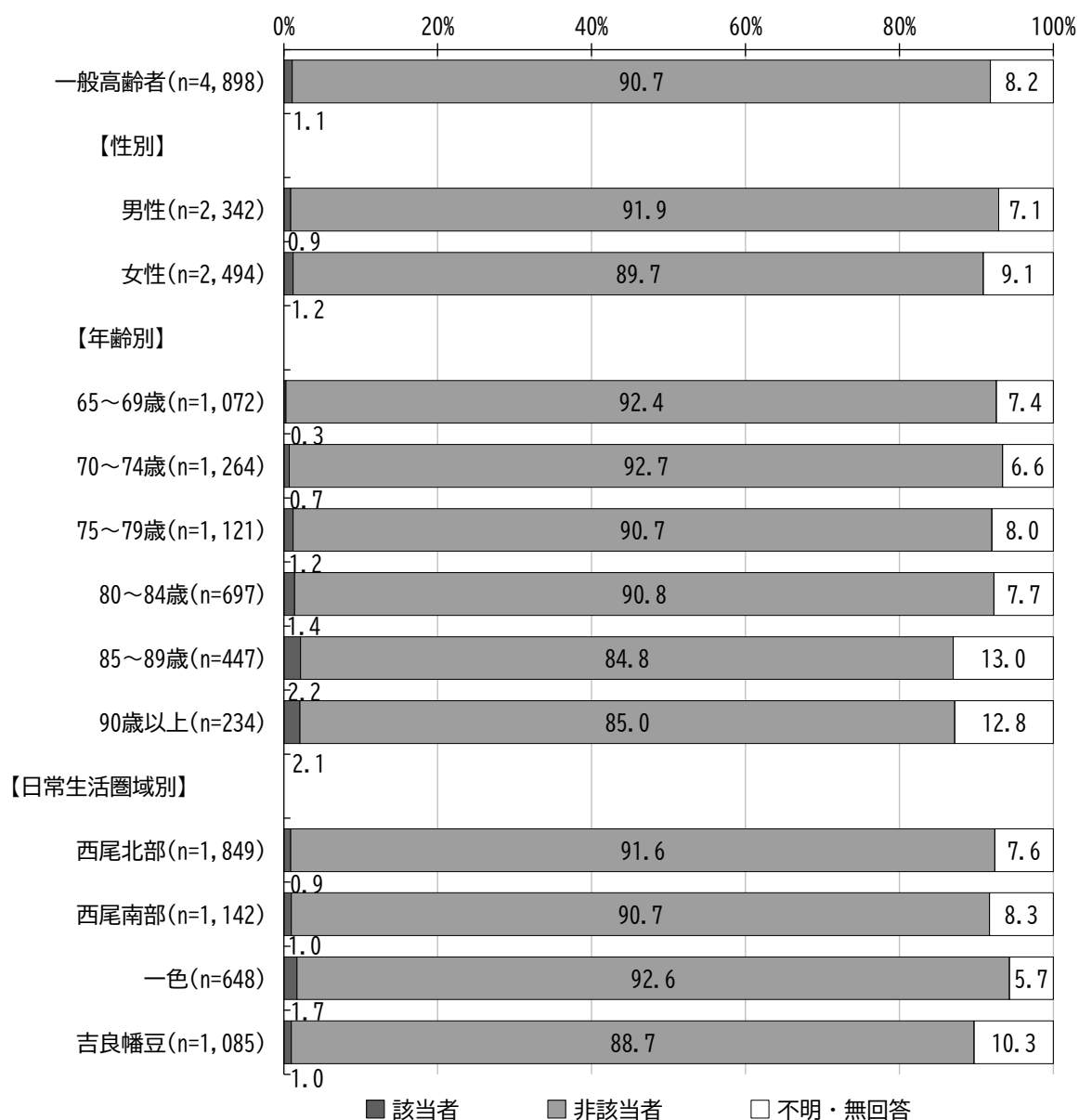
| 設問番号  | 設問                                              | 選択肢                |
|-------|-------------------------------------------------|--------------------|
| 4 (1) | 身長・体重 (BMI) (BMI = 体重 kg ÷ (身長m) <sup>2</sup> ) | 18.5 未満<br>18.5 以上 |
| 4 (8) | 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。                 | 1. はい<br>2. いいえ    |

低栄養状態の高齢者は全体で 1.1%となっています。

性別では、男性、女性ともに「該当者」がそれぞれ数%と大きな差はみられません。

年齢別では、いずれも「該当者」がそれぞれ数%と大きな差はみられません。

日常生活圏域別では、いずれも「該当者」がそれぞれ数%と大きな差はみられません。



(5) 口腔機能の低下

下記の設問で2問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、口腔機能の低下が疑われる高齢者になります。

該当設問 口腔機能の低下について

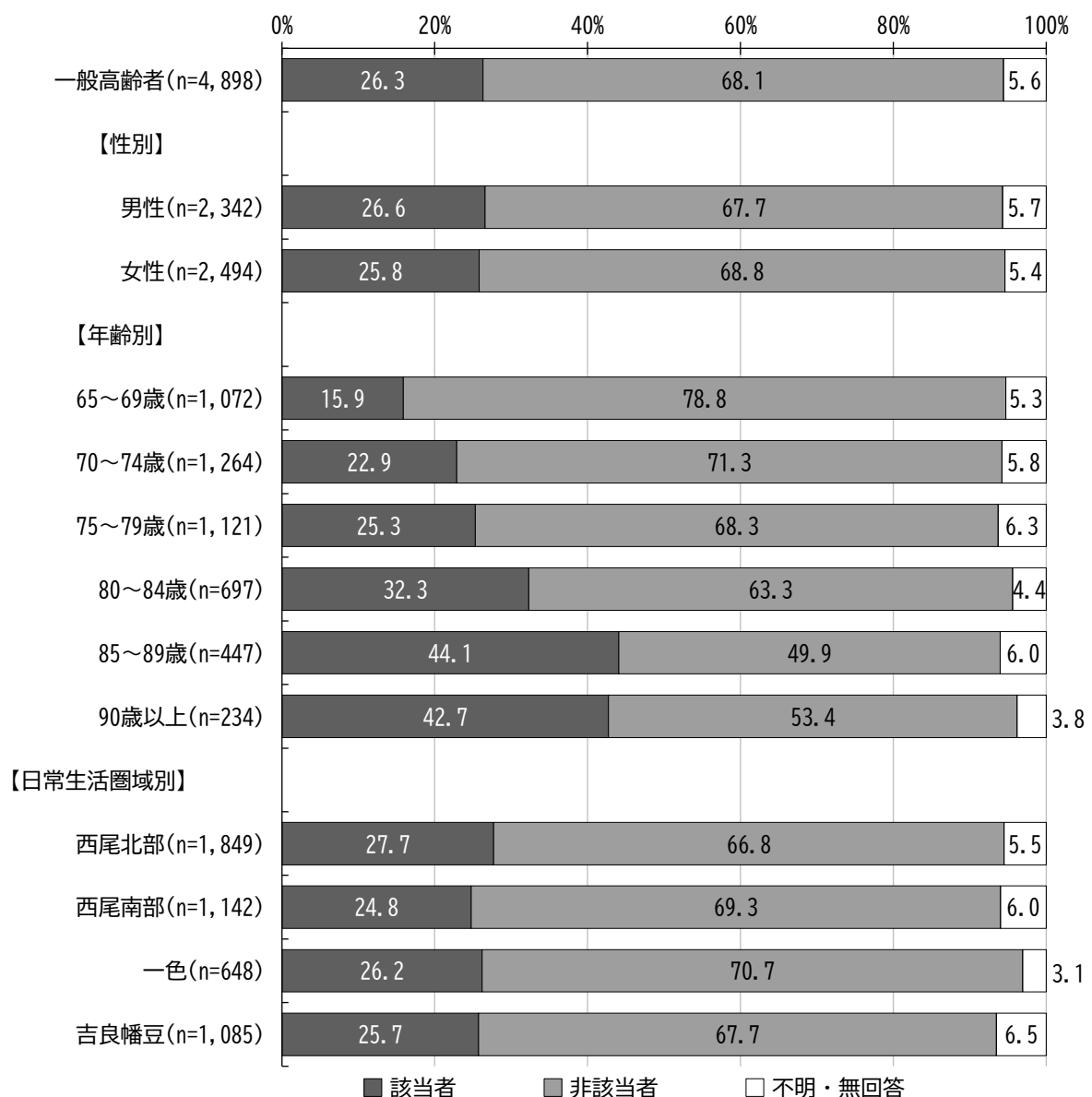
| 設問番号  | 設問                       | 選択肢          |
|-------|--------------------------|--------------|
| 4 (2) | 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 | 1. はい 2. いいえ |
| 4 (3) | お茶や汁物等でむせることがありますか。      | 1. はい 2. いいえ |
| 4 (4) | 口の渇きが気になりますか。            | 1. はい 2. いいえ |

26.3%の高齢者に口腔機能の低下がみられます。

性別では、男性、女性ともに「該当者」がそれぞれ2割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっており、85歳以上でそれぞれ4割台となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「該当者」がそれぞれ2割台となっています。



## (6) 認知機能

下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

該当設問 認知機能について

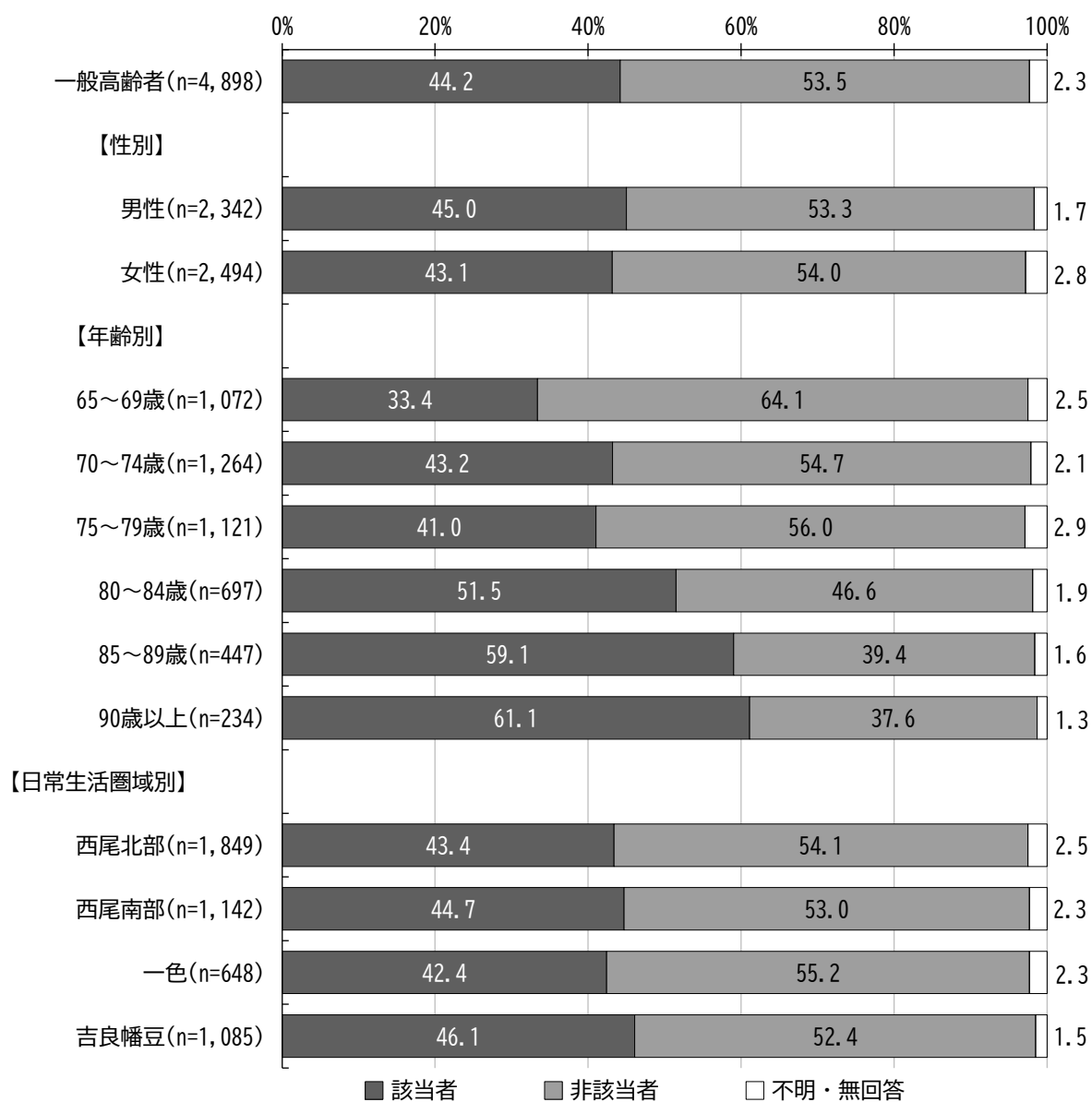
| 設問番号  | 設問            | 選択肢          |
|-------|---------------|--------------|
| 5 (1) | 物忘れが多いと感じますか。 | 1. はい 2. いいえ |

44.2%の高齢者に認知機能の低下がみられます。

性別では、男性、女性ともに「該当者」がそれぞれ4割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「該当者」が高くなっており、85歳以上でそれぞれ約6割となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「該当者」がそれぞれ4割台となっています。



(7) うつ傾向

下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります。

該当設問 うつ傾向について

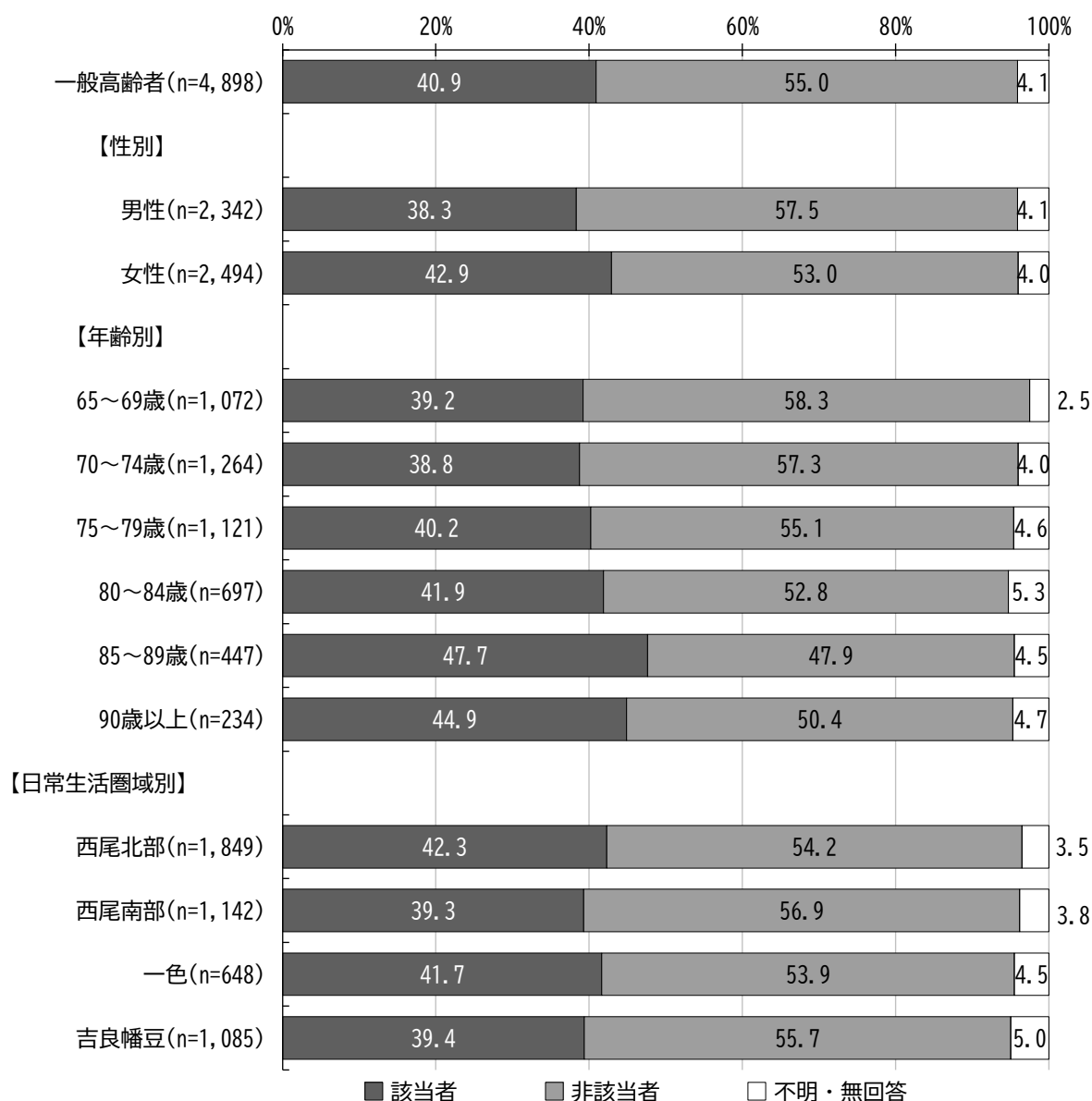
| 設問番号  | 設問                                                 | 選択肢          |
|-------|----------------------------------------------------|--------------|
| 8 (3) | この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。           | 1. はい 2. いいえ |
| 8 (4) | この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。 | 1. はい 2. いいえ |

40.9%の高齢者にうつ傾向がみられます。

性別では、男性、女性ともに「該当者」がそれぞれ約4割となっています。

年齢別では、75歳以上で「該当者」がそれぞれ4割台となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「該当者」がそれぞれ約4割となっています。



|                      |
|----------------------|
| (7) IADL (手段的日常生活動作) |
|----------------------|

以下の5つの設問について、「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方を1点とし、5点満点で評価しました。5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価しました。

該当設問 IADL (手段的日常生活動作) について

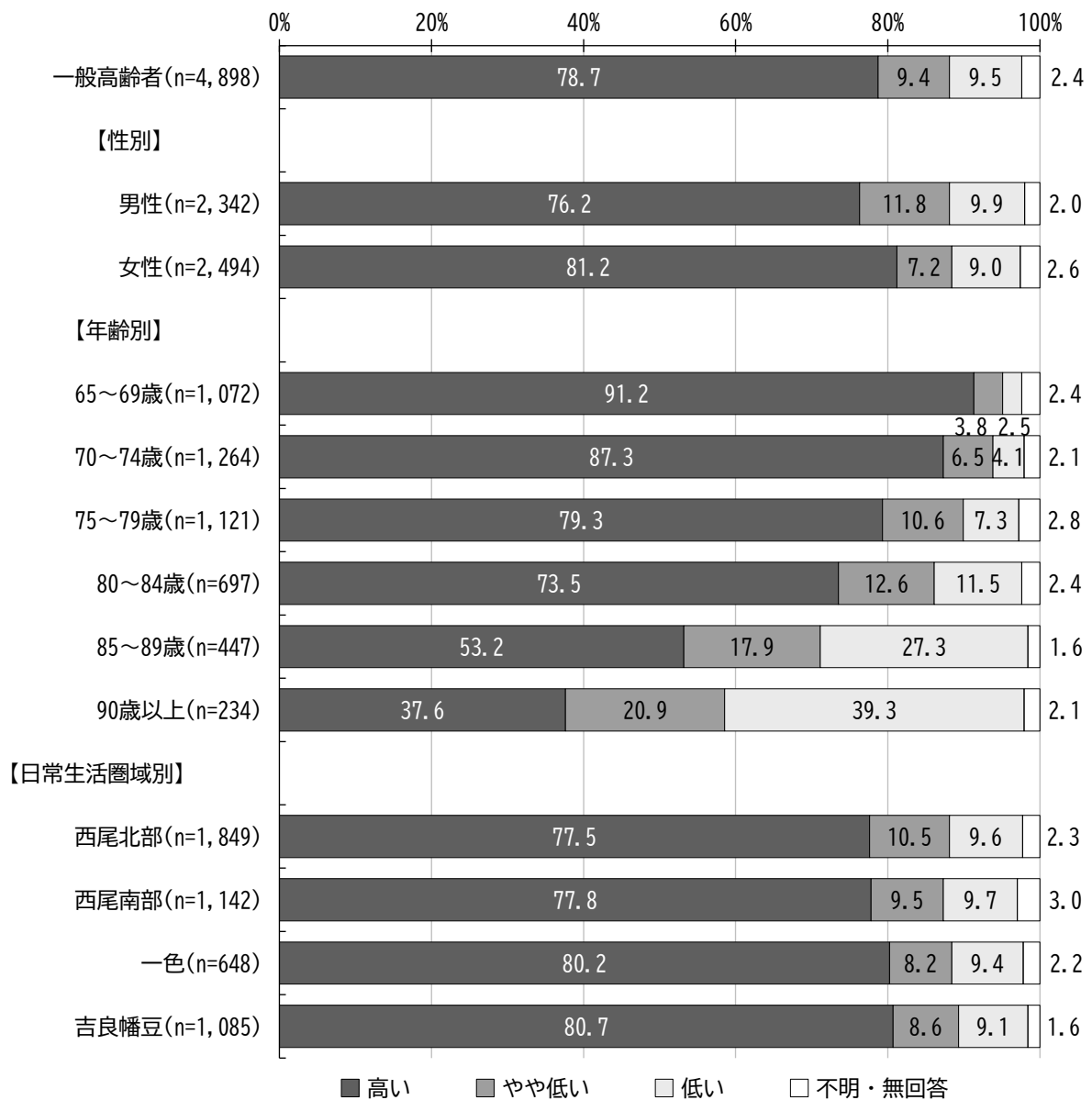
| 設問番号  | 設問                    | 選択肢                                      |
|-------|-----------------------|------------------------------------------|
| 5 (4) | バスや電車を使って1人で外出していますか。 | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない |
| 5 (5) | 自分で食品・日用品の買物をしていますか。  | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない |
| 5 (6) | 自分で食事の用意をしていますか。      | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない |
| 5 (7) | 自分で請求書の支払いをしていますか。    | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない |
| 5 (8) | 自分で預貯金の出し入れをしていますか。   | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. できない |

9.5%の高齢者が「低い」と判定されています。

性別では、男性、女性ともに「低い」がそれぞれ約1割となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「低い」が高くなっており、90歳以上で39.3%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「低い」がそれぞれ約1割となっています。



## (8) 知的能動性

以下の4つの設問について、「はい」と回答した方を1点として計算し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点を「低い」、2点以下を「低い」として評価しました。

該当設問 知的能動性について

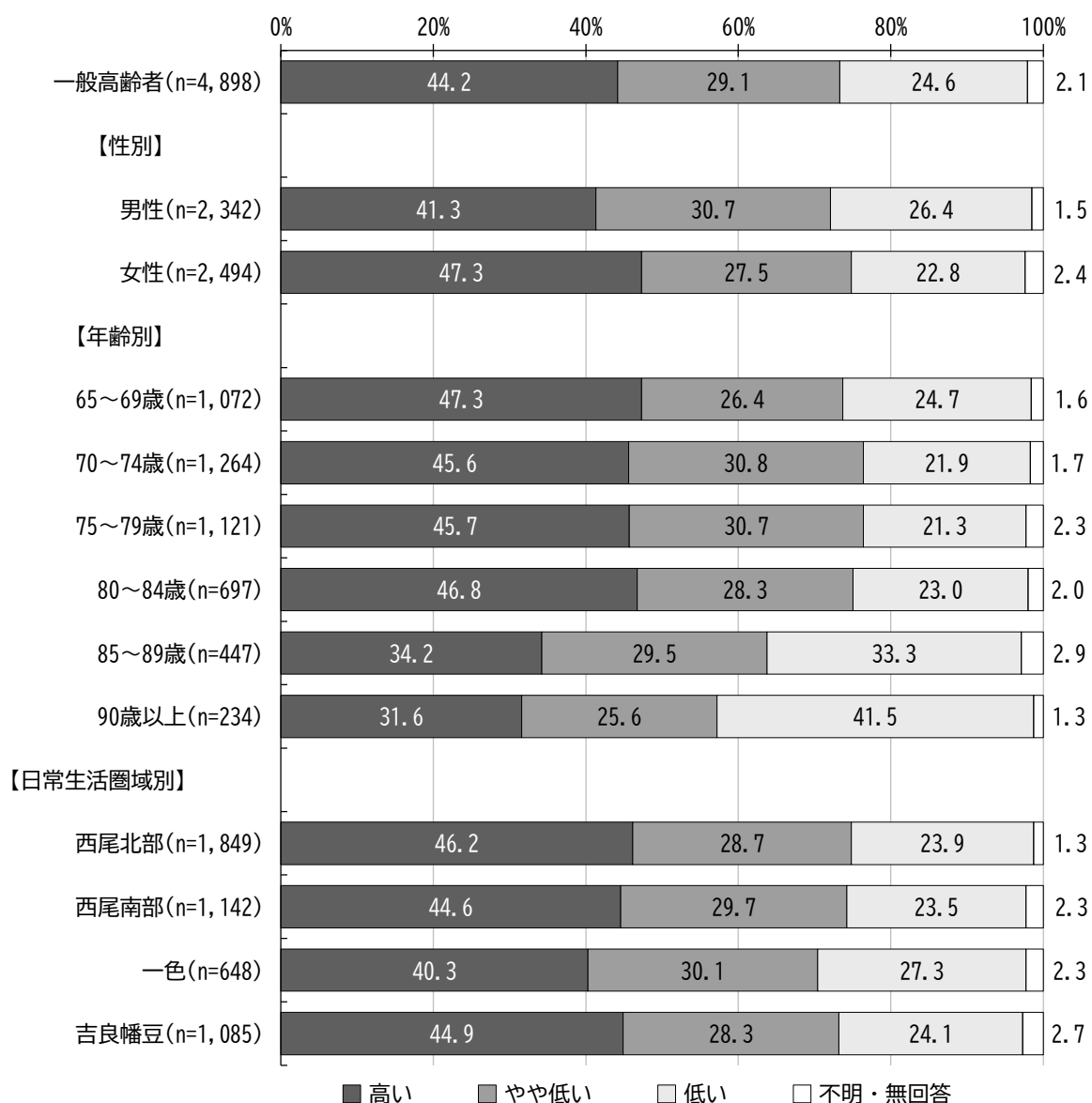
| 設問番号   | 設問                           | 選択肢          |
|--------|------------------------------|--------------|
| 5 (9)  | 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。 | 1. はい 2. いいえ |
| 5 (10) | 新聞を読んでいますか。                  | 1. はい 2. いいえ |
| 5 (11) | 本や雑誌を読んでいますか。                | 1. はい 2. いいえ |
| 5 (12) | 健康についての記事や番組に関心がありますか。       | 1. はい 2. いいえ |

24.6%の高齢者が「低い」と判定されています。

性別では、男性、女性ともに「低い」がそれぞれ2割台となっています。

年齢別では、85歳以上で「低い」高くなっており、90歳以上で41.5%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「低い」がそれぞれ2割台となっています。





(9) 社会的役割

以下の4つの設問について、「はい」と回答した方を1点として計算し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点を「低い」として評価しました。

該当設問 社会的役割について

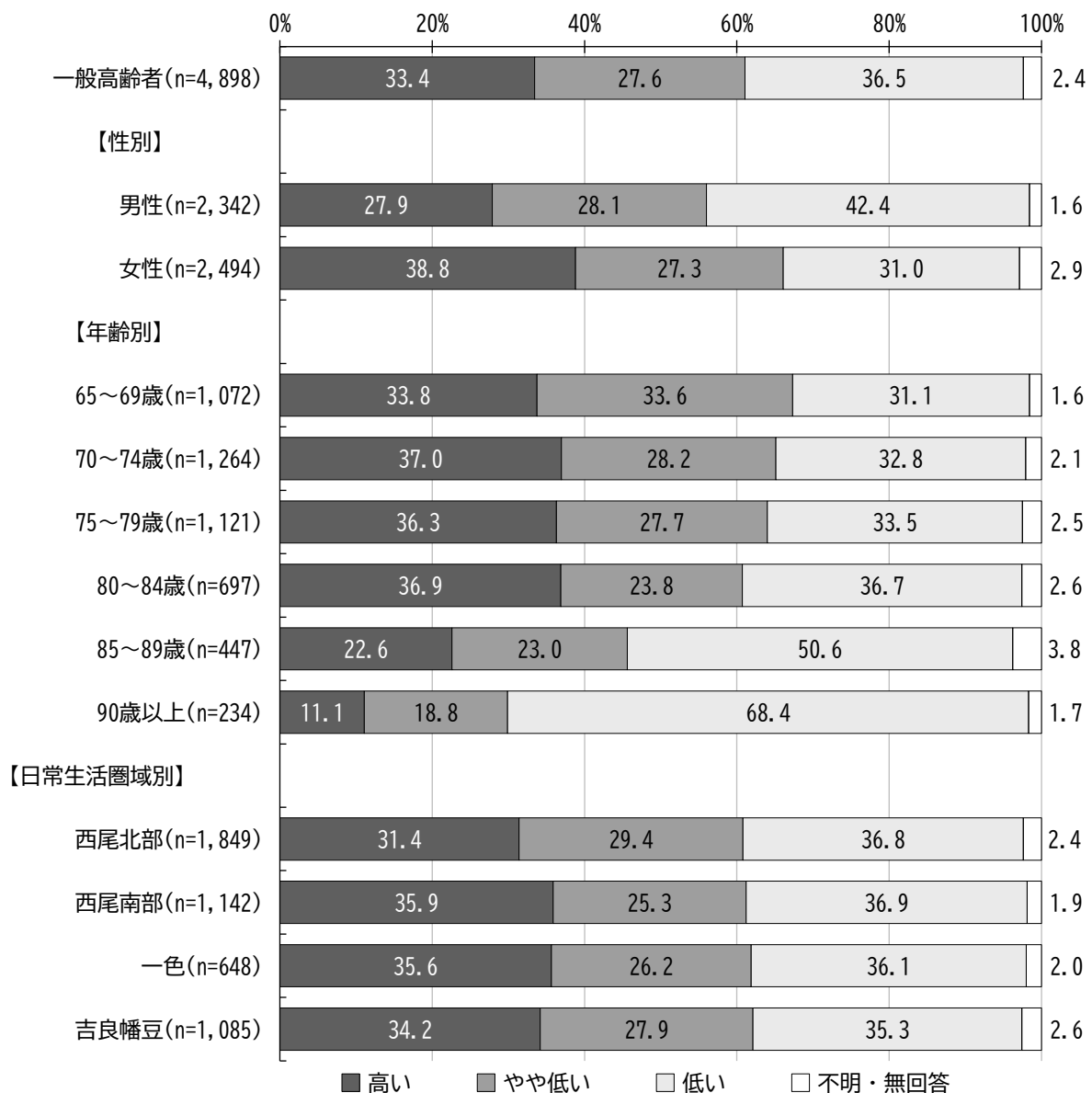
| 設問番号   | 設問                     | 選択肢          |
|--------|------------------------|--------------|
| 5 (13) | 友人の家を訪ねていますか。          | 1. はい 2. いいえ |
| 5 (14) | 家族や友人の相談にのっていますか。      | 1. はい 2. いいえ |
| 5 (15) | 病人を見舞うことができますか。        | 1. はい 2. いいえ |
| 5 (16) | 若い人に自分から話しかけることがありますか。 | 1. はい 2. いいえ |

36.5%の高齢者が「低い」と判定されています。

性別では、男性で「低い」が42.4%と、女性と比べて11.4ポイント高くなっています。

年齢別では、85歳以上で「低い」が高くなっており、90歳以上で68.4%となっています。

日常生活圏域別では、いずれも「低い」がそれぞれ3割台となっています。

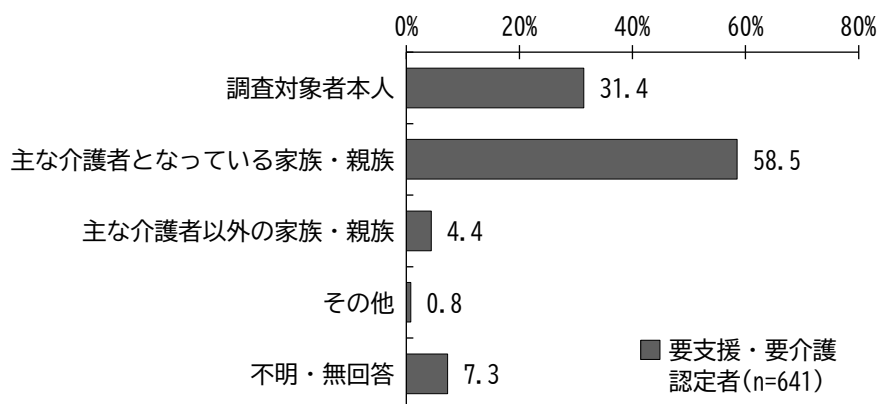




## Ⅲ 在宅介護実態調査結果

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数選択可）

聞き取りを行った相手の方は、「主な介護者となっている家族・親族」が 58.5%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が 31.4%、「主な介護者以外の家族・親族」が 4.4%となっています。

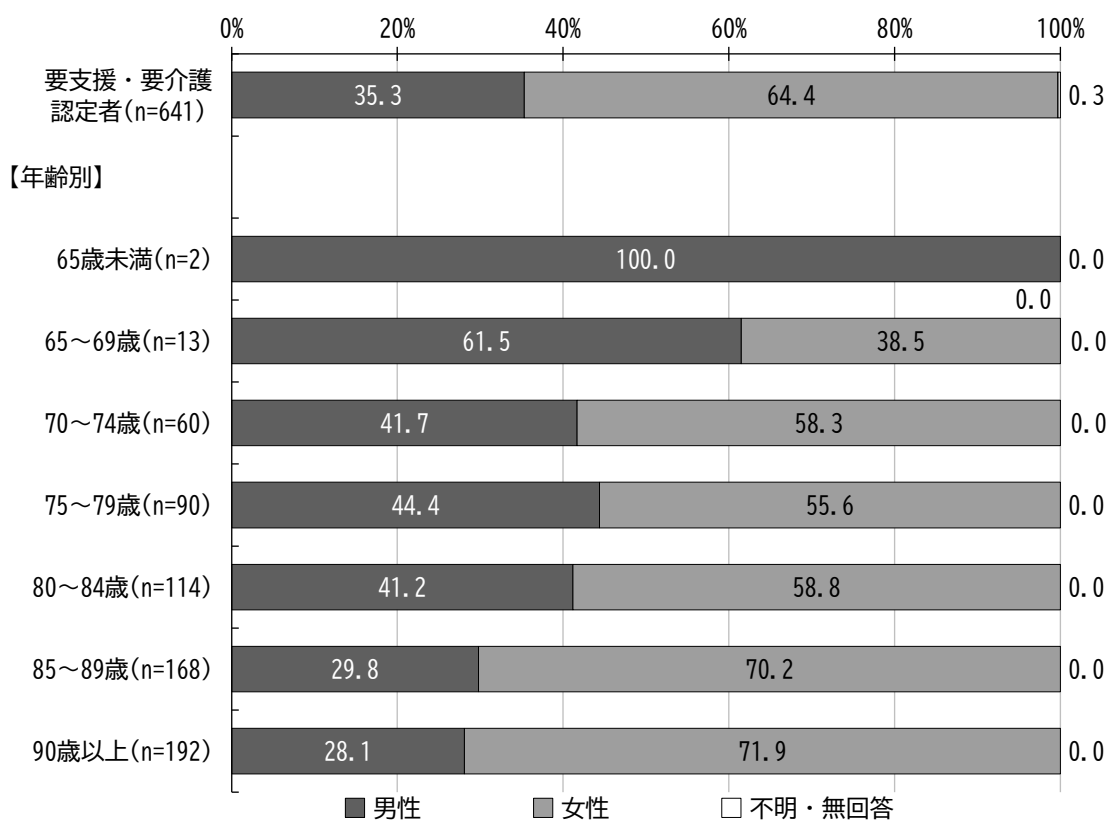


## A票 基本調査項目

### ① 性別

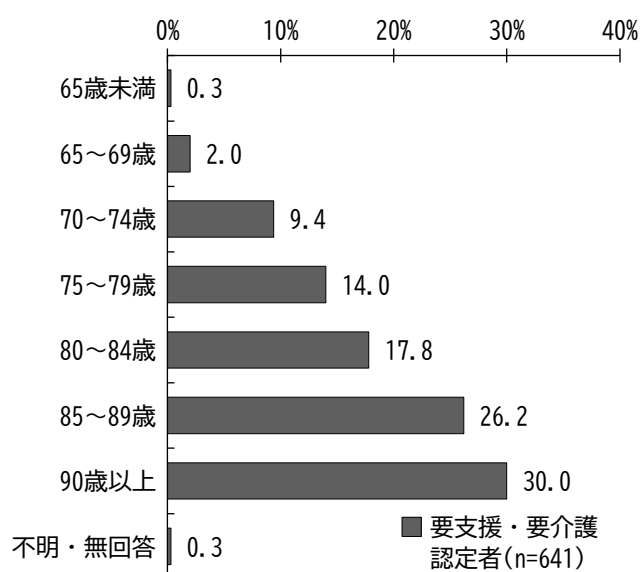
性別は、「男性」が 35.3%、「女性」が 64.4%となっています。

年齢別は、年齢が上がるにつれて「女性」が高くなっており、85～89歳、90歳以上でそれぞれ7割台となっています。



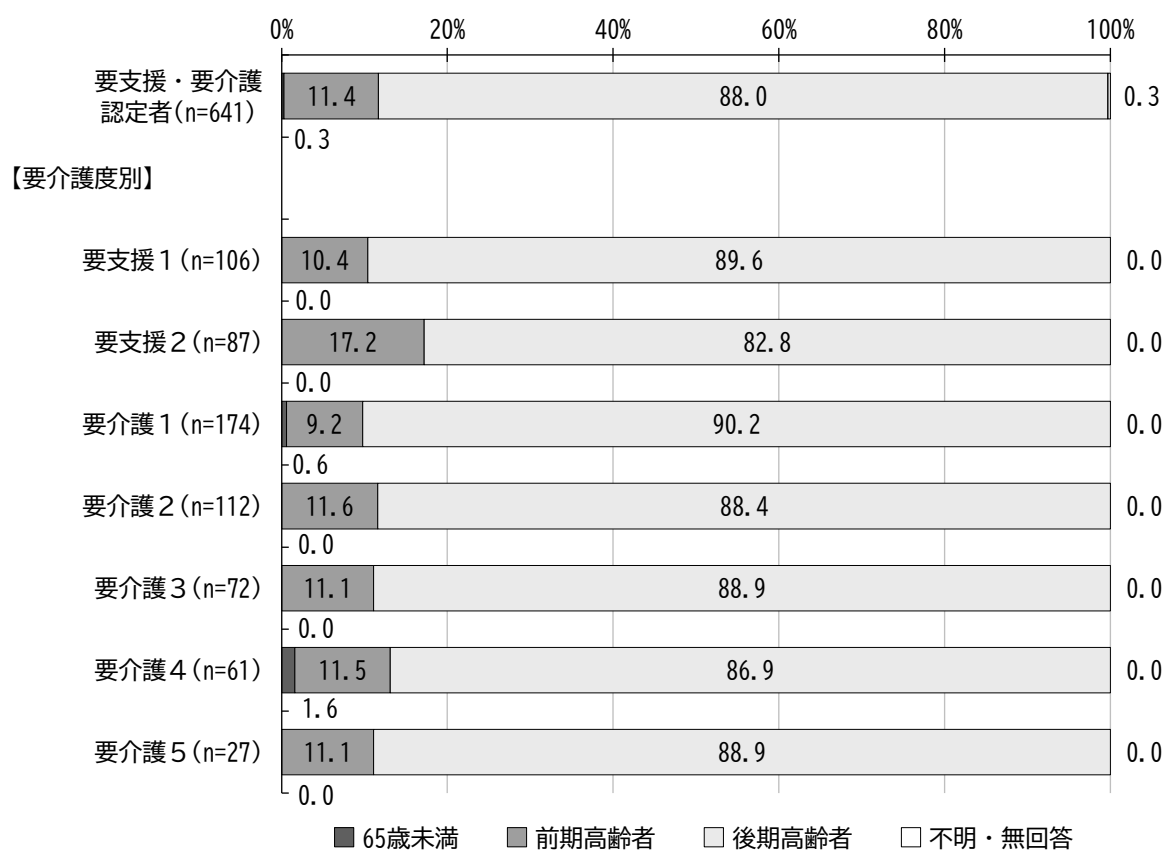
## ② 年齢

年齢は、「90 歳以上」が 30.0%と最も高く、次いで「85～89 歳」が 26.2%、「80～84 歳」が 17.8%となっています。



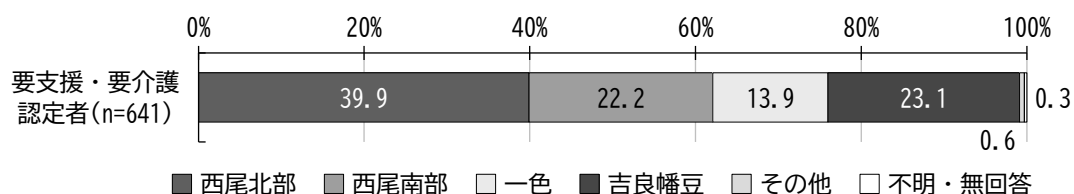
年齢を前期高齢者と後期高齢者に分類すると、65～74 歳の「前期高齢者」が 11.4%、75 歳以上の「後期高齢者」が 88.0%となっています。

要介護度別では、いずれも後期高齢者がそれぞれ 8～9 割台となっています。



### ③ 日常生活圏域

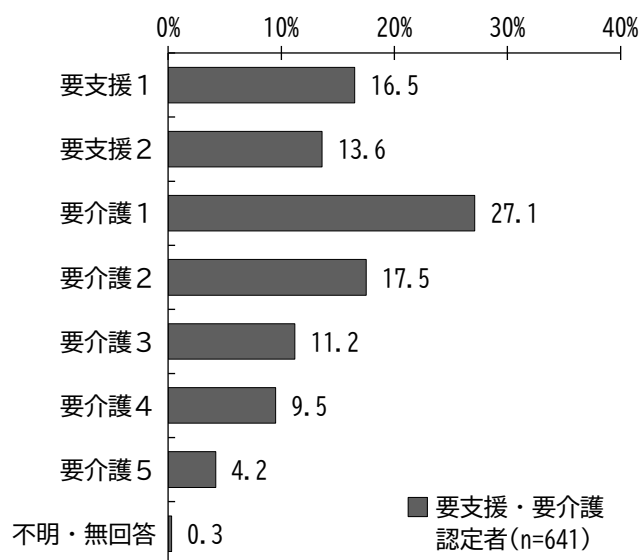
日常生活圏域は、「西尾北部」が 39.9%と最も高く、次いで「吉良幡豆」が 23.1%、「西尾南部」が 22.2%となっています。



### ④ 要介護度

要介護度は、「要介護 1」が 27.1%と最も高く、次いで「要介護 2」が 17.5%、「要支援 1」が 16.5%となっています。

日常生活圏域別では、西尾北部、西尾南部、吉良幡豆で「要介護 1」が、一色で「要介護 2」がそれぞれ最も高くなっています。



### ■日常生活圏域別クロス集計

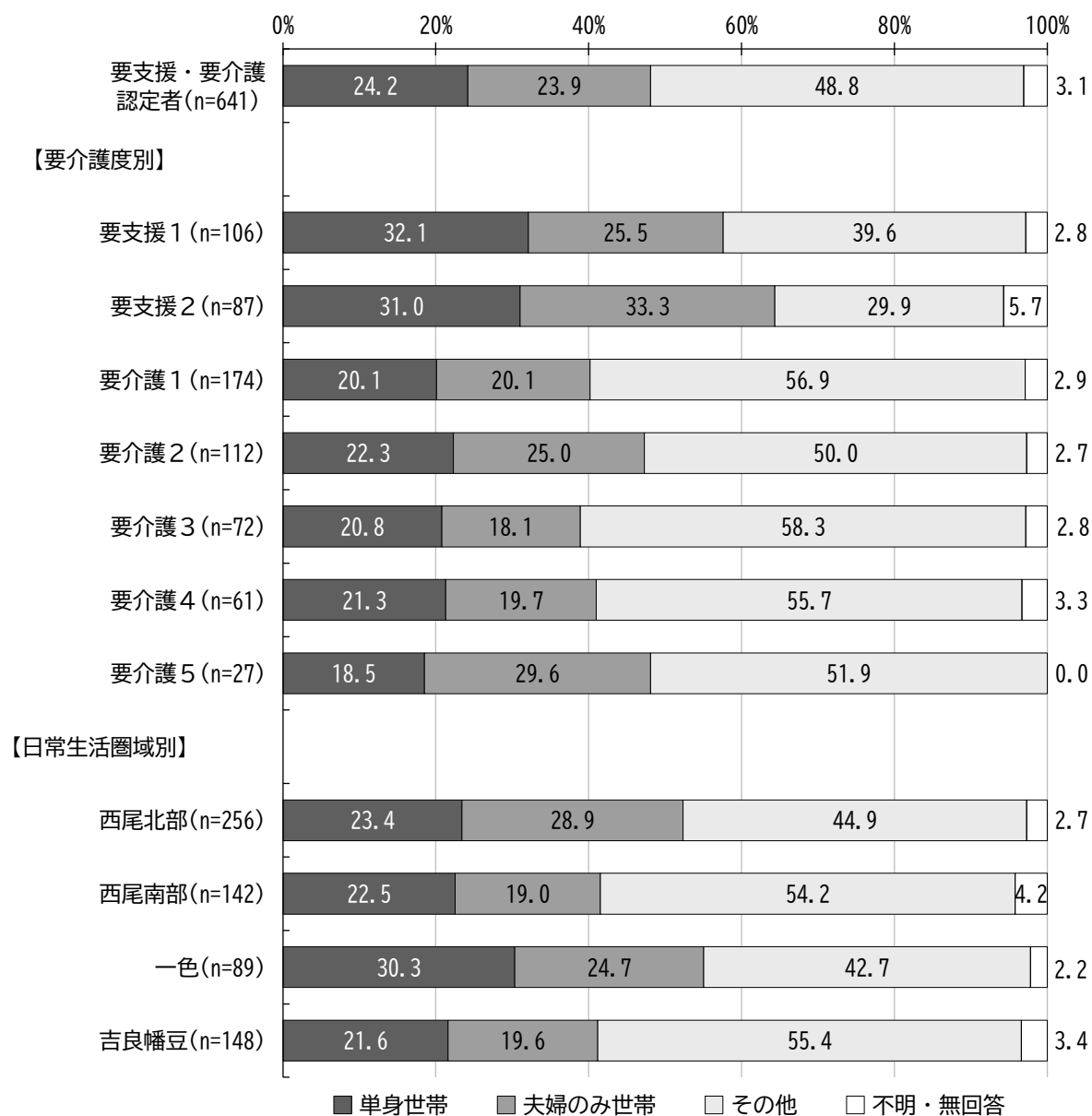
| (単位: %)      | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 不明・無回答 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 西尾北部 (n=256) | 18.4  | 15.6  | 24.6  | 16.4  | 10.9  | 9.8   | 4.3   | 0.0    |
| 西尾南部 (n=142) | 17.6  | 12.7  | 27.5  | 15.5  | 12.7  | 9.9   | 4.2   | 0.0    |
| 一色 (n=89)    | 14.6  | 5.6   | 25.8  | 29.2  | 10.1  | 9.0   | 5.6   | 0.0    |
| 吉良幡豆 (n=148) | 14.2  | 15.5  | 32.4  | 14.9  | 11.5  | 8.1   | 3.4   | 0.0    |

## 問1 世帯類型について、ご回答ください。(〇は1つ)

世帯類型は、「単身世帯」が24.2%、「夫婦のみ世帯」が23.9%、「その他」が48.8%となっています。

要介護度別では、要支援1・2で「単身世帯」がそれぞれ3割台となっています。

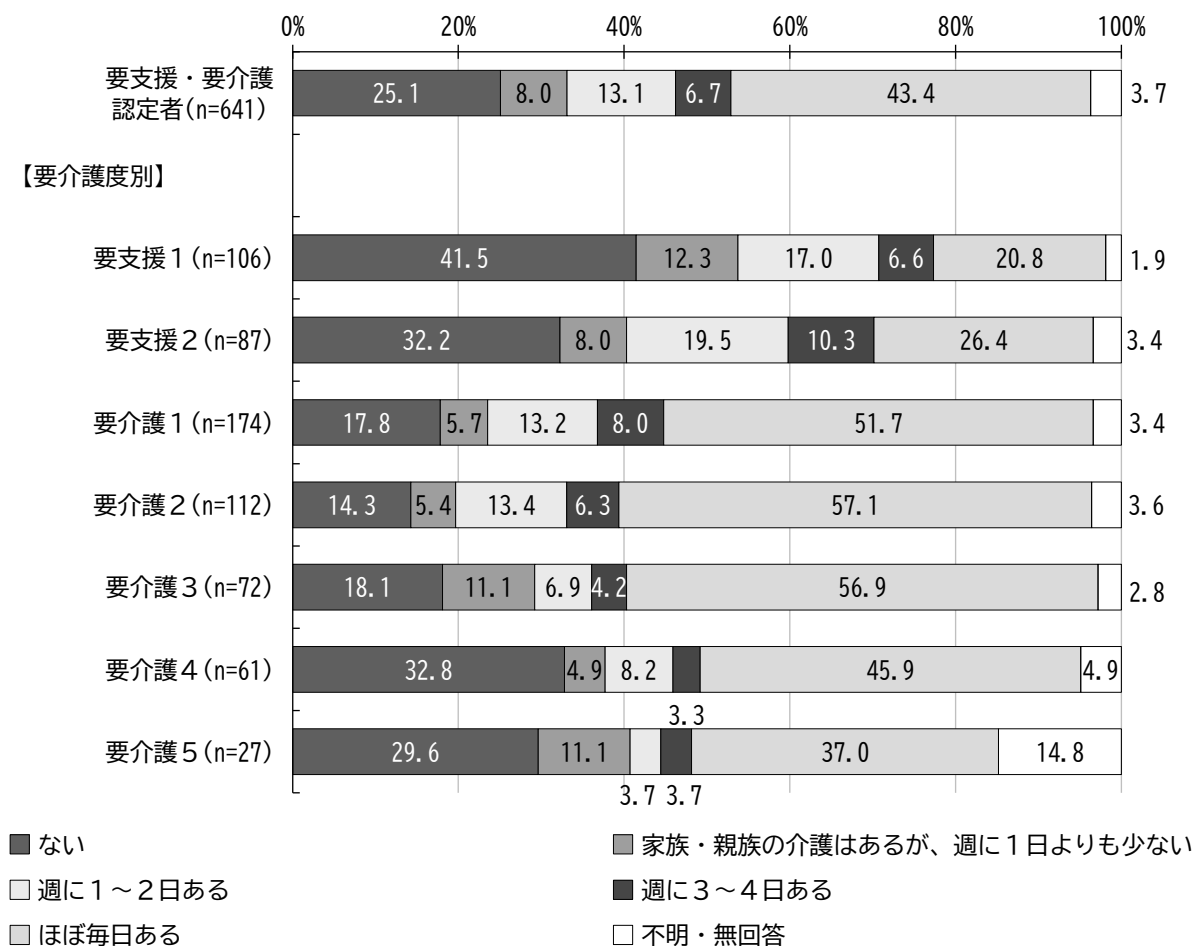
日常生活圏域別では、一色で「単身世帯」が30.3%と、他の圏域と比べて高くなっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかは、「ほぼ毎日ある」が43.4%と最も高く、次いで「ない」が25.1%、「週に1～2日ある」が13.1%となっています。

要介護度別では、要介護1～3で「ほぼ毎日ある」がそれぞれ5割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



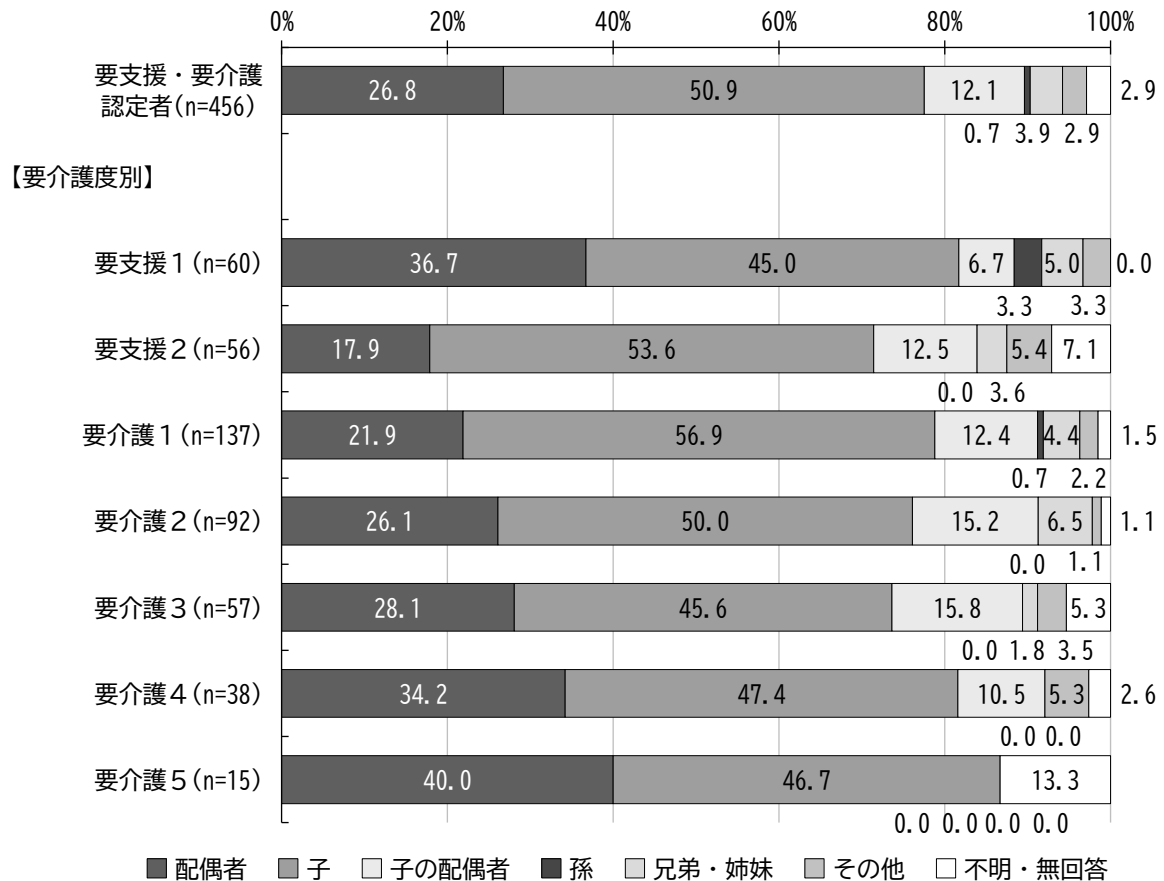


【問3～問7は、問2で『家族・親族からの介護がある』と回答した方のみ】

## 問3 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

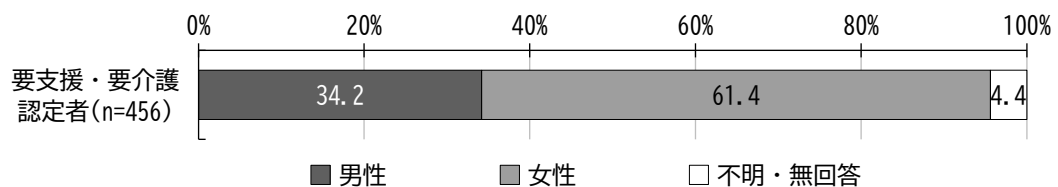
主な介護者は、「子」が50.9%と最も高く、次いで「配偶者」が26.8%、「子の配偶者」が12.1%となっています。

要介護度別では、いずれも「子」がそれぞれ4～5割台と最も高くなっています。



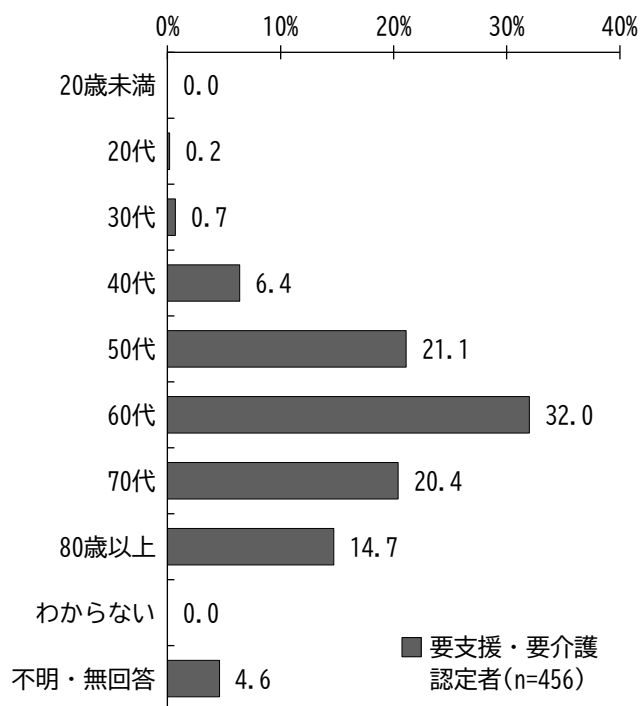
## 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

主な介護者の性別は、「男性」が34.2%、「女性」が61.4%となっています。



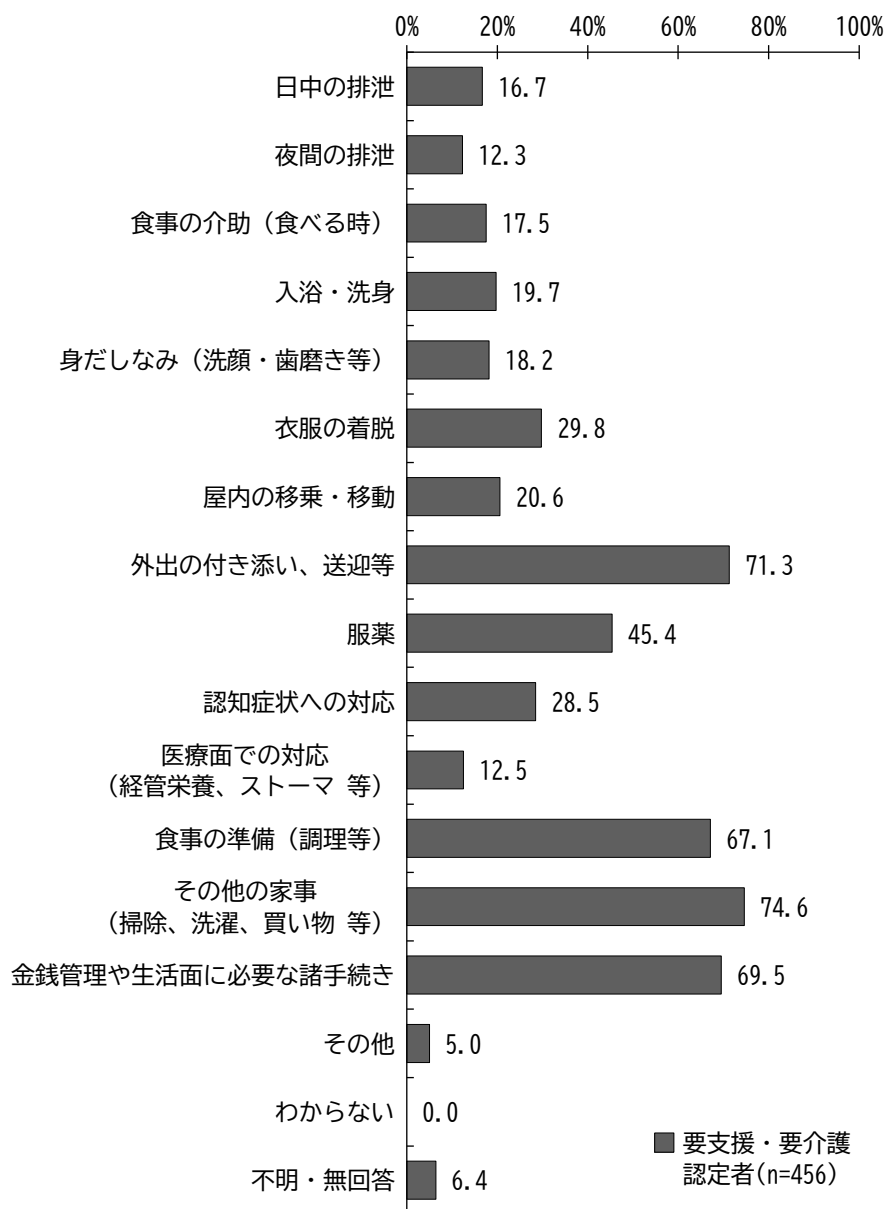
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

主な介護者の年齢は、「60代」が32.0%と最も高く、次いで「50代」が21.1%、「70代」が20.4%となっています。



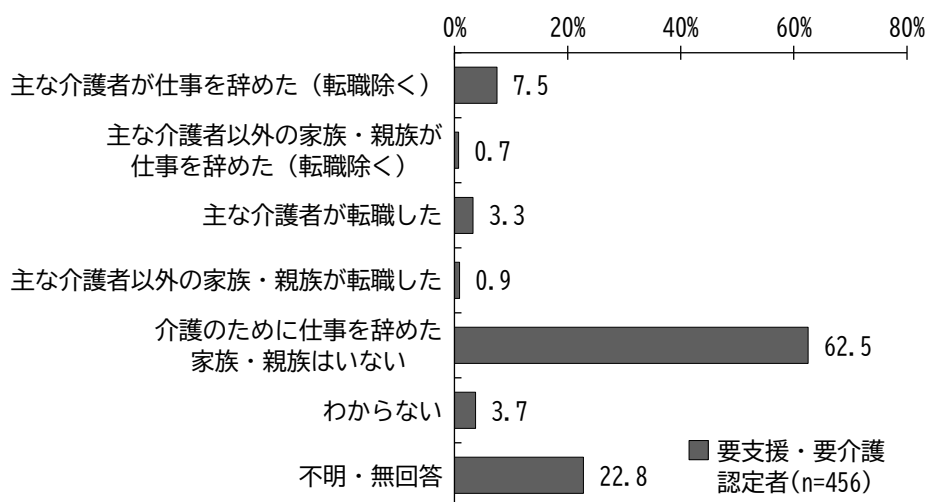
## 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在、主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 74.6%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 71.3%、「金銭管理や生活面に必要な手続き」が 69.5%となっています。



問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。  
（〇はいくつでも）

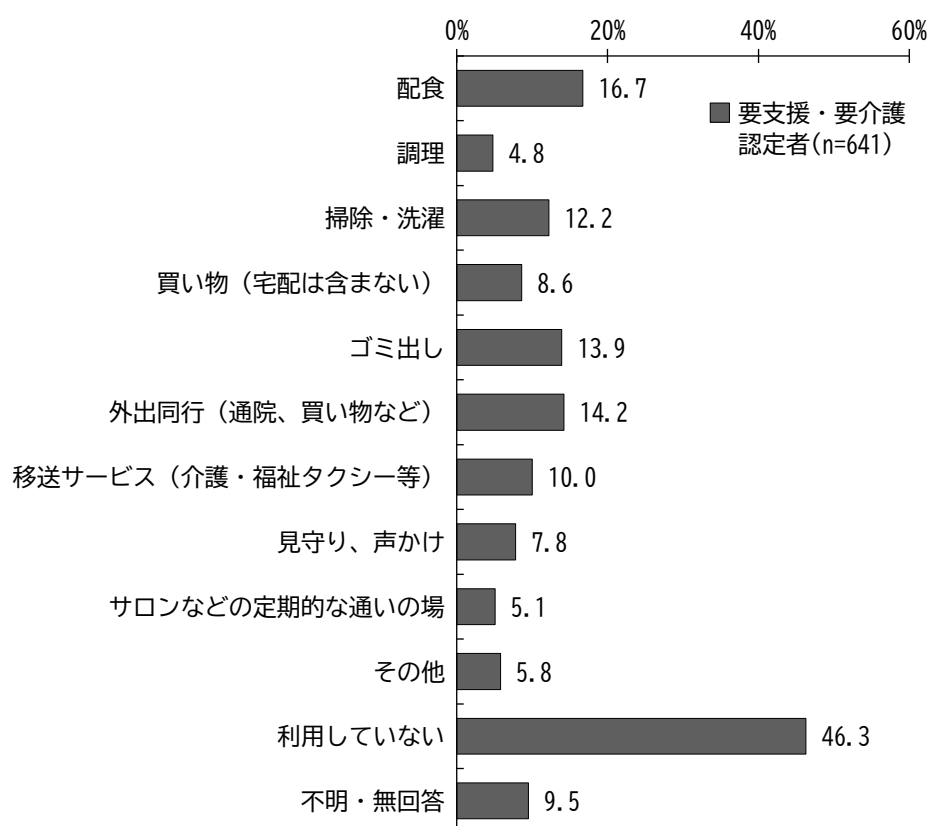
家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた人はいるか、は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が62.5%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.5%となっています。



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。  
(〇はいくつでも)

現在、利用している、介護保険サービス以外の支援・サービスは、「利用していない」が46.3%と最も高く、次いで「配食」が16.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が14.2%となっています。

要介護度別では、いずれも「利用していない」がそれぞれ最も高くなっています。なお、要支援2で「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」がそれぞれ2割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



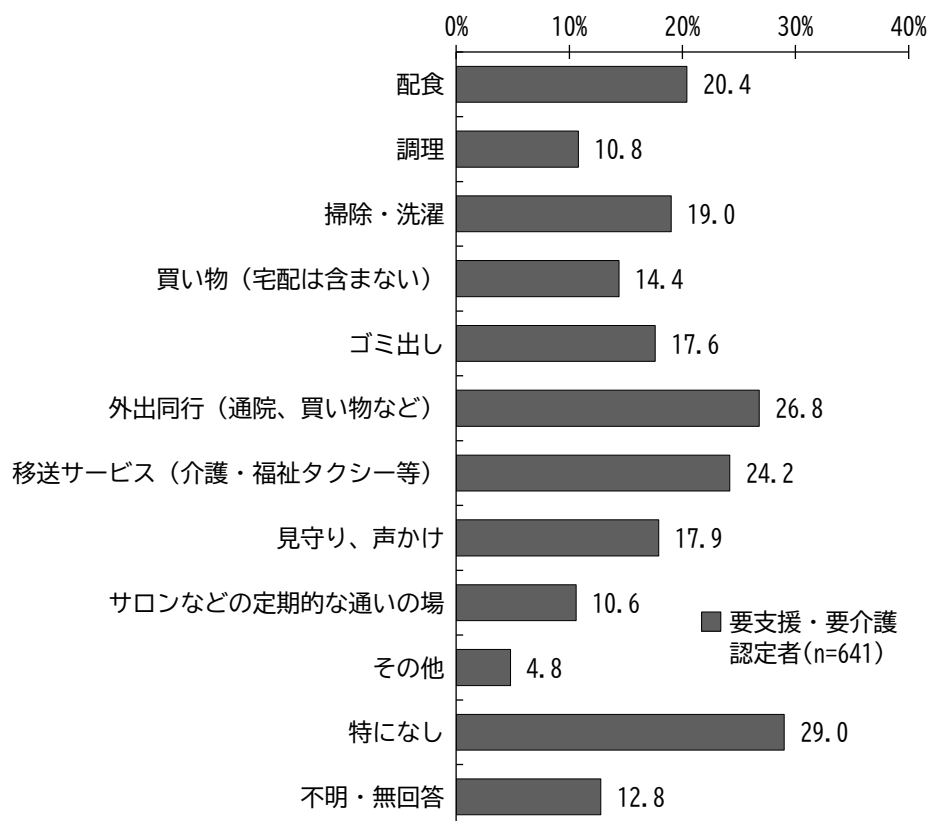
■要介護度別クロス集計

|              | 配食   | 調理  | 掃除・洗濯 | 買い物（宅配は含まない） | ゴミ出し | 外出同行（通院、買い物など） | 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 見守り、声かけ | サロンなどの定期的な通いの場 | その他 | 利用していない | 不明・無回答 |
|--------------|------|-----|-------|--------------|------|----------------|--------------------|---------|----------------|-----|---------|--------|
| (単位：%)       |      |     |       |              |      |                |                    |         |                |     |         |        |
| 要支援1 (n=106) | 13.2 | 4.7 | 7.5   | 10.4         | 14.2 | 17.9           | 9.4                | 2.8     | 6.6            | 4.7 | 43.4    | 13.2   |
| 要支援2 (n=87)  | 14.9 | 4.6 | 13.8  | 14.9         | 23.0 | 27.6           | 12.6               | 8.0     | 6.9            | 2.3 | 35.6    | 9.2    |
| 要介護1 (n=174) | 19.5 | 5.2 | 13.8  | 6.9          | 12.6 | 12.1           | 4.6                | 10.9    | 6.9            | 5.7 | 52.3    | 5.2    |
| 要介護2 (n=112) | 19.6 | 6.3 | 14.3  | 8.0          | 12.5 | 10.7           | 11.6               | 6.3     | 3.6            | 7.1 | 47.3    | 8.9    |
| 要介護3 (n=72)  | 20.8 | 6.9 | 18.1  | 11.1         | 18.1 | 15.3           | 11.1               | 11.1    | 4.2            | 5.6 | 40.3    | 12.5   |
| 要介護4 (n=61)  | 9.8  | 1.6 | 6.6   | 1.6          | 6.6  | 6.6            | 16.4               | 6.6     | 0.0            | 9.8 | 52.5    | 11.5   |
| 要介護5 (n=27)  | 7.4  | 0.0 | 0.0   | 0.0          | 0.0  | 0.0            | 14.8               | 7.4     | 3.7            | 7.4 | 51.9    | 14.8   |

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」が29.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が26.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.2%となっています。

要介護度別では、要支援2、要介護2で「外出同行（通院、買い物など）」がそれぞれ最も高くなっています。なお、要介護4で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.4%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



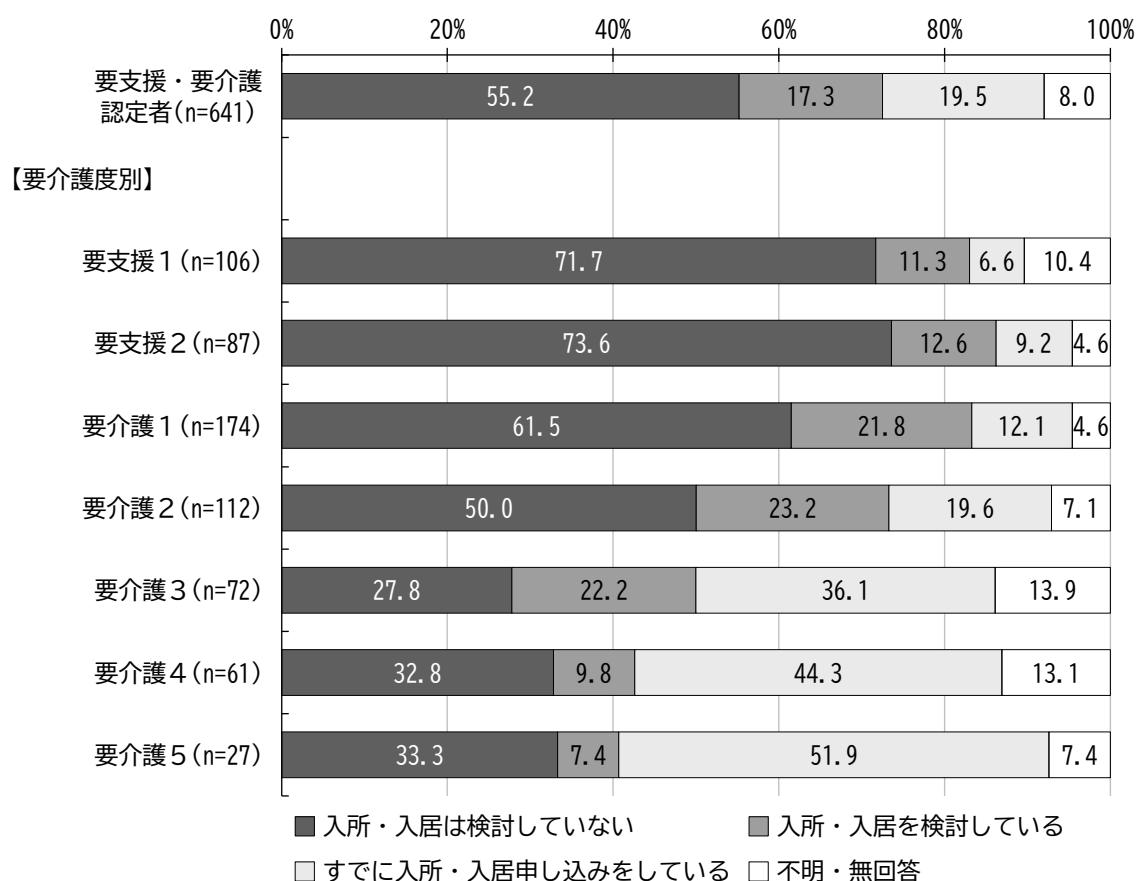
#### ■要介護度別クロス集計

|              | 配食   | 調理   | 掃除・洗濯 | 買い物（宅配は含まない） | ゴミ出し | 外出同行（通院、買い物など） | 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 見守り、声かけ | サロンなどの定期的な通いの場 | その他 | 特になし | 不明・無回答 |
|--------------|------|------|-------|--------------|------|----------------|--------------------|---------|----------------|-----|------|--------|
| (単位：%)       |      |      |       |              |      |                |                    |         |                |     |      |        |
| 要支援1 (n=106) | 15.1 | 2.8  | 6.6   | 11.3         | 15.1 | 22.6           | 24.5               | 8.5     | 11.3           | 0.9 | 32.1 | 17.9   |
| 要支援2 (n=87)  | 24.1 | 9.2  | 23.0  | 26.4         | 19.5 | 33.3           | 28.7               | 13.8    | 12.6           | 8.0 | 9.2  | 9.2    |
| 要介護1 (n=174) | 21.3 | 12.1 | 20.7  | 16.1         | 19.5 | 29.3           | 21.8               | 25.3    | 6.9            | 5.2 | 32.8 | 6.3    |
| 要介護2 (n=112) | 25.0 | 13.4 | 25.0  | 8.9          | 17.0 | 29.5           | 24.1               | 16.1    | 9.8            | 5.4 | 24.1 | 15.2   |
| 要介護3 (n=72)  | 20.8 | 15.3 | 22.2  | 12.5         | 15.3 | 23.6           | 19.4               | 23.6    | 13.9           | 4.2 | 30.6 | 20.8   |
| 要介護4 (n=61)  | 18.0 | 14.8 | 21.3  | 14.8         | 18.0 | 27.9           | 34.4               | 19.7    | 16.4           | 6.6 | 37.7 | 14.8   |
| 要介護5 (n=27)  | 11.1 | 7.4  | 7.4   | 3.7          | 14.8 | 3.7            | 14.8               | 11.1    | 7.4            | 3.7 | 51.9 | 11.1   |

## 問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

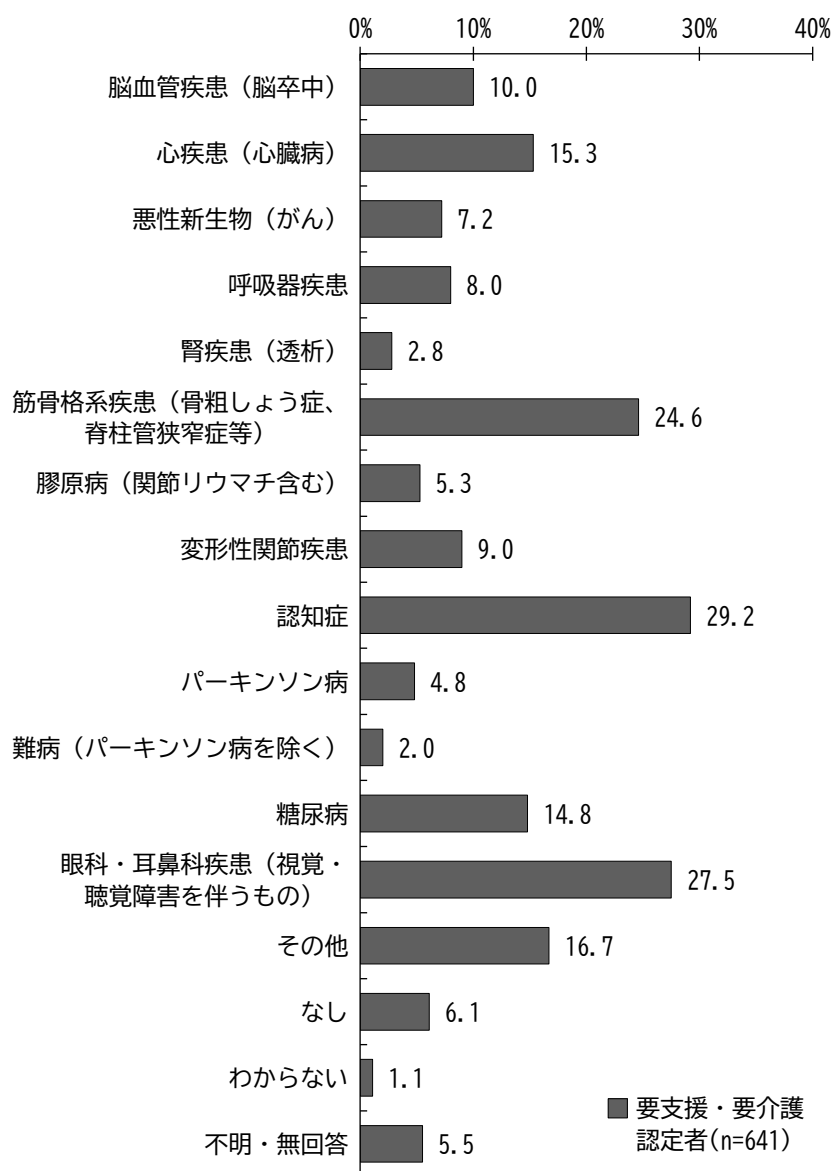
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が55.2%、「入所・入居を検討している」が17.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が19.5%となっています。

要介護度別では、要介護1～3で「入所・入居を検討している」がそれぞれ2割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。なお、要介護4・5で「すでに入所・入居申し込みをしている」がそれぞれ4～5割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病は、「認知症」が 29.2%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 27.5%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 24.6%となっています。

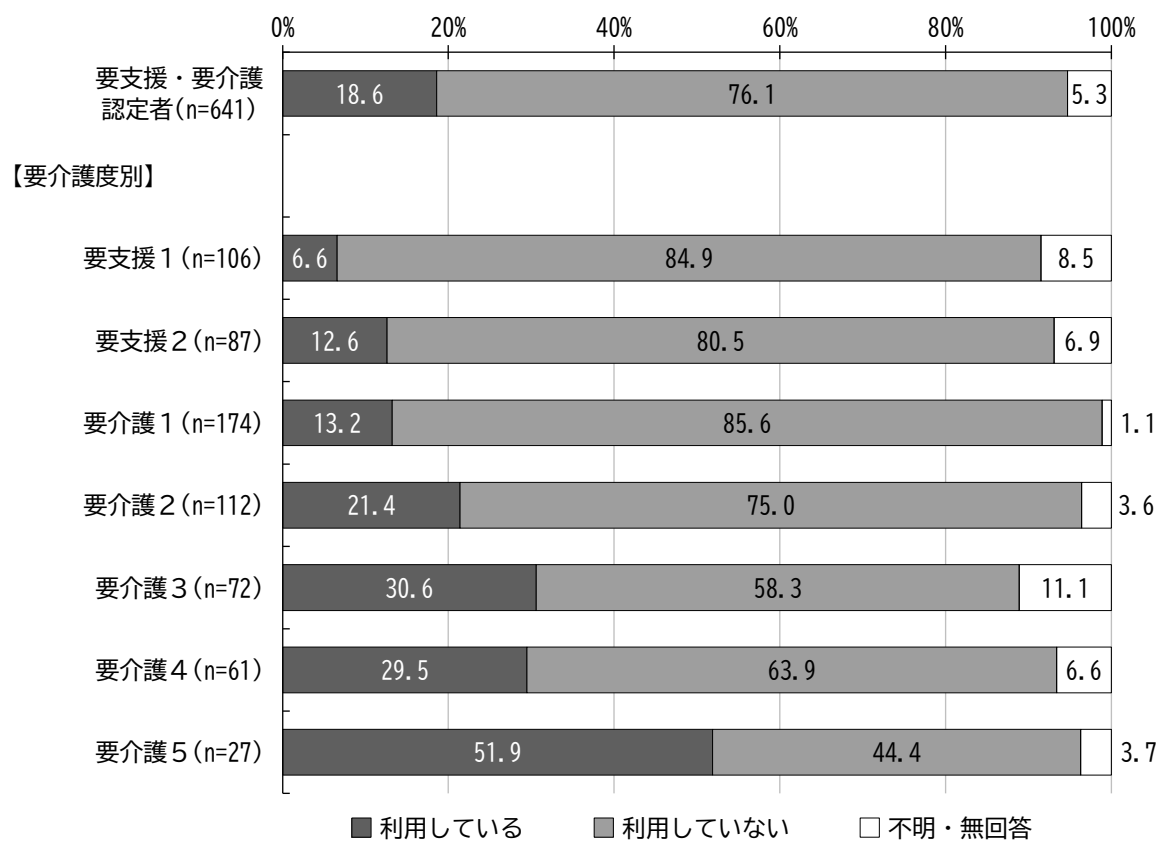




## 問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

現在、訪問診療を利用しているかは、「利用している」が18.6%、「利用していない」が76.1%となっています。

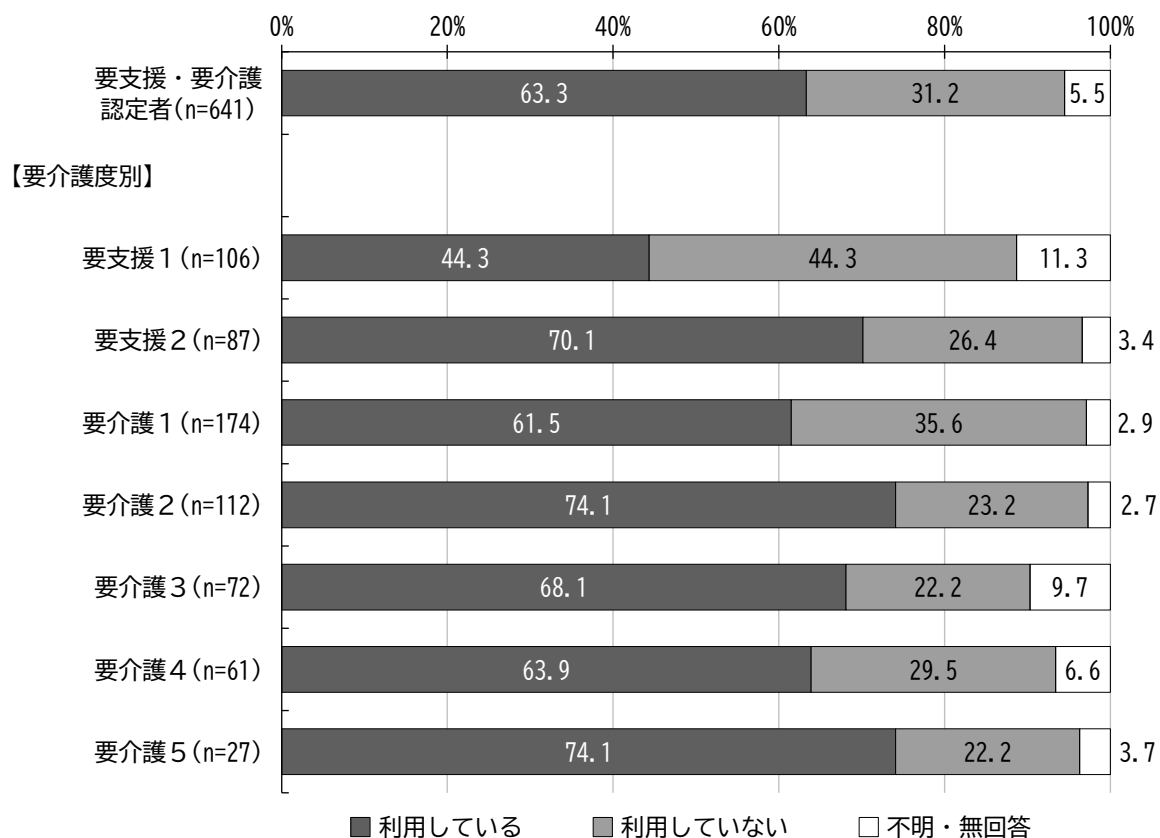
要介護度別では、要介護5で「利用している」が51.9%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。  
（○は1つ）

現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しているかは、「利用している」が63.3%、「利用していない」が31.2%となっています。

要介護度別では、要支援2、要介護2・5で「利用している」がそれぞれ7割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。

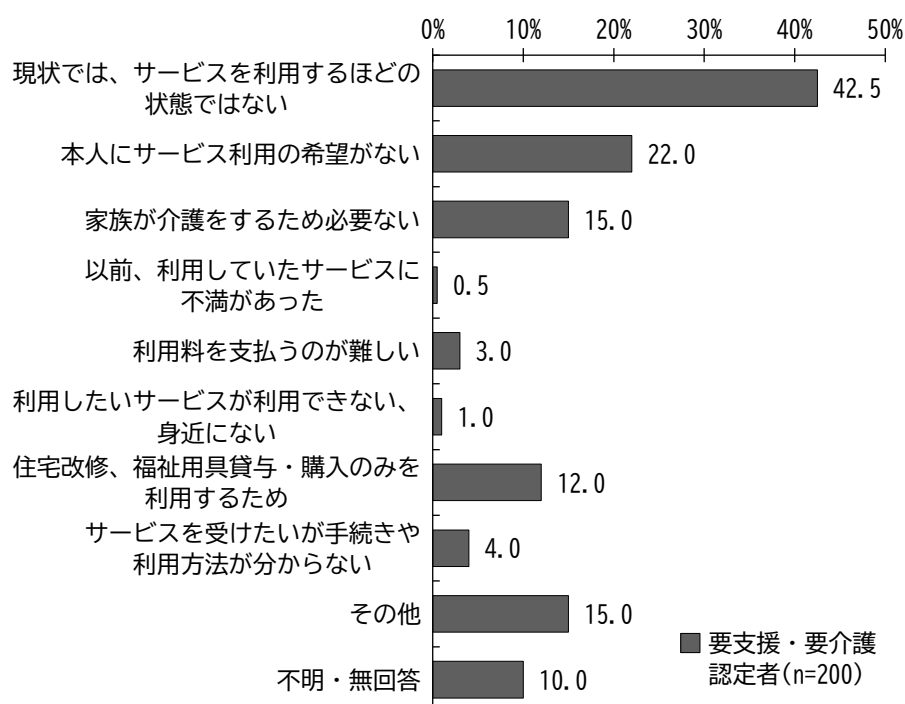


## 【問 13 で「利用していない」と回答した方】

## 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 42.5%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 22.0%、「家族が介護をするため必要ない」「その他」がそれぞれ 15.0%となっています。

要介護度別では、要介護 3・4 で「その他」がそれぞれ 3～4 割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。

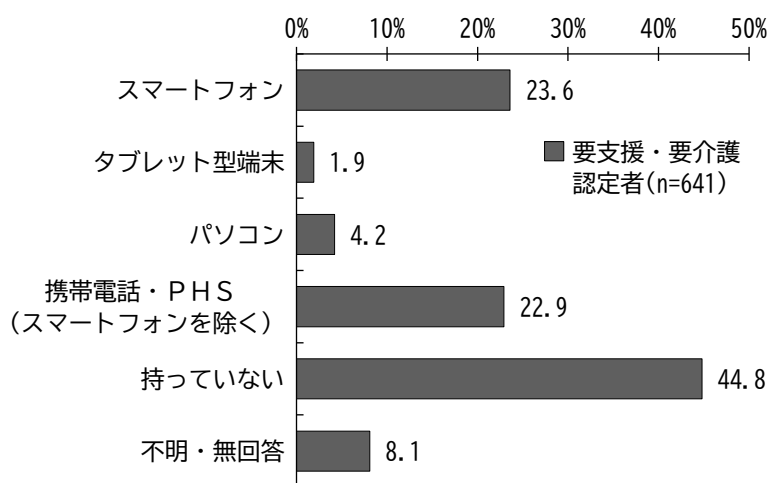


## ■要介護度別クロス集計

| (単位: %)      | 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 本人にサービス利用の希望がない | 家族が介護をするため必要ない | 以前、利用していたサービスに不満があった | 利用料を支払うのが難しい | 利用したいサービスが利用できない、身近にない | 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | その他  | 不明・無回答 |
|--------------|-------------------------|-----------------|----------------|----------------------|--------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|------|--------|
| 要支援 1 (n=47) | 63.8                    | 23.4            | 10.6           | 0.0                  | 0.0          | 0.0                    | 10.6                    | 2.1                      | 4.3  | 12.8   |
| 要支援 2 (n=23) | 47.8                    | 17.4            | 8.7            | 4.3                  | 13.0         | 0.0                    | 13.0                    | 8.7                      | 8.7  | 17.4   |
| 要介護 1 (n=62) | 41.9                    | 30.6            | 22.6           | 0.0                  | 3.2          | 1.6                    | 12.9                    | 8.1                      | 8.1  | 0.0    |
| 要介護 2 (n=26) | 30.8                    | 26.9            | 15.4           | 0.0                  | 0.0          | 3.8                    | 15.4                    | 0.0                      | 19.2 | 15.4   |
| 要介護 3 (n=16) | 31.3                    | 6.3             | 12.5           | 0.0                  | 0.0          | 0.0                    | 6.3                     | 0.0                      | 31.3 | 18.8   |
| 要介護 4 (n=18) | 16.7                    | 11.1            | 5.6            | 0.0                  | 5.6          | 0.0                    | 11.1                    | 0.0                      | 44.4 | 16.7   |
| 要介護 5 (n=6)  | 33.3                    | 0.0             | 16.7           | 0.0                  | 0.0          | 0.0                    | 0.0                     | 0.0                      | 50.0 | 0.0    |

問 15 ご本人（認定調査対象者）が利用している通信機器について、次のような通信機器を持っていますか。（○はいくつでも）

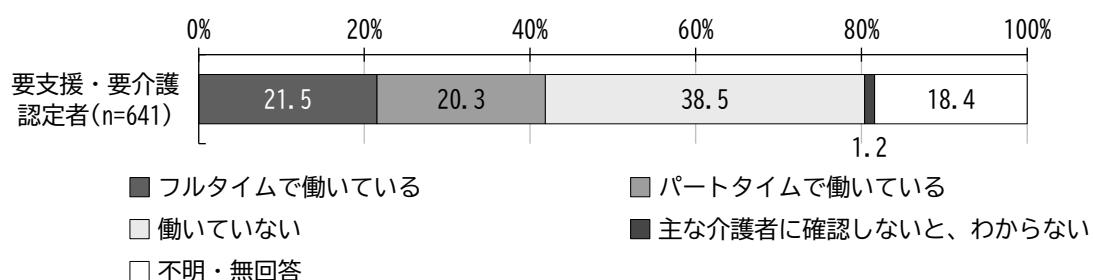
介護保険サービスを利用していない理由は、「持っていない」が 44.8%と最も高く、次いで「スマートフォン」が 23.6%、「携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）」が 22.9%となっています。



## B票 主な介護者に関する調査項目

問 1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つ）

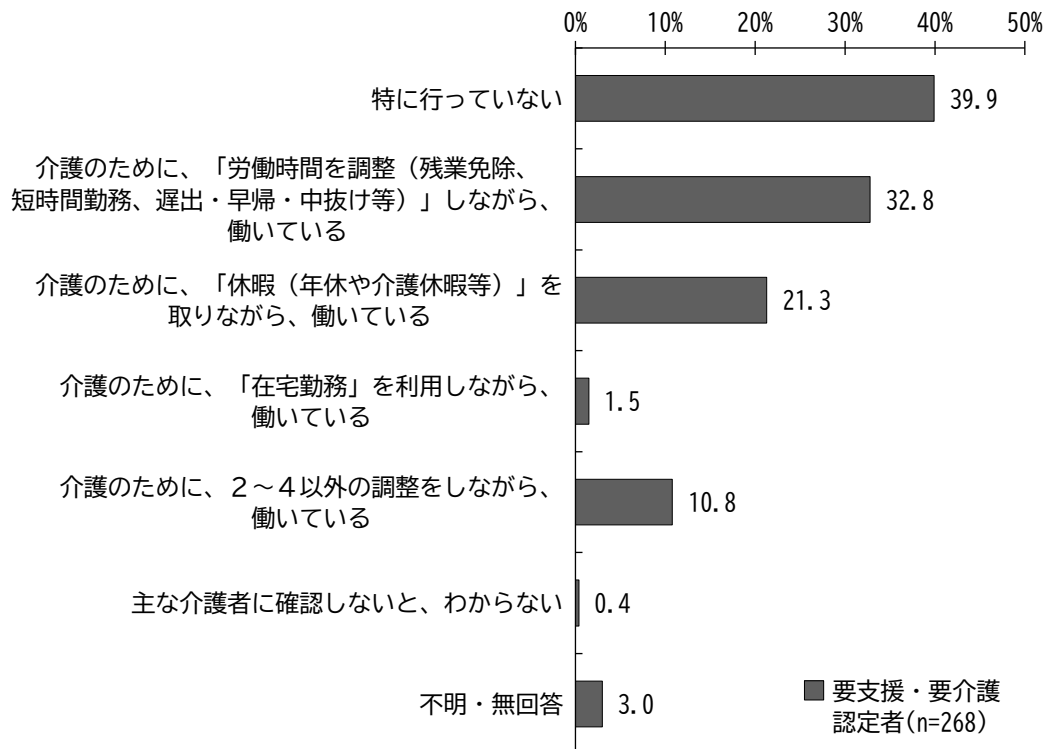
主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が 38.5%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 21.5%、「パートタイムで働いている」が 20.3%となっています。



【問2～問4は、問1で『働いている』と回答した方のみ】

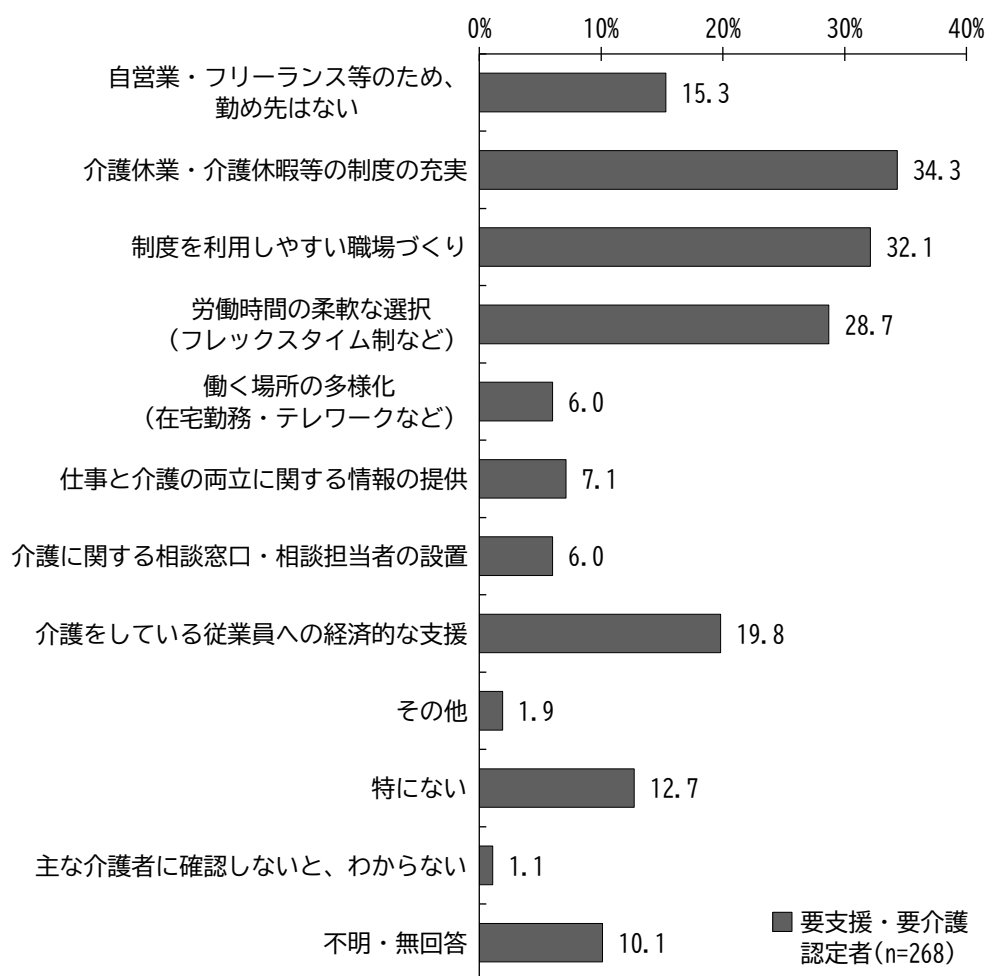
問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。  
(〇はいくつでも)

介護をするにあたって、何か働き方の調整等をしているかは、「特に行っていない」が39.9%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が32.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が21.3%となっています。



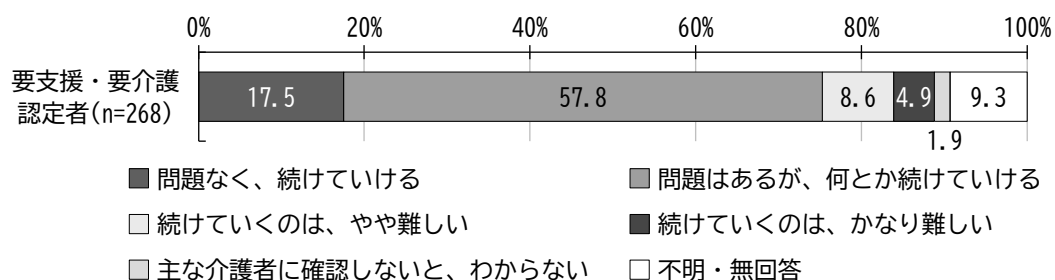
問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかは、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.3%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が32.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が28.7%となっています。



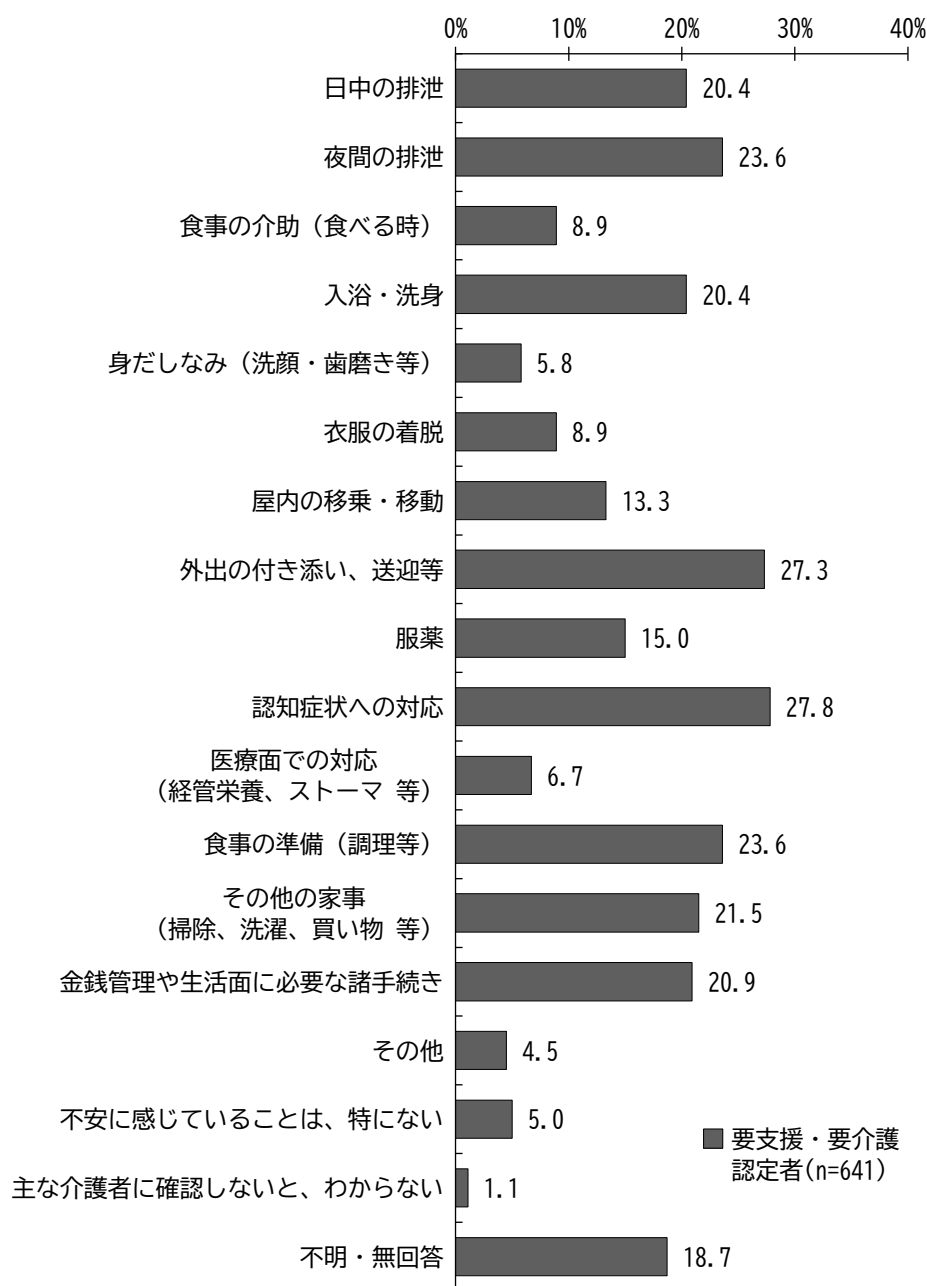
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

今後も働きながら介護を続けていけそうかは、「問題はあるが、何とか続けていける」が57.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.5%、「続けていくのは、やや難しい」が8.6%となっています。なお、『続けていくのは、難しい』（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合算）は13.5%となっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が27.8%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が27.3%、「夜間の排泄」「食事の準備（調理等）」がそれぞれ23.6%となっています。



要介護度別では、要支援１・２で「外出の付き添い、送迎等」が、要介護１・２で「認知症状への対応」が、要介護３・４で「日中の排泄」が、要介護５で「夜間の排泄」「認知症状への対応」がそれぞれ最も高くなっています。

# ■要介護度別クロス集計

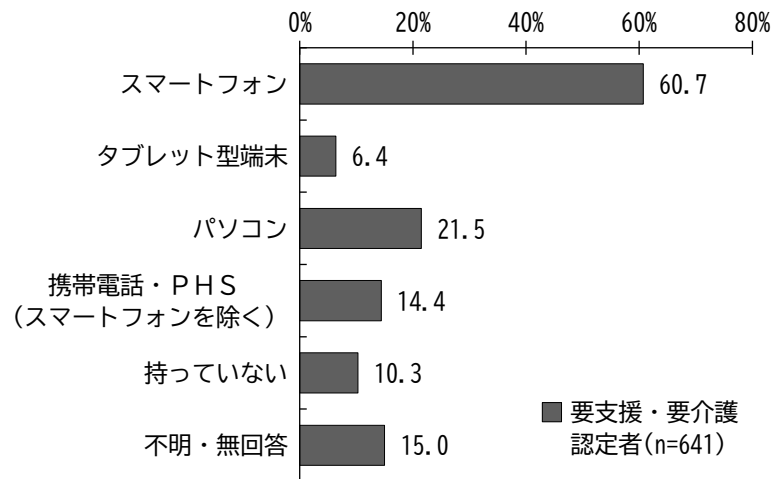
|             | 日中の排泄 | 夜間の排泄 | 食事の介助（食べる時） | 入浴・洗身 | 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 衣服の着脱 | 屋内の移乗・移動 | 外出の付き添い、送迎等 | 服薬   | 認知症状への対応 | 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | 食事の準備（調理等） |
|-------------|-------|-------|-------------|-------|----------------|-------|----------|-------------|------|----------|---------------------|------------|
| （単位：％）      |       |       |             |       |                |       |          |             |      |          |                     |            |
| 要支援１（n=106） | 8.5   | 10.4  | 0.9         | 12.3  | 2.8            | 2.8   | 4.7      | 25.5        | 13.2 | 12.3     | 5.7                 | 24.5       |
| 要支援２（n=87）  | 6.9   | 9.2   | 4.6         | 19.5  | 2.3            | 6.9   | 12.6     | 34.5        | 8.0  | 10.3     | 3.4                 | 24.1       |
| 要介護１（n=174） | 20.1  | 24.1  | 5.7         | 24.7  | 7.5            | 7.5   | 14.9     | 28.2        | 21.8 | 37.4     | 5.7                 | 26.4       |
| 要介護２（n=112） | 22.3  | 33.0  | 15.2        | 23.2  | 8.9            | 15.2  | 13.4     | 33.0        | 22.3 | 37.5     | 8.0                 | 25.9       |
| 要介護３（n=72）  | 43.1  | 41.7  | 13.9        | 22.2  | 6.9            | 16.7  | 19.4     | 20.8        | 13.9 | 40.3     | 12.5                | 22.2       |
| 要介護４（n=61）  | 31.1  | 26.2  | 16.4        | 18.0  | 4.9            | 4.9   | 16.4     | 21.3        | 3.3  | 21.3     | 3.3                 | 19.7       |
| 要介護５（n=27）  | 22.2  | 25.9  | 18.5        | 18.5  | 3.7            | 11.1  | 11.1     | 11.1        | 0.0  | 25.9     | 14.8                | 3.7        |

|             | その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） | 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | その他 | 不安に感じていることは、特になし | 主な介護者に確認しないと、わからない | 不明・無回答 |
|-------------|--------------------|------------------|-----|------------------|--------------------|--------|
| （単位：％）      |                    |                  |     |                  |                    |        |
| 要支援１（n=106） | 17.9               | 12.3             | 0.9 | 7.5              | 1.9                | 37.7   |
| 要支援２（n=87）  | 26.4               | 18.4             | 1.1 | 3.4              | 2.3                | 29.9   |
| 要介護１（n=174） | 24.1               | 26.4             | 8.0 | 3.4              | 1.1                | 8.0    |
| 要介護２（n=112） | 27.7               | 25.9             | 2.7 | 1.8              | 0.0                | 16.1   |
| 要介護３（n=72）  | 16.7               | 20.8             | 8.3 | 6.9              | 0.0                | 8.3    |
| 要介護４（n=61）  | 14.8               | 18.0             | 3.3 | 6.6              | 1.6                | 19.7   |
| 要介護５（n=27）  | 7.4                | 14.8             | 7.4 | 11.1             | 0.0                | 14.8   |



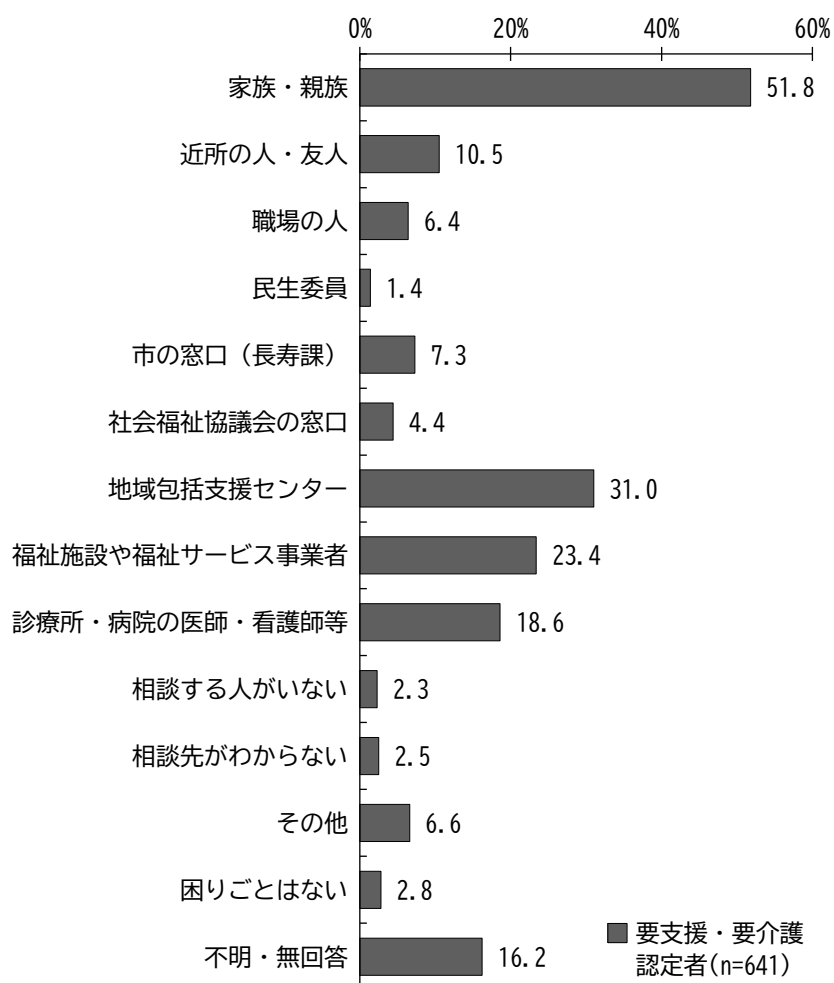
問6 主な介護者の方が利用している通信機器について、次のような通信機器を持っていますか。  
(〇はいくつでも)

主な介護者の方が利用している通信機器は、「スマートフォン」が60.7%と最も高く、次いで「パソコン」が21.5%、「携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）」が14.4%となっています。



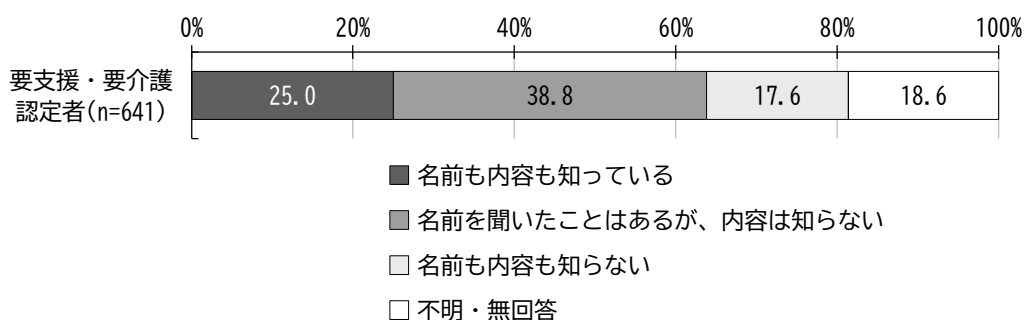
問7 主な介護者の方は、介護での悩みや不安を主に誰（どこ）に相談していますか。  
（〇はいくつでも）

主な介護者の方の介護での悩みや不安の主な相談先は、「家族・親族」が51.8%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が31.0%、「福祉施設や福祉サービス事業者」が23.4%となっています。



問8 主な介護者の方は、成年後見制度について、ご存知ですか。（〇は1つ）

主な介護者の方は、成年後見制度について、知っているかは、「名前も内容も知っている」が25.0%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が38.8%、「名前も内容も知らない」が17.6%となっています。

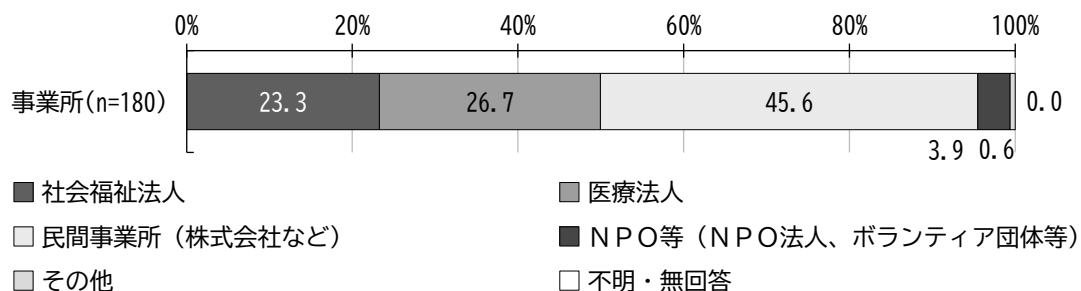


## IV 事業所調査結果

# 1 事業所の概要について

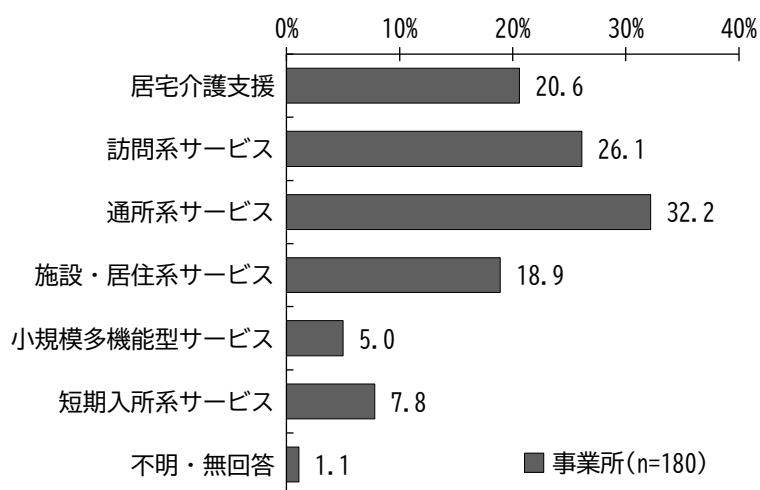
問1 貴事業所の運営形態は次のうちどれに該当しますか。(〇は1つ)

運営形態は、「民間事業所（株式会社など）」が45.6%と最も高く、次いで「医療法人」が26.7%、「社会福祉法人」が23.3%となっています。



問2 貴事業所のサービス種別をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

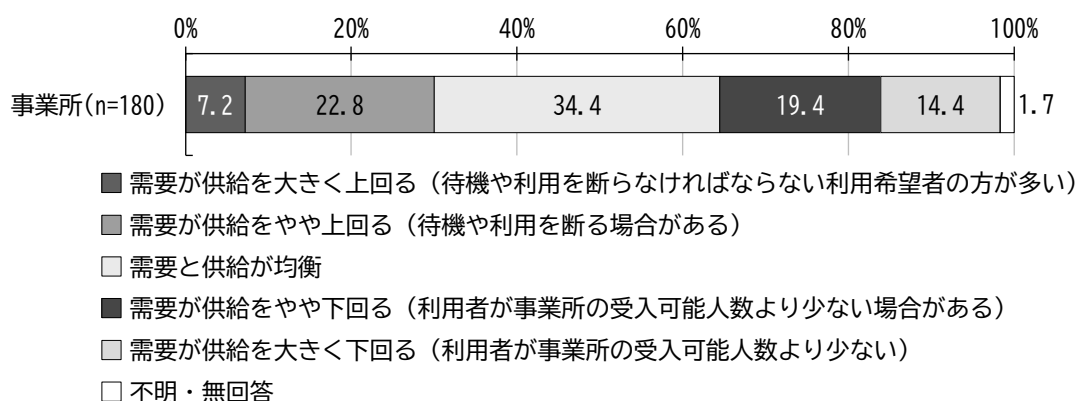
サービス種別は、「通所系サービス」が32.2%と最も高く、次いで「訪問系サービス」が26.1%、「居宅介護支援」が20.6%となっています。



問3 現在、貴事業所におけるサービス提供はどのような状況ですか。(〇は1つ)

サービス提供の状況は、「需要と供給が均衡」が34.4%と最も高く、次いで「需要が供給をやや上回る（待機や利用を断る場合がある）」が22.8%、「需要が供給をやや下回る（利用者が事業所の受入可能人数より少ない場合がある）」が19.4%となっています。

問2とのクロス結果では、いずれのサービス事業所も「需要と供給が均衡」がそれぞれ最も高くなっているほか、『短期入所系サービス』で「需要が供給を大きく上回る（待機や利用を断らなければならない利用希望者の方が多い）」も高くなっています。

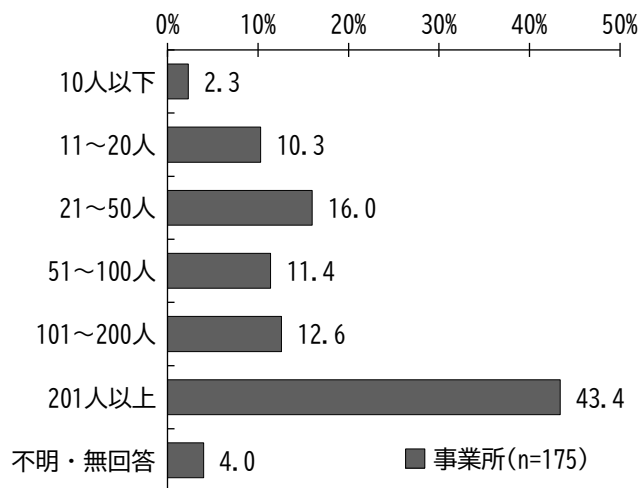


問2 × 問3 のクロス集計

|                   | 需要が供給を大きく上回る（待機や利用を断らなければならない利用希望者の方が多い） | 需要が供給をやや上回る（待機や利用を断る場合がある） | 需要と供給が均衡 | 需要が供給をやや下回る（利用者が事業所の受入可能人数より少ない場合がある） | 需要が供給を大きく下回る（利用者が事業所の受入可能人数より少ない） | 不明・無回答 |
|-------------------|------------------------------------------|----------------------------|----------|---------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| (単位: %)           |                                          |                            |          |                                       |                                   |        |
| 居宅介護支援 (n=37)     | 8.1                                      | 35.1                       | 37.8     | 10.8                                  | 2.7                               | 5.4    |
| 訪問系サービス (n=47)    | 4.3                                      | 12.8                       | 40.4     | 29.8                                  | 12.8                              | 0.0    |
| 通所系サービス (n=58)    | 1.7                                      | 13.8                       | 31.0     | 25.9                                  | 27.6                              | 0.0    |
| 施設・居住系サービス (n=34) | 14.7                                     | 20.6                       | 35.3     | 23.5                                  | 5.9                               | 0.0    |
| 小規模多機能型サービス (n=9) | 11.1                                     | 22.2                       | 44.4     | 11.1                                  | 11.1                              | 0.0    |
| 短期入所系サービス (n=14)  | 7.1                                      | 35.7                       | 35.7     | 14.3                                  | 7.1                               | 0.0    |

問4 貴事業所が提供しているサービスの1か月の平均利用人数（のべ）をお答えください。  
（数値を記入）

提供しているサービスの1か月の平均利用人数は、「201人以上」が43.4%と最も高く、次いで「21～50人」が16.0%、「101～200人」が12.6%となっています。

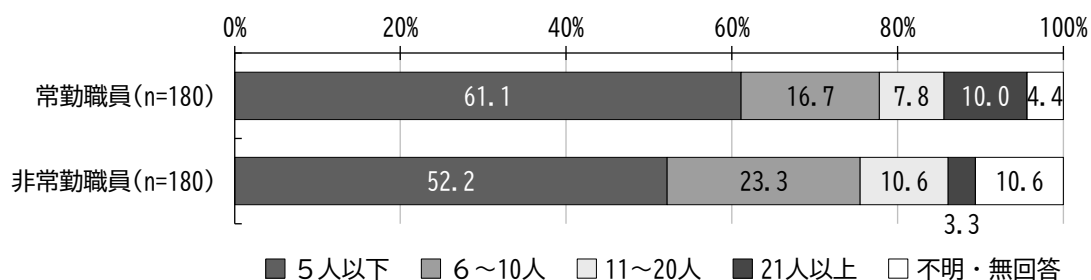


問5 介護職員の総数をご記入ください。(令和7年12月時点の人数を記入)

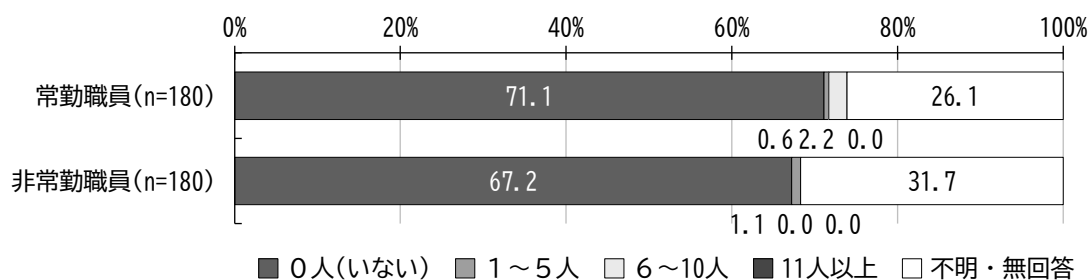
介護職員総数は、常勤職員、非常勤職員ともに「5人以下」がそれぞれ61.1%、52.2%と最も高くなっています。

外国人職員と派遣職員は、常勤職員、非常勤職員ともに「0人(いない)」がそれぞれ約7割となっています。

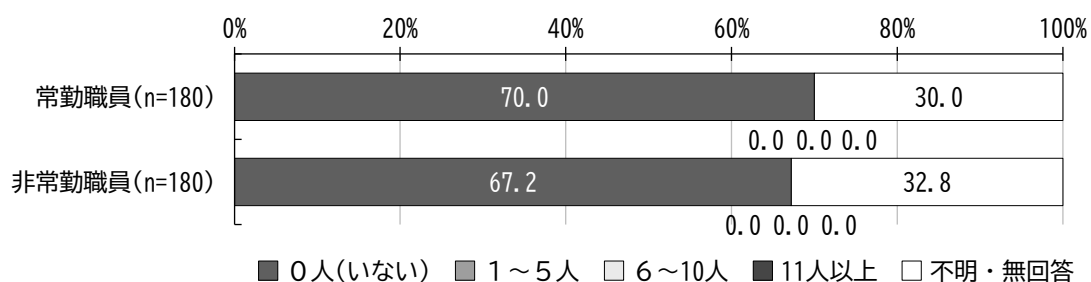
【介護職員総数】



【外国人職員】

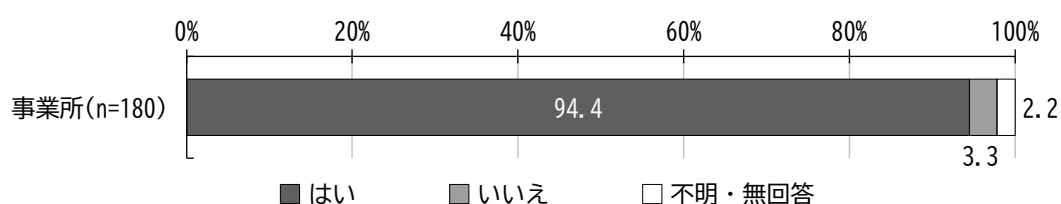


【派遣職員】



問6 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(回答は1つ)

開設から1年以上経過しているかは、「はい」が94.4%、「いいえ」が3.3%となっています。



## 2 事業所の人材確保の状況について

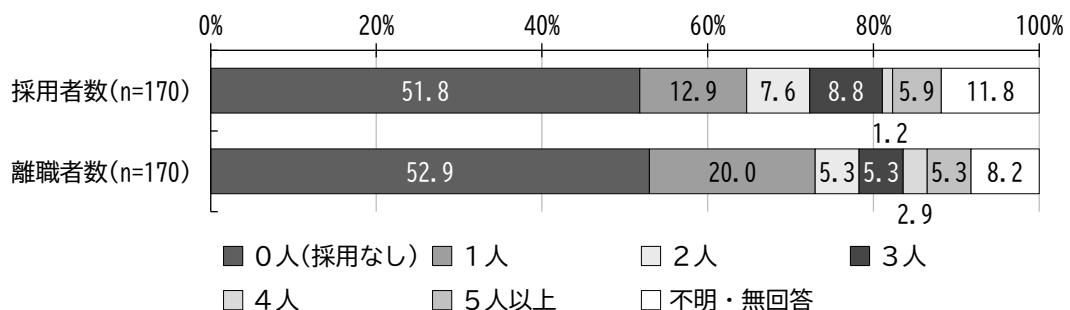
【問7～問9は、問6で「はい」と回答した方のみ】

問7 令和7年12月時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間（令和6年12月1日から令和7年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご記入ください（数値を記入）。

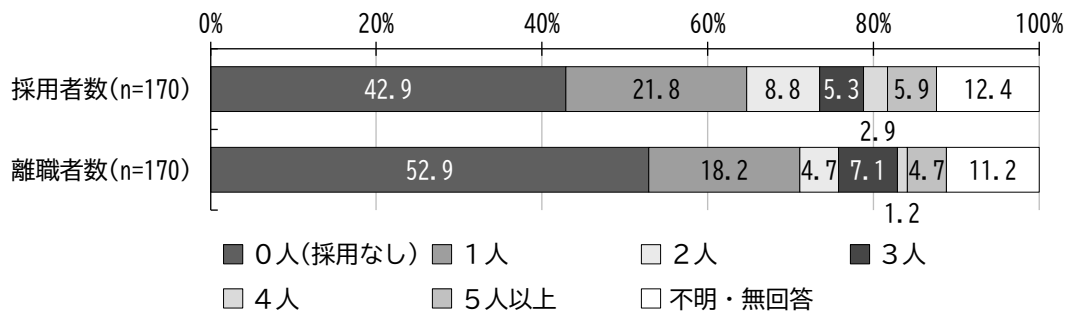
過去1年間の採用者数は、「0人（採用なし）」が常勤職員で51.8%、非常勤職員で42.9%となっています。

過去1年間の離職者数は、「0人」が常勤職員で52.9%、非常勤職員で52.9%となっています。また、「1人」が常勤職員で20.0%、非常勤職員で18.2%となっているほか、「5人以上」が常勤職員で5.3%、非常勤職員で4.7%となっています。

### 【常勤職員】

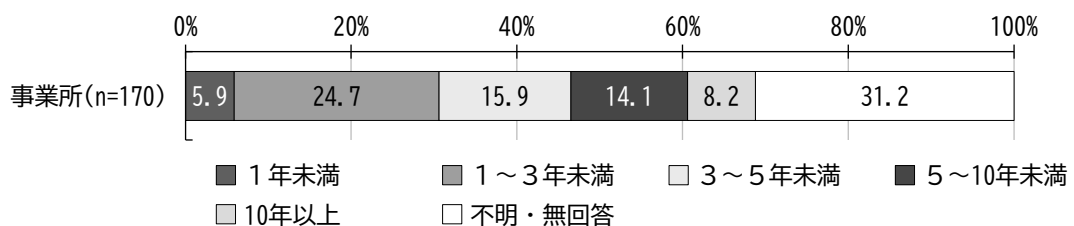


### 【非常勤職員】



問8 離職者の平均勤続年数はどれくらいですか。（数値を記入）

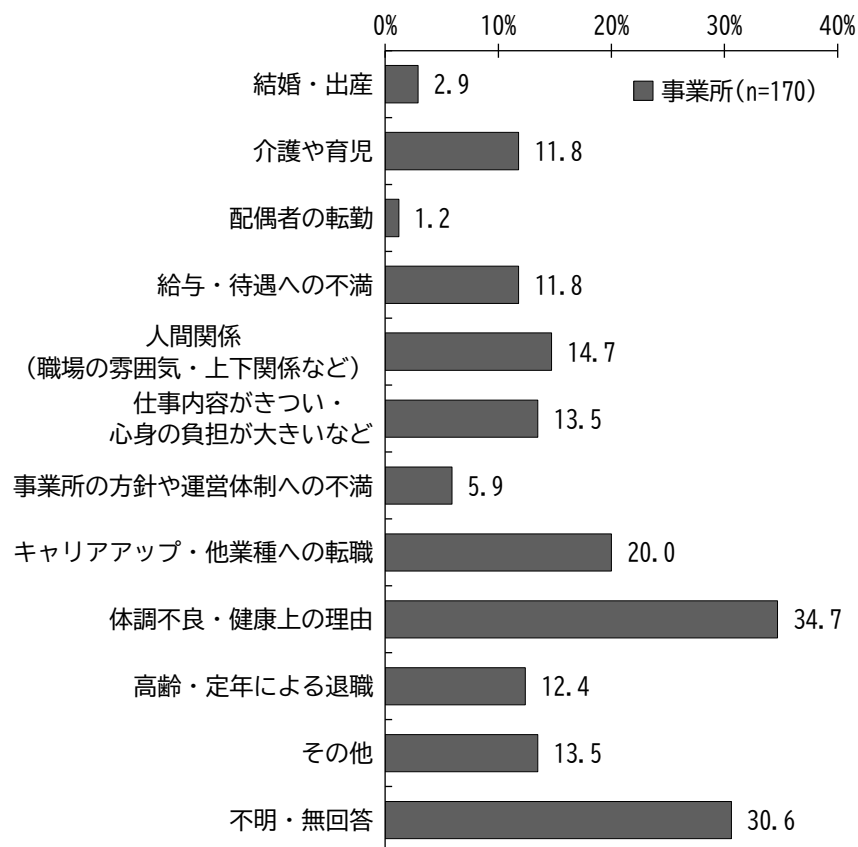
離職者の平均勤続年数は、「1～3年未満」が24.7%と最も高く、次いで「3～5年未満」が15.9%、「5～10年未満」が14.1%となっています。





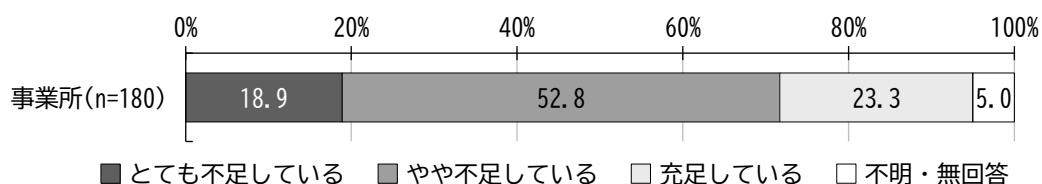
問9 過去1年間の離職者の主な離職理由をお答えください。(あてはまる主なもの3つまでに○)

過去1年間の離職者の主な離職理由は、「体調不良・健康上の理由」が34.7%と最も高く、次いで「キャリアアップ・他業種への転職」が20.0%、「人間関係（職場の雰囲気・上下関係など）」が14.7%となっています。



問10 この1年間、貴事業所における介護人材の確保について、おおむねどのように感じておられますか。(○は1つ)

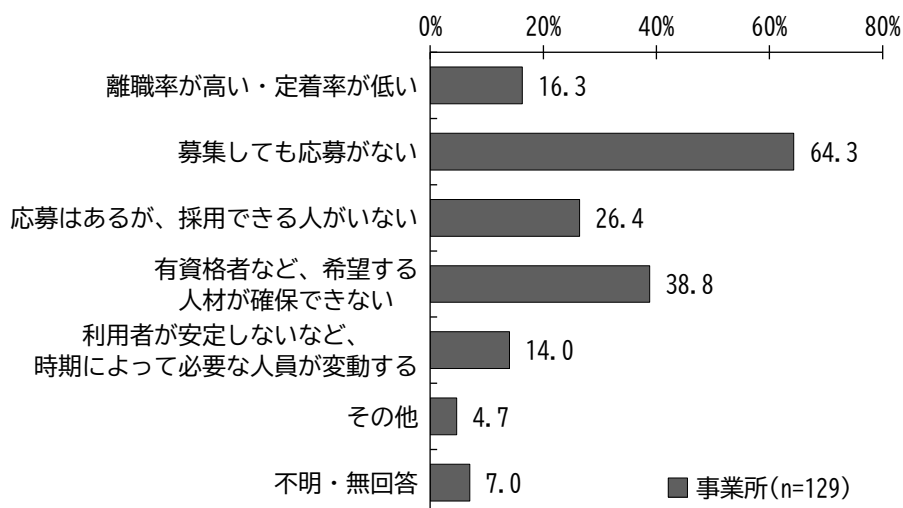
介護人材の確保について、おおむねどのように感じているかは、「とても不足している」が18.9%、「やや不足している」が52.8%、「充足している」が23.3%となっています。なお、『不足している』（「とても不足している」と「やや不足している」の合算）は71.7%となっています。



【問 10 で「とても不足している」または「やや不足している」に○を付けた事業所】

問 11 介護人材が不足している主な理由をお答えください。(○はいくつでも)

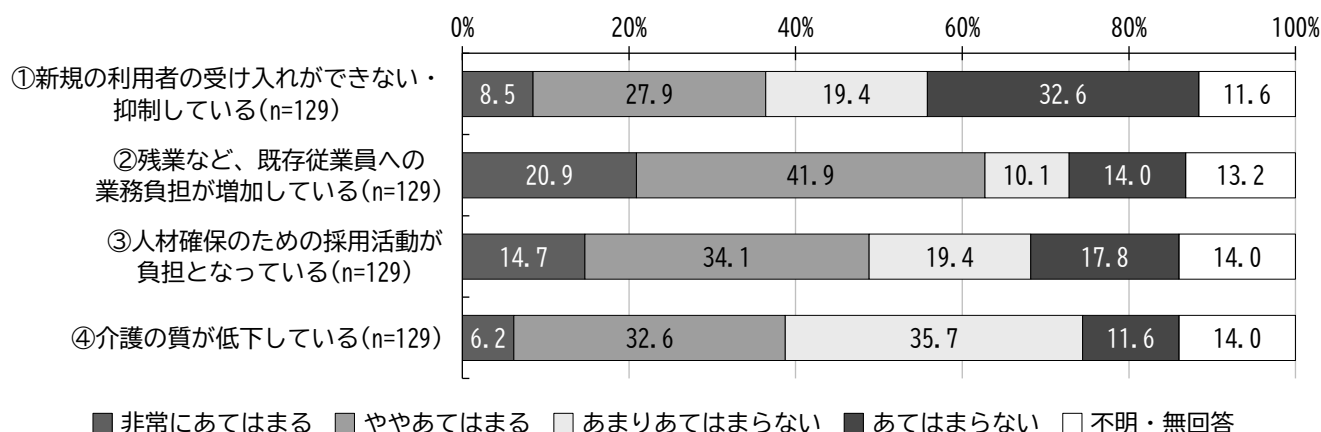
介護人材が不足している主な理由は、「募集しても応募がない」が 64.3%と最も高く、次いで「有資格者など、希望する人材が確保できない」が 38.8%、「応募はあるが、採用できる人がいない」が 26.4%となっています。



【問 10 で「とても不足している」または「やや不足している」に○を付けた事業所】

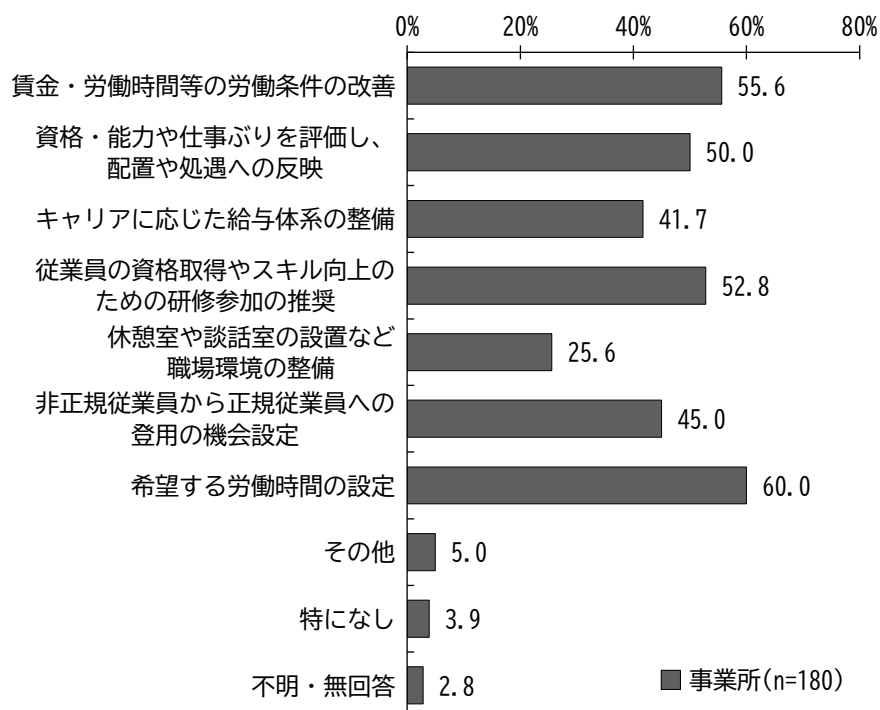
問 12 人材不足により生じている影響は、どの程度となっていますか。(○はそれぞれ1つ)

人材不足により生じている影響は、「②残業など、既存従業員への業務負担が増加している」で『あてはまる』（「非常にあてはまる」と「ややあてはまる」の合算）が 62.8%と、他の項目と比べて高くなっています。



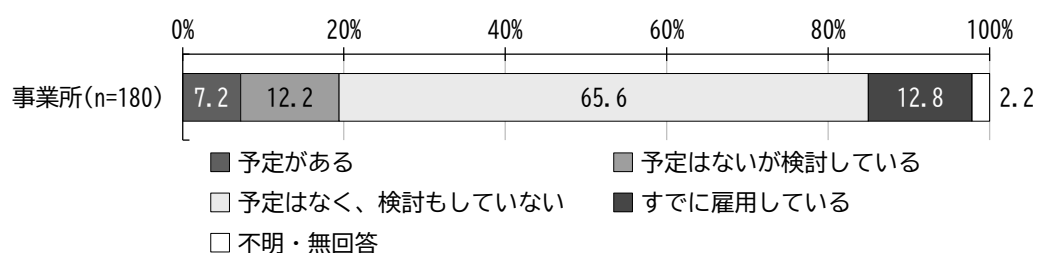
問 13 貴事業所で人材を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)

人材を定着させるために取り組んでいることは、「希望する労働時間の設定」が 60.0%と最も高く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が 55.6%、「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」が 52.8%となっています。なお、「特になし」は 3.9%となっています。



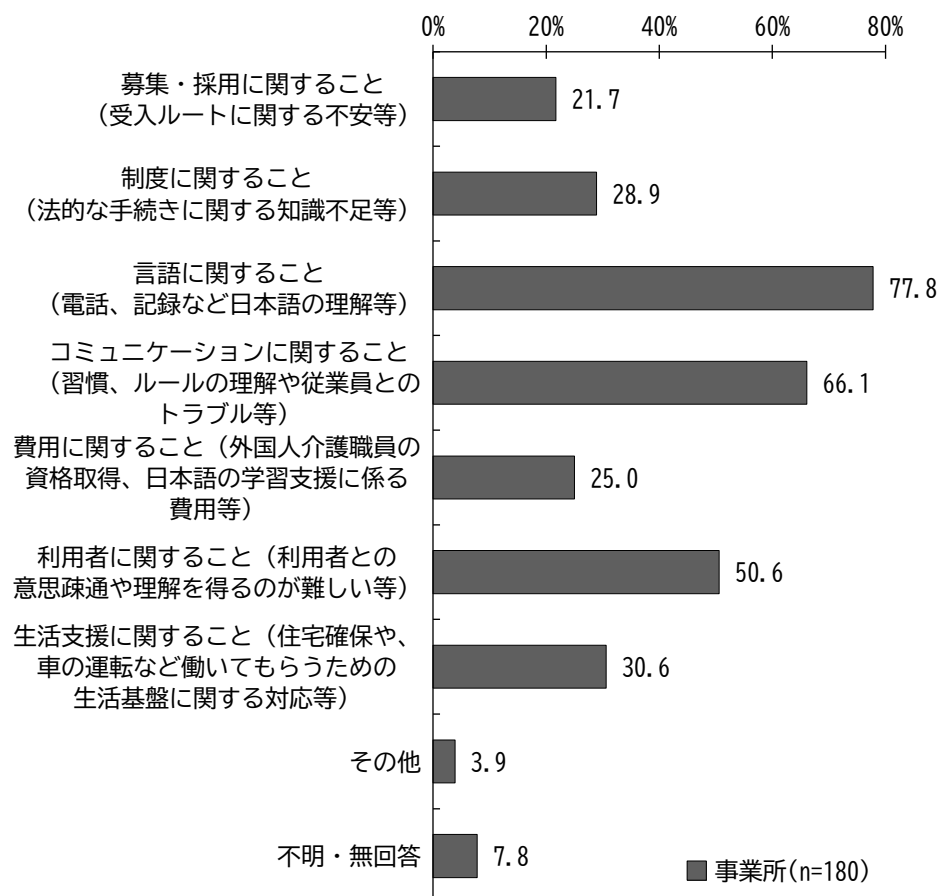
問 14 貴事業所において、外国人従業員を雇う予定はありますか。(〇は1つ)

外国人従業員を雇う予定はあるかは、「予定はなく、検討もしていない」が 65.6%と最も高く、次いで「すでに雇用している」が 12.8%、「予定はないが検討している」が 12.2%となっています。



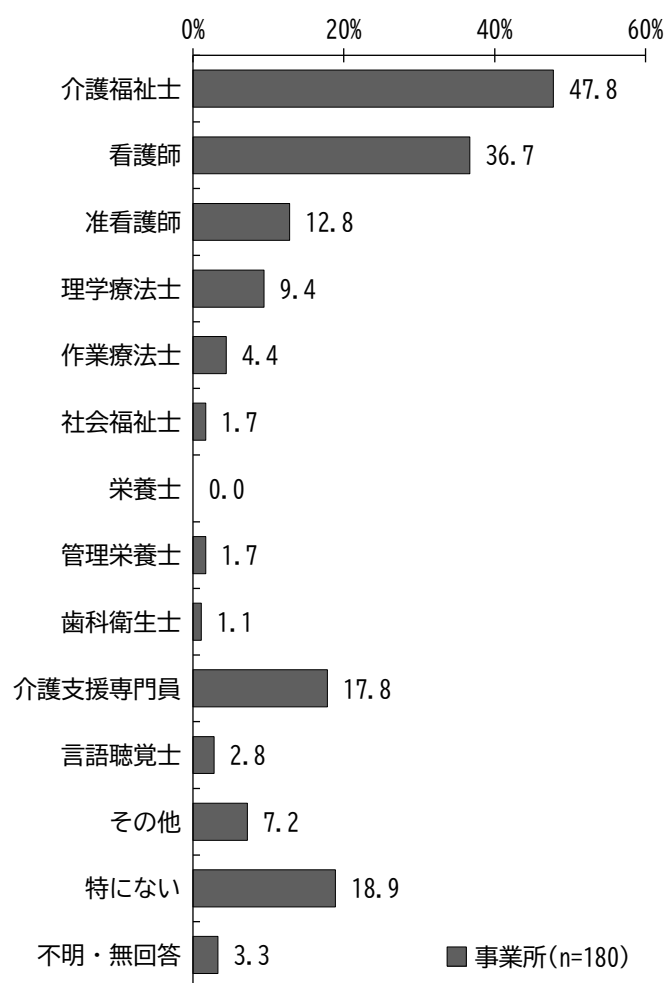
問 15 外国人従業者を雇用するにあたって、特に課題と感じていることもしくは懸念していることは何ですか。(〇はいくつでも)

外国人従業者を雇用するにあたって、特に課題と感じていることもしくは懸念していることは、「言語に関すること（電話、記録など日本語の理解等）」が 77.8%と最も高く、次いで「コミュニケーションに関すること（習慣、ルールを理解や従業員とのトラブル等）」が 66.1%、「利用者に関すること（利用者との意思疎通や理解を得るのが難しい等）」が 50.6%となっています。



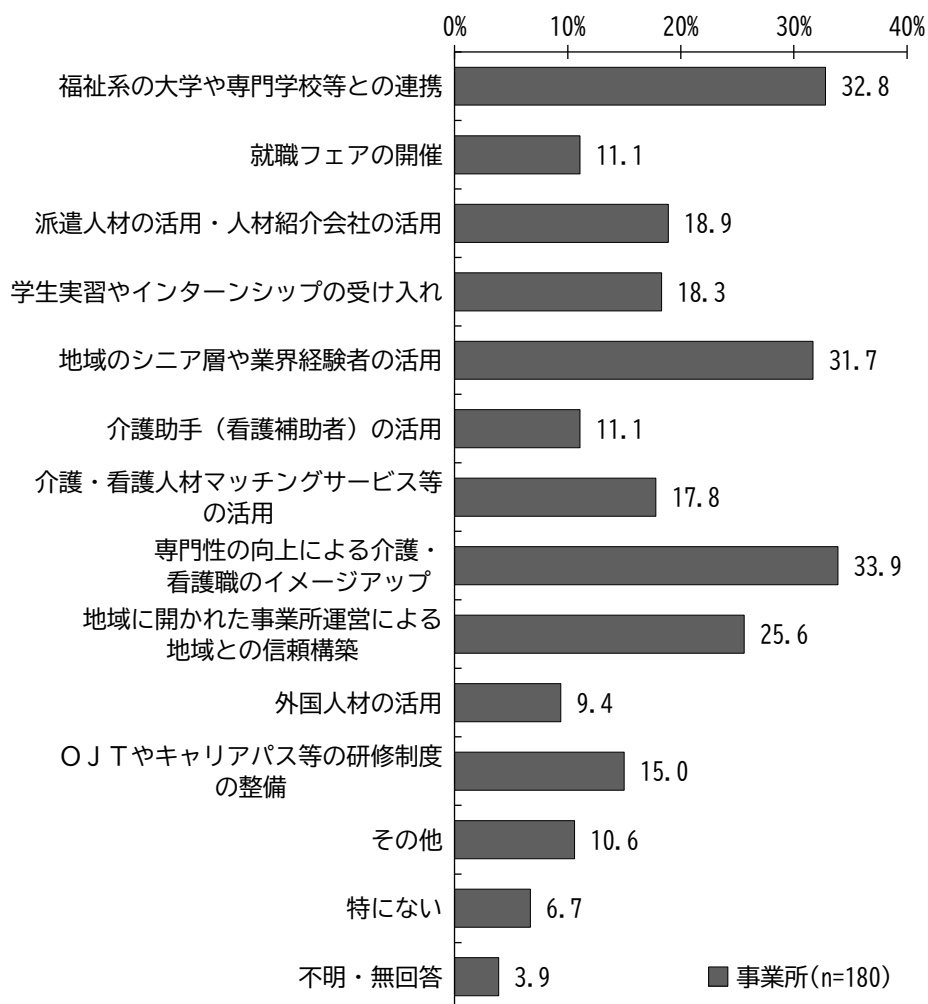
問 16 貴事業所で不足している専門職種は何ですか。(〇はいくつでも)

不足している専門職種は、「介護福祉士」が 47.8%と最も高く、次いで「看護師」が 36.7%、「特にな  
い」が 18.9%となっています。



問 17 今後、介護人材の不足を解消するための取組みとして、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

今後、介護人材の不足を解消するための取組みとして、どのようなことが必要だと思うかは、「専門性の向上による介護・看護職のイメージアップ」が33.9%と最も高く、次いで「福祉系の大学や専門学校等との連携」が32.8%、「地域のシニア層や業界経験者の活用」が31.7%となっています。なお、「特にない」は6.7%となっています。

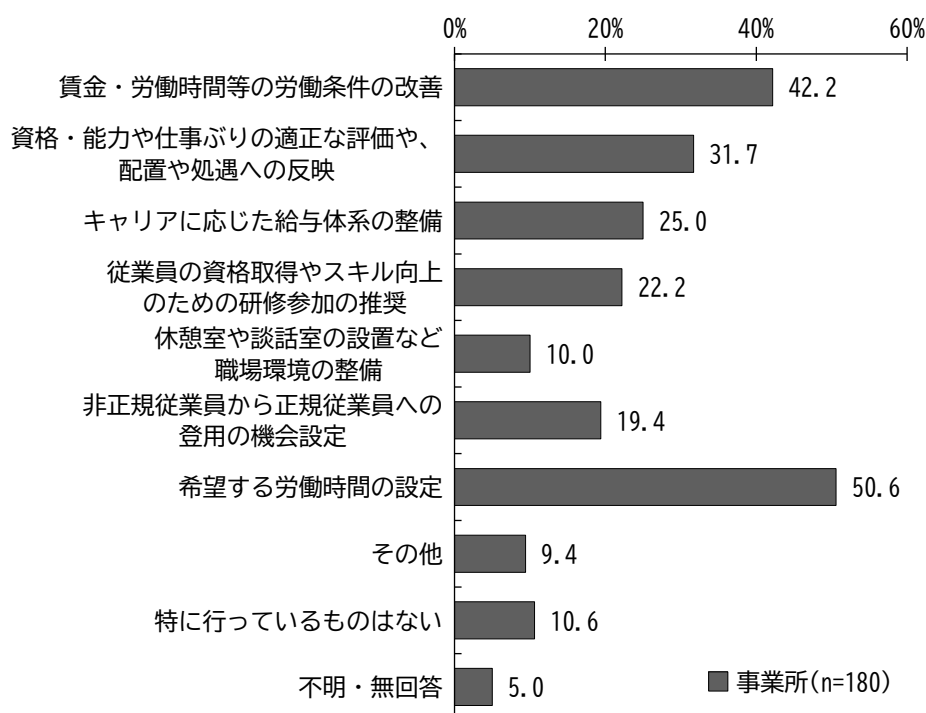


問 18 問 17 で選択した取組みについて、具体的な希望支援策があれば自由にご記入ください。  
(自由記述)

| 主な希望支援策                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 介護職員の賃金・報酬改善要望                                                                                       |
| 介護報酬のUP、業務量（書類）の削減。                                                                                  |
| 介護報酬の基本点数の引き上げ、もしくは上乘せ支援。基本報酬や加算を引き下げ、処遇改善加算だけを上げるとプラス改定とされるので、設備更新や新たな投資、求人費、物価高対策に必要な賃金を捻出できない。    |
| 人材確保における採用コストと支援体制への課題                                                                               |
| 最低賃金は上がったが、報酬はそのままなので地域区分に見合った金額に再設定してほしい。人材確保にかかるマッチングサービスの費用が高く、利用しづらいため、利用料の規制または人材囲い込みの規制をしてほしい。 |
| 介護人材の紹介会社の手数料がとても負担である。ハローワークなどから紹介ができる体制づくりと、紹介会社に対する規制などを望む。                                       |
| 行政が介護職を募集して必要な事業所とのマッチングをしてほしい。                                                                      |
| ハローワークの利用率の上昇、使いやすさの向上。紹介会社による介護職員は1名あたり年収20～30%、約100万円前後がかかる。外部に流れるお金が多いと職員に還元しにくい。                 |
| 市役所で募集希望を各事業所に確認して、職種や希望を一般市民にアピールしてもらえるとありがたい。                                                      |
| 派遣や紹介会社はコストが高いため、ハローワークからの応募が増える対策をしてほしい。                                                            |
| 介護職員のイメージ向上施策                                                                                        |
| 数年前から介護現場主体のフォトコンテストを行政が実施しており、業界の様子が伝わるようになったと思う。地道な活動を継続していく事が有効だと考える。                             |
| 介護、看護の就職フェアを開催する。                                                                                    |
| 小・中・高校の子どもたちや学校教員の、介護に対する負のイメージを変える。                                                                 |
| Eラーニングによる介護に関する知識の向上。                                                                                |
| 介護業務に対するイメージアップのために、国・県・市としてアピールをしてほしい。処遇改善は一時的なものではなく、継続してほしい。                                      |
| OJTやキャリアパス等の研修制度、人事評価を作成しているが活かされていない。職員が納得したうえで、新しい人材育成プログラムの助言等の支援を望む。                             |

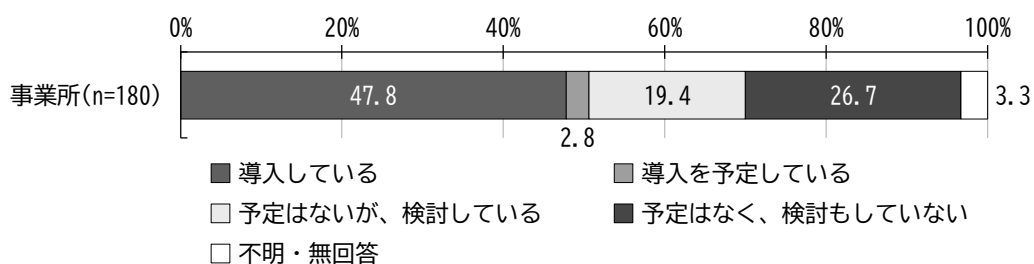
問 19 貴事業所で人材を定着させるために実施した取り組みで、効果があったものは何ですか。  
(〇はいくつでも)

人材を定着させるために実施した取り組みで、効果があったものは、「希望する労働時間の設定」が 50.6%と最も高く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が 42.2%、「資格・能力や仕事ぶりの適正な評価や、配置や処遇への反映」が 31.7%、「資格・能力や仕事ぶりの適正な評価や、配置や処遇への反映」が 31.7%となっています。



問 20 貴事業所では I C T や A I、ハイテクロボットは導入していますか。(〇は1つ)

I C T や A I、ハイテクロボットの導入状況は、「導入している」が 47.8%と最も高く、次いで「予定はなく、検討もしていない」が 26.7%、「予定はないが、検討している」が 19.4%となっています。



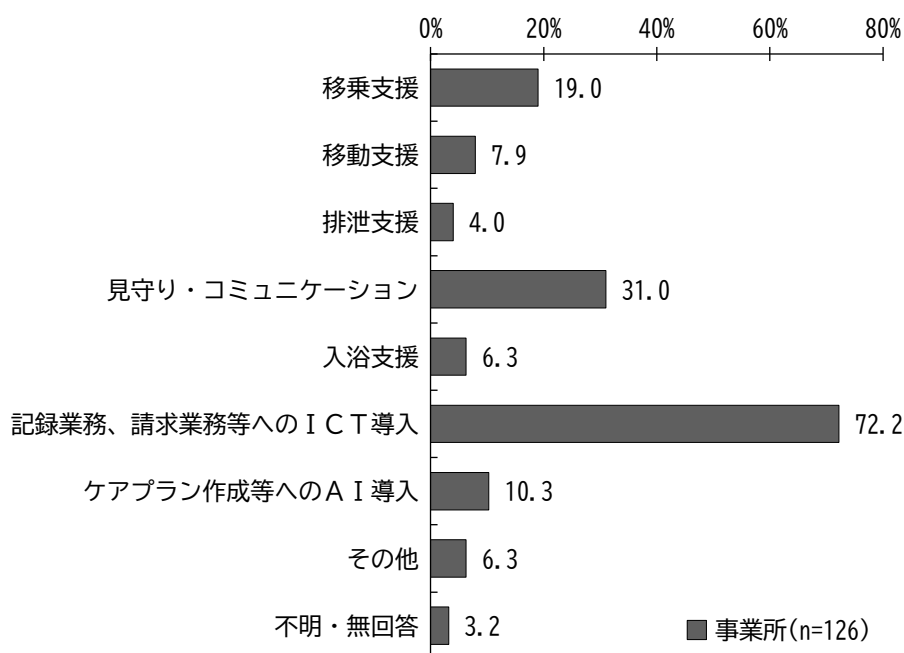


【問 20 で「導入している」または「導入を予定している」または「予定はないが、検討している」に○を付けた事業所】

問 21 導入しているもしくは導入したいと思っている I C T や A I、ハイレクロボットの種類はどれですか。(○はいくつでも)

導入しているもしくは導入したいと思っている I C T や A I、ハイレクロボットの種類は、「記録業務、請求業務等への I C T 導入」が 72.2%と最も高く、次いで「見守り・コミュニケーション」が 31.0%、「移乗支援」が 19.0%となっています。

問 20 とのクロス結果では、『導入している』『予定はないが、検討している』ともに「記録業務、請求業務等への I C T 導入」がそれぞれ最も高くなっています。



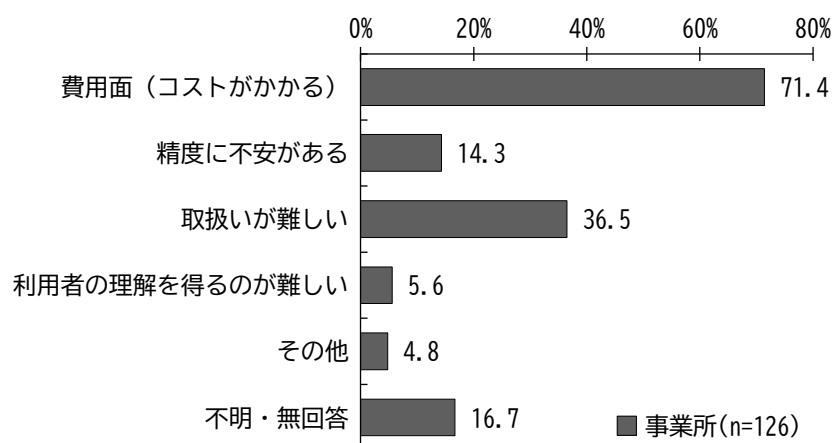
#### ■問 20×問 21 のクロス集計

|                      | 移乗支援 | 移動支援 | 排泄支援 | 見守り・コミュニケーション | 入浴支援 | 記録業務、請求業務等への I C T 導入 | ケアプラン作成等への A I 導入 | その他  | 不明・無回答 |
|----------------------|------|------|------|---------------|------|-----------------------|-------------------|------|--------|
| (単位：%)               |      |      |      |               |      |                       |                   |      |        |
| 導入している (n=86)        | 12.8 | 4.7  | 5.8  | 36.0          | 5.8  | 75.6                  | 5.8               | 8.1  | 3.5    |
| 導入を予定している (n=5)      | 20.0 | 0.0  | 0.0  | 0.0           | 20.0 | 60.0                  | 0.0               | 20.0 | 0.0    |
| 予定はないが、検討している (n=35) | 34.3 | 17.1 | 0.0  | 22.9          | 5.7  | 65.7                  | 22.9              | 0.0  | 2.9    |

【問 20 で「導入している」または「導入を予定している」または「予定はないが、検討している」に○を付けた事業所】

問 22 ICTやAI、ハイテクロボットを導入するにあたって、特に問題となった点もしくは懸念している点は何ですか。(○はいくつでも)

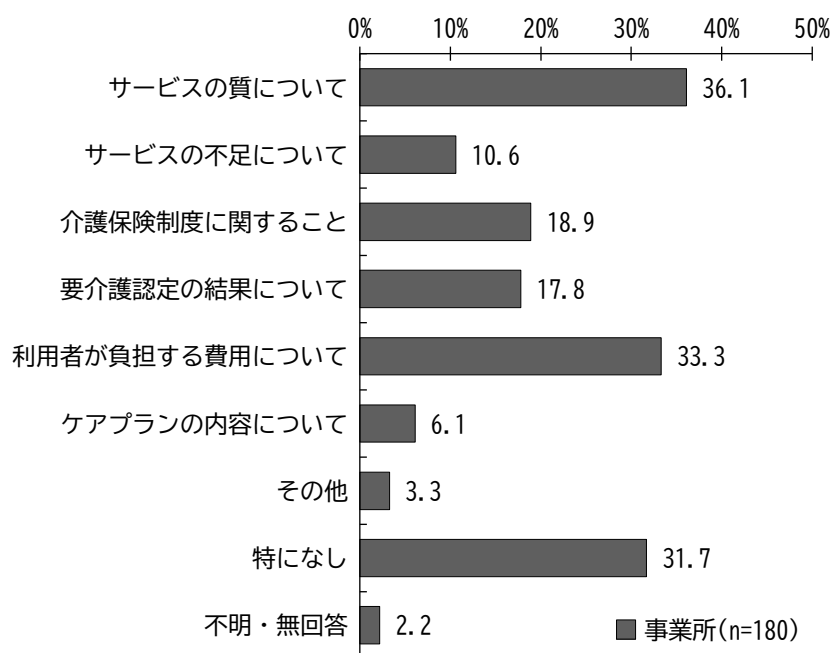
ICTやAI、ハイテクロボットを導入するにあたって、特に問題となった点もしくは懸念している点は、「費用面（コストがかかる）」が71.4%と最も高く、次いで「取扱いが難しい」が36.5%、「精度に不安がある」が14.3%となっています。



### 3 サービスや人材の質の向上について

問 23 利用者やその家族からどのような苦情や相談が寄せられますか。(○はいくつでも)

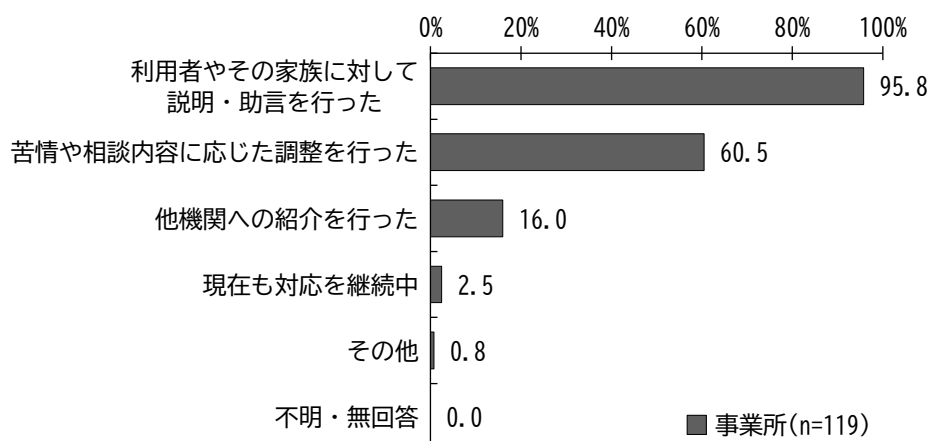
利用者やその家族からどのような苦情や相談が寄せられるかは、「サービスの質について」が 36.1%と最も高く、次いで「利用者が負担する費用について」が 33.3%、「特になし」が 31.7%となっています。



【問 23 で「特になし」以外に○を付けた事業所】

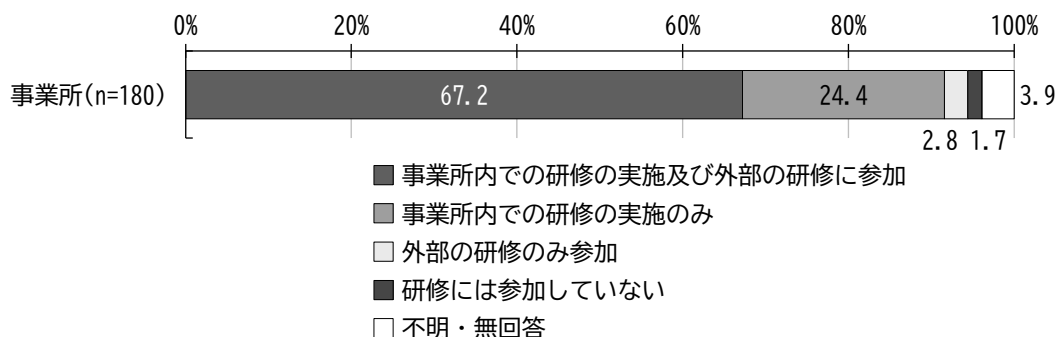
問 24 寄せられた苦情や相談に対し、主にどのような対応を行いましたか。(○はいくつでも)

寄せられた苦情や相談に対し、主にどのような対応を行ったかは、「利用者やその家族に対して説明・助言を行った」が 95.8%と最も高く、次いで「苦情や相談内容に応じた調整を行った」が 60.5%、「他機関への紹介を行った」が 16.0%となっています。



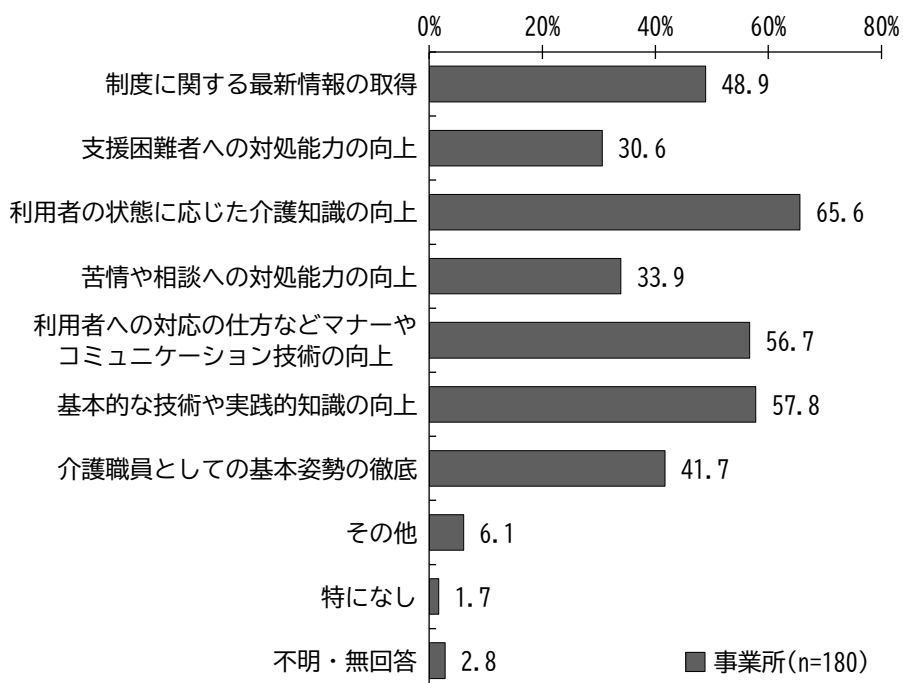
問 25 サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。(○は1つ)

サービスの質の向上に向けた研修に参加しているかは、「事業所内での研修の実施及び外部の研修に参加」が67.2%と最も高く、次いで「事業所内での研修の実施のみ」が24.4%、「外部の研修のみ参加」が2.8%となっています。



問 26 貴事業所において、サービスや職員の質の向上に向けて特に取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

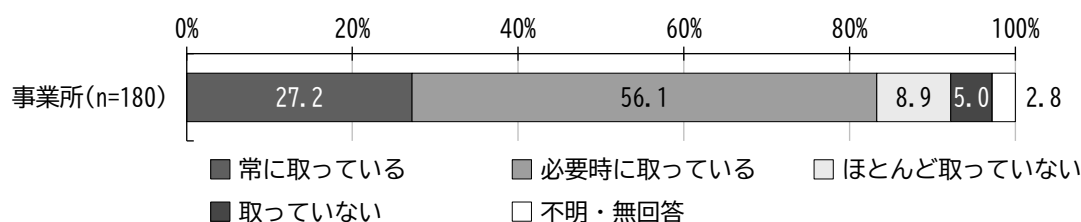
サービスや職員の質の向上に向けて特に取り組んでいることは、「利用者の状態に応じた介護知識の向上」が65.6%と最も高く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」が57.8%、「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が56.7%となっています。



## 4 他機関等との連携状況について

問 27 医師や歯科医師、医療機関など、医療と連携を取っていますか。(○は1つ)

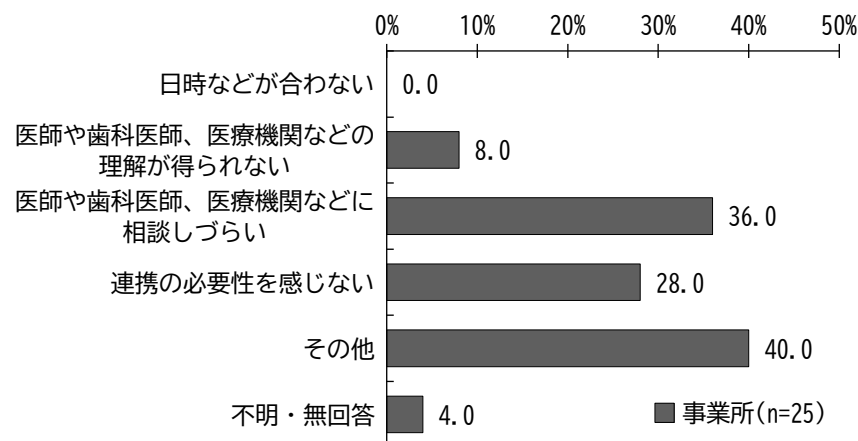
医師や歯科医師、医療機関など、医療と連携を取っているかは、『取っている』（「常に取っている」と「必要時に取っている」の合算）が 83.3%、『取っていない』（「ほとんど取っていない」と「取っていない」の合算）が 13.9%となっています。



【問 27 で「ほとんど取っていない」または「取っていない」に○を付けた事業所】

問 28 医療と連携を取っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

医療と連携を取っていない理由は、「その他」が 40.0%と最も高く、次いで「医師や歯科医師、医療機関などに相談しづらい」が 36.0%、「連携の必要性を感じない」が 28.0%となっています。



### 「その他」回答

ケアマネジャーに情報を伝えて、必要な情報のやり取りをしてもらっている。その後、情報共有もしている。(2件)

家族やケアマネジャーと連携できているため。

病院を有している施設ではない場合、入り口がない。

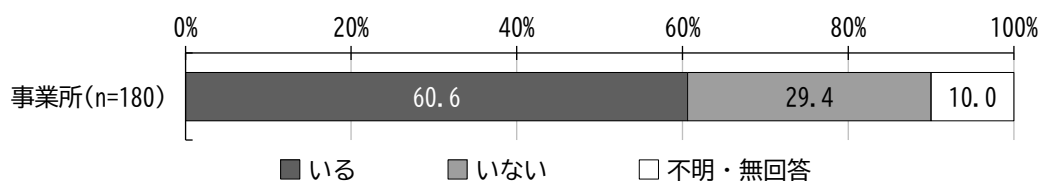
医療の前にケアマネジャーに連絡することが多い。

間接的に情報をもらっている。

家族を通して連絡や連携を取っている現在の状態でうまくできているから。

問 29 サービス利用者のうち、医療行為が必要な方はいますか。(○は1つ)

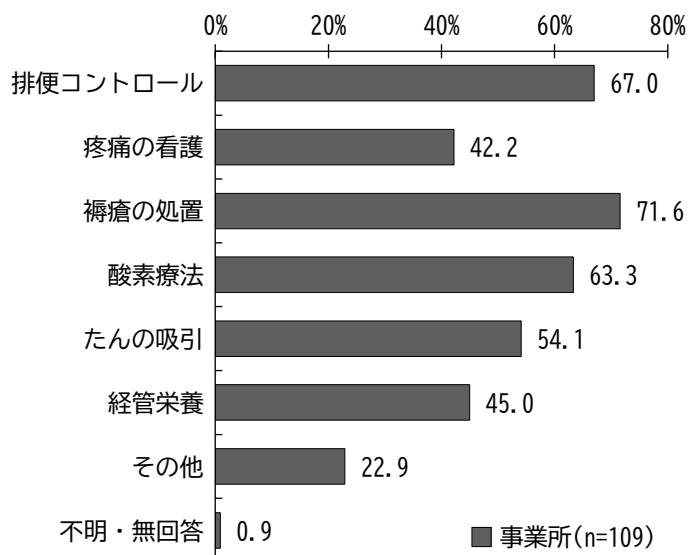
サービス利用者のうち、医療行為が必要な方がいるかは、「いる」が60.6%、「いない」が29.4%となっています。



【問 29 で「いる」に○を付けた事業所】

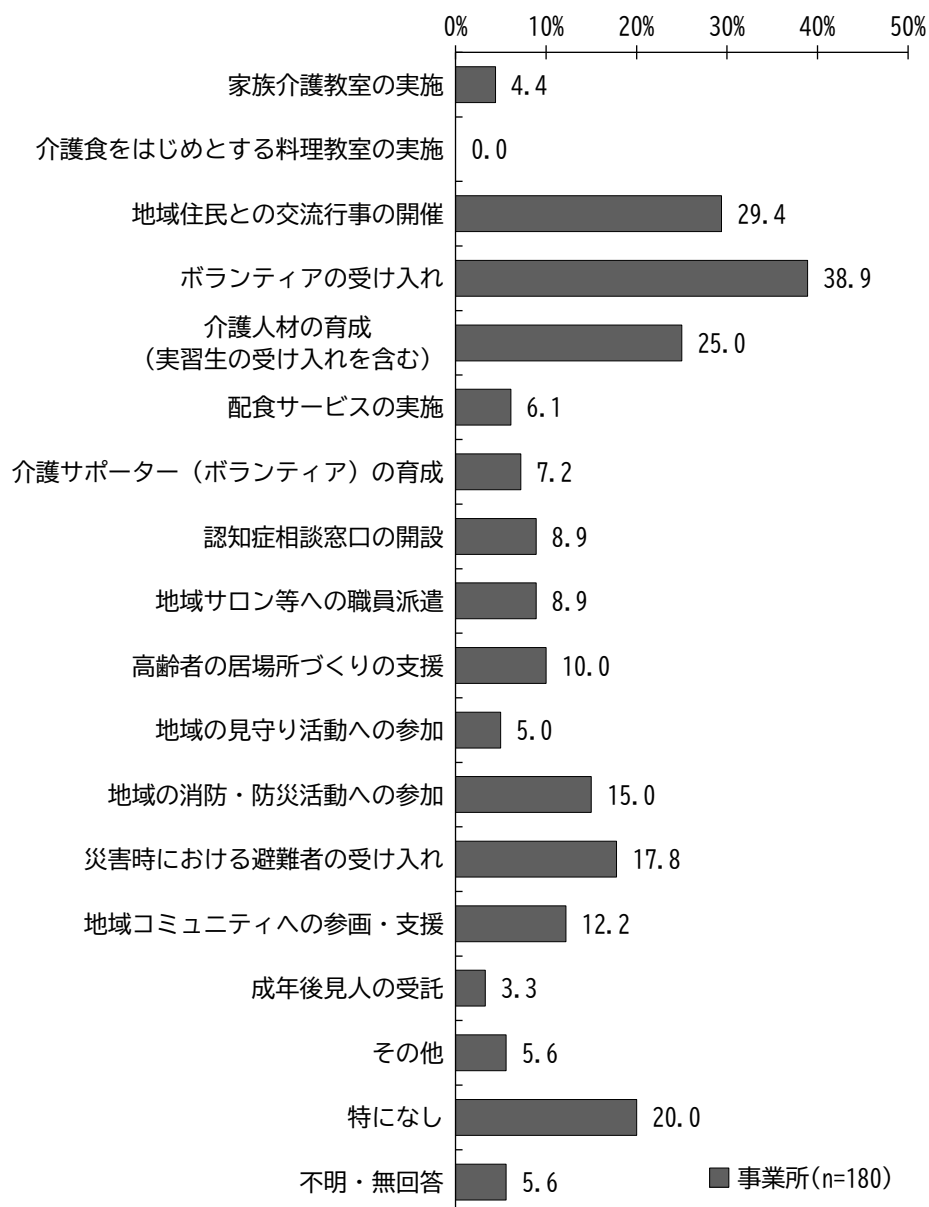
問 30 どのような医療行為が必要ですか。(○はいくつでも)

どのような医療行為が必要かは、「褥瘡の処置」が71.6%と最も高く、次いで「排便コントロール」が67.0%、「酸素療法」が63.3%となっています。



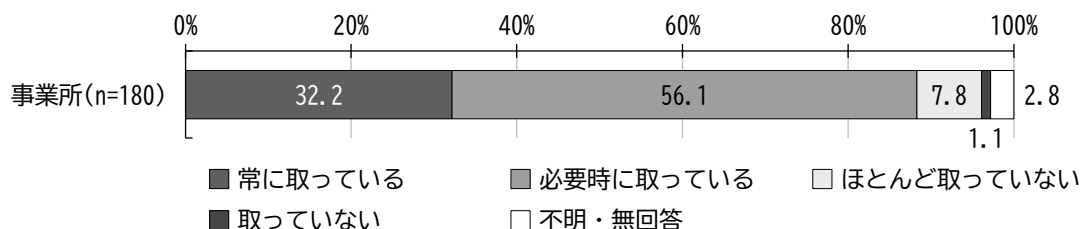
問 31 貴事業所が地域活動の一環として取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

地域活動の一環として取り組んでいることは、「ボランティアの受け入れ」が 38.9%と最も高く、次いで「地域住民との交流行事の開催」が 29.4%、「介護人材の育成(実習生の受け入れを含む)」が 25.0%となっています。なお、「特になし」が 20.0%となっています。



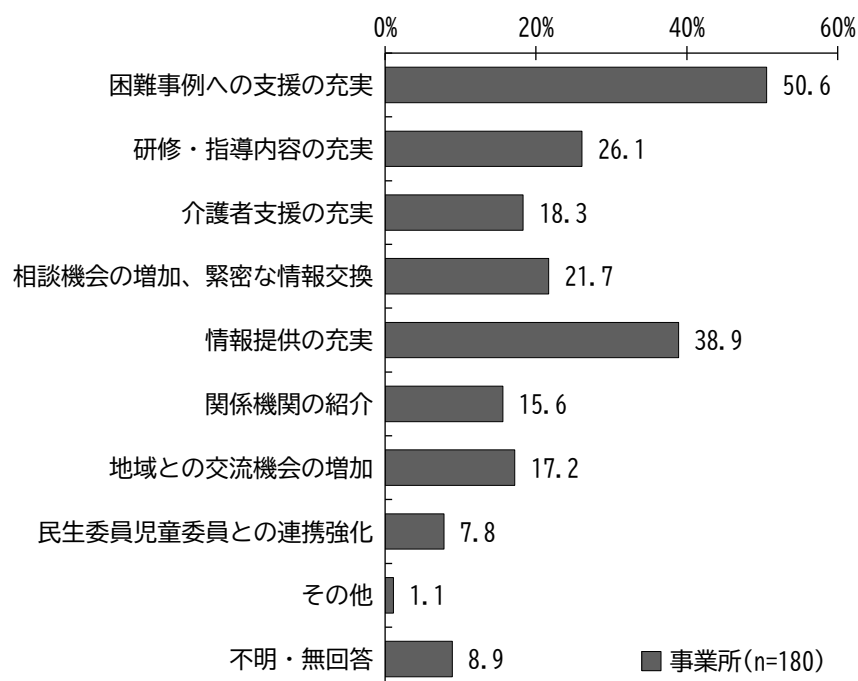
問 32 地域包括支援センターと連携を取っていますか。(○は1つ)

地域包括支援センターと連携を取っているかは、『取っている』（「常にとっている」と「必要時に取っている」の合算）が 88.3%、『取っていない』（「ほとんど取っていない」と「取っていない」の合算）が 8.9%となっています。



問 33 地域包括支援センターに充実・強化してほしいと思うことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

地域包括支援センターに充実・強化してほしいと思うことは、「困難事例への支援の充実」が 50.6%と最も高く、次いで「情報提供の充実」が 38.9%、「研修・指導内容の充実」が 26.1%となっています。

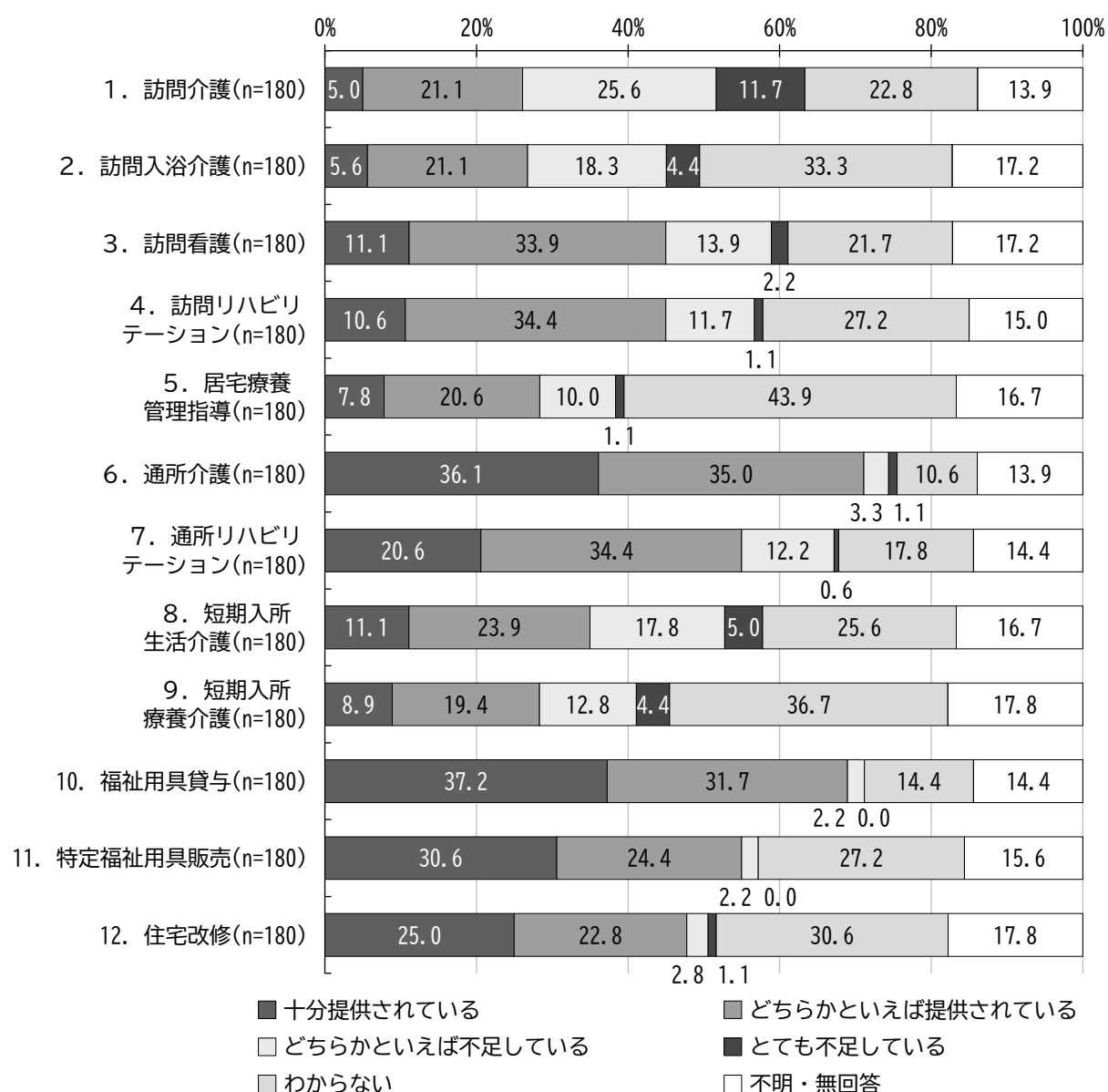


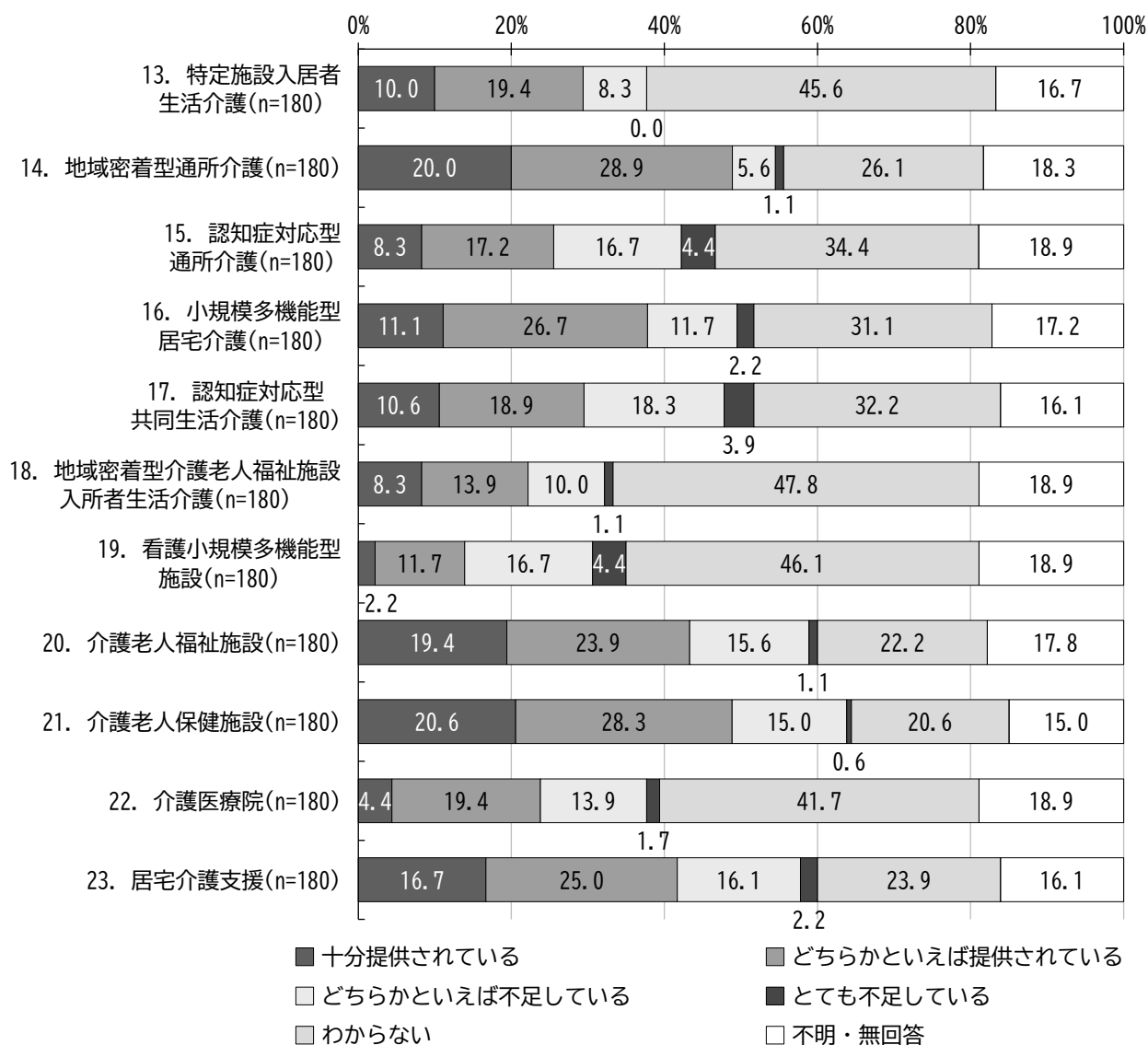


## 5 市の介護保険サービスについて

問 34 市内における介護保険サービスは、利用者の希望通りに提供されていると思いますか。わかる範囲でお答えください。(介護予防サービス含む。○はそれぞれ1つ)

市内における介護保険サービスは、利用者の希望通りに提供されているかは、「1. 訪問介護」で『不足している』(「どちらかといえば不足している」と「とても不足している」の合算)が37.3%と、他の項目より高くなっています。また、「2. 訪問入浴介護」「8. 短期入所生活介護」「15. 認知症対応型通所介護」「17. 認知症対応型共同生活介護」「19. 看護小規模多機能型施設」で『不足している』がそれぞれ2割台となっています。

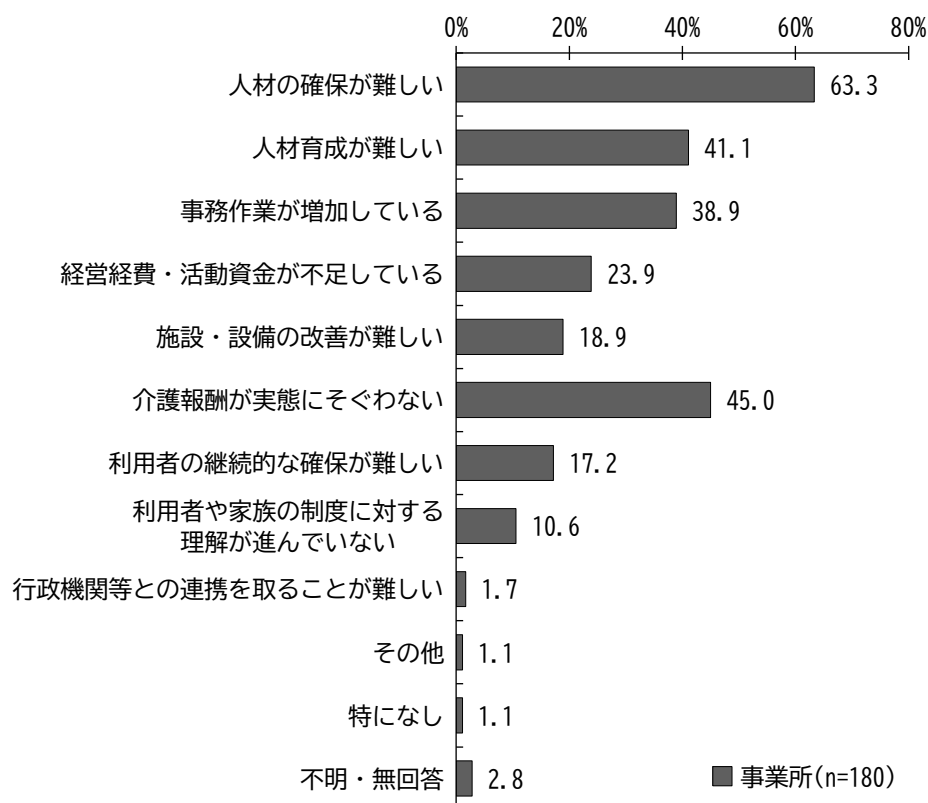




## 6 事業所運営や介護保険全般について

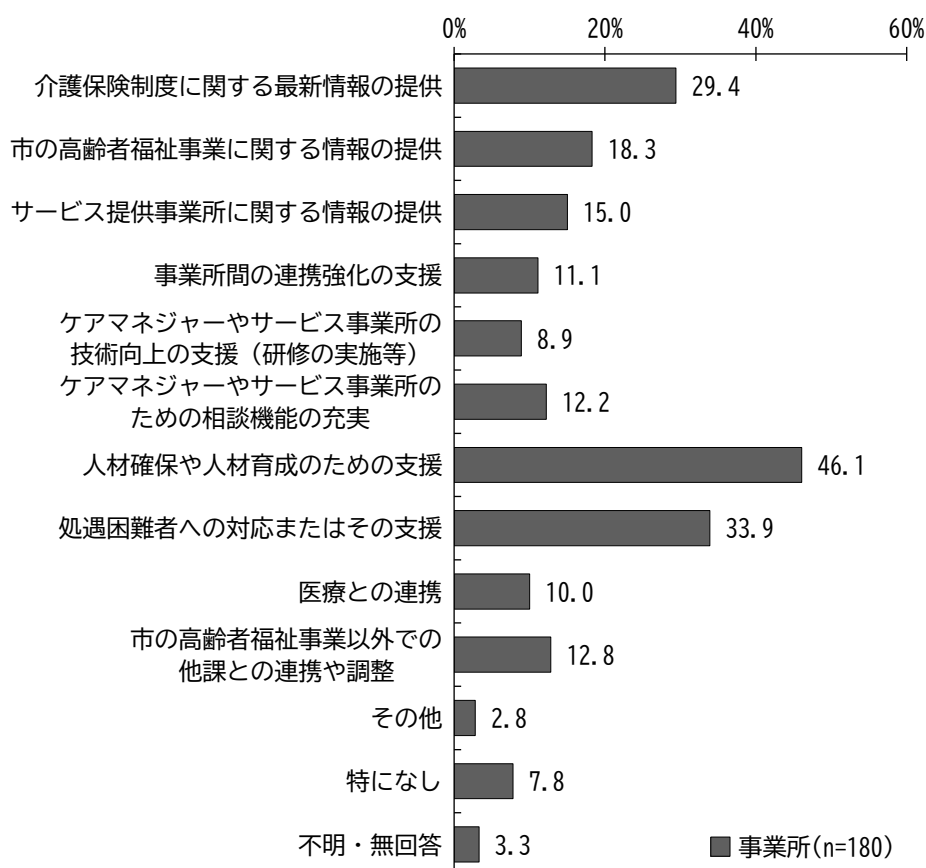
問 35 貴事業所の運営に関して現在、最も困難を感じることは何ですか。(〇は3つまで)

運営に関して現在、最も困難を感じることは、「人材の確保が難しい」が 63.3%と最も高く、次いで「介護報酬が実態にそぐわない」が 45.0%、「人材育成が難しい」が 41.1%となっています。



問 36 サービスの提供を行ううえで、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。  
(〇は3つまで)

サービスの提供を行ううえで、行政の支援等が必要だと思われることは、「人材確保や人材育成のための支援」が46.1%と最も高く、次いで「処遇困難者への対応またはその支援」が33.9%、「介護保険制度に関する最新情報の提供」が29.4%となっています。

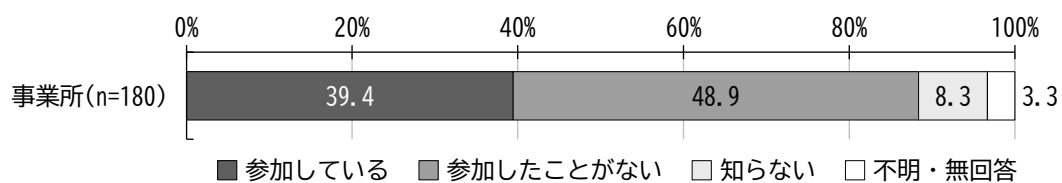


問 37 問 36 で選択した取組みについて、具体的な希望支援策があれば自由にご記入ください。  
(自由記述)

| 主な希望支援策                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 介護現場の人材・経営課題                                                                                                       |
| 法人大規模事業所の囲い込みなどを厳しく調べ、公正な指導をしていただきたい。                                                                              |
| 物価高や介護報酬の減収、経営の圧迫、職員の処遇改善、職員確保が難しい。また、業務量（書類）の増加により職員が余分に必要となり、経営を圧迫というループを抜け出す策をお願いしたい。やはり、金銭的な支援が1番だと思う。         |
| 介護経験がない方へのセミナーや研修。                                                                                                 |
| 介護施設職員の処遇改善、賃金をアップできるよう介護報酬の増加。事務作業の効率化、簡略化。                                                                       |
| 在宅介護連携連絡会議への医師の参加が年々減っているの、参加してもらおうよう働きかけてほしい。よい交流の機会になっていた。                                                       |
| 困難事例や家族対応の支援要望                                                                                                     |
| 家族がいない、または家に課題があるケースでは、本人支援だけではサービス継続ができず孤立してしまう。                                                                  |
| 処遇困難者への対応の中で本人の対応だけでなく、家族対応（カスタマーハラスメント、経済的な困窮等）に苦慮していることが多いため、その部分で行政の支援があるとありがたい。                                |
| 施設内での処遇の難しい方への対応やアドバイスもらえる支援、勉強会があると心強い。                                                                           |
| 虐待事例、身元保証人等の不在、認知症による強い周辺病状を有する患者（暴力性など）への対応、クレマー気質の家族への対応について、どうしても施設のみの対応になりがちで厳しいものがある。こういった方々のサポートをお願いできたらと思う。 |
| 今後のサービス向上のためにも、相談内容によると思うが、相談窓口が他機関に変更になっても行政として一緒に関わってもらえると助かる。                                                   |

問 38 要介護版・要支援版多職種協働カンファレンスに参加していますか。(○は1つ)

要介護版・要支援版多職種協働カンファレンスに参加しているかは、「参加している」が39.4%、「参加したことがない」が48.9%、「知らない」が8.3%となっています。

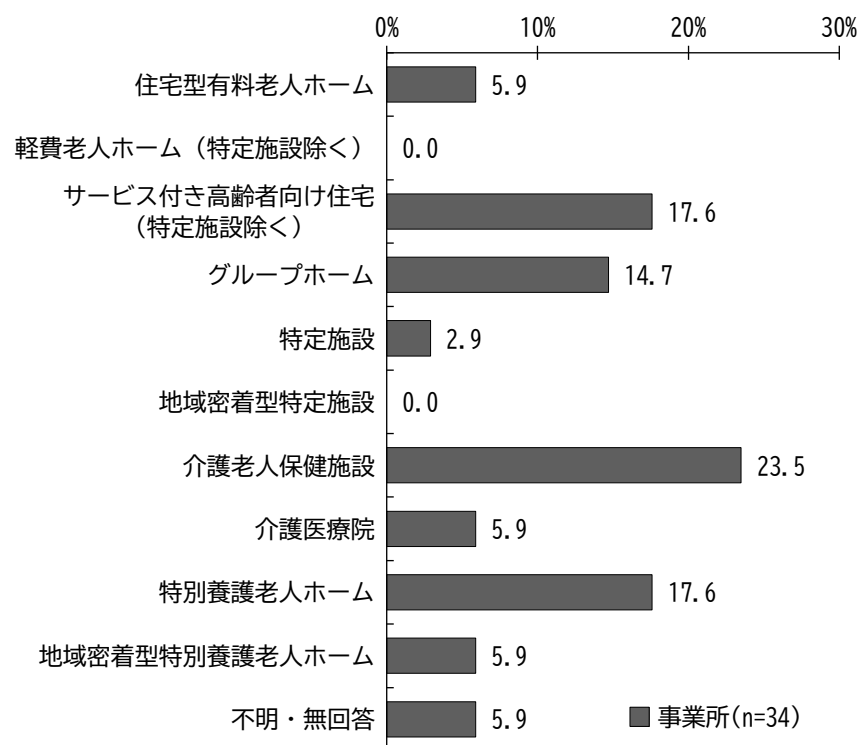


## 7 施設・居住系サービス事業所について

【ここからは問2で「施設・居住系サービス」に○を付けた事業所への質問です。】

問39 貴事業所の該当するサービス種別をご回答ください。(○は1つ)

該当するサービス種別は、「介護老人保健施設」が23.5%と最も高く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」「特別養護老人ホーム」がそれぞれ17.6%、「グループホーム」が14.7%となっています。



※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問 40 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。(記入)

貴施設等の概要は以下のとおりです。〔グループホーム〕〔介護付き有料老人ホーム（特定施設）〕〔介護医療院〕〔地域密着型特別養護老人ホーム〕は入所・入居率が100％となっています。

令和7年12月1日時点

|                       | ①<br>事業所数<br>(か所) | ②<br>定員数<br>(人／戸／室) | ③<br>入所・入居者数<br>(人) | ④<br>入所・入居率<br>(%) |
|-----------------------|-------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 住宅型有料老人ホーム            | 3                 | 62                  | 48                  | 77.4               |
| サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） | 5                 | 215                 | 195                 | 90.7               |
| グループホーム               | 6                 | 99                  | 99                  | 100.0              |
| 介護付き有料老人ホーム（特定施設）     | 1                 | 40                  | 40                  | 100.0              |
| 介護老人保健施設              | 8                 | 754                 | 616                 | 81.7               |
| 介護医療院                 | 2                 | 110                 | 110                 | 100.0              |
| 特別養護老人ホーム             | 6                 | 580                 | 537                 | 92.6               |
| 地域密着型特別養護老人ホーム        | 2                 | 58                  | 58                  | 100.0              |

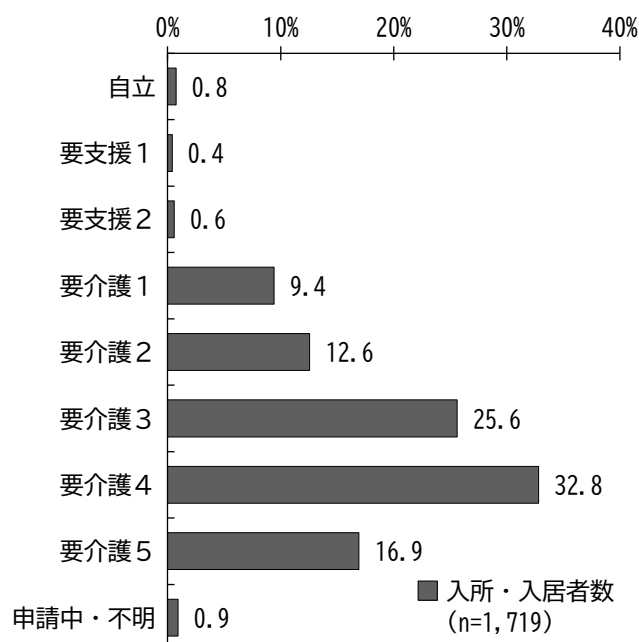
※「② 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」を回答しています。



## 問 41 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数についてご記入ください。(数値を記入)

現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数は、「要介護4」が32.8%と最も高く、次いで「要介護3」が25.6%、「要介護5」が16.9%となっています。

施設種別では、「住宅型有料老人ホーム」で「要介護5」が、「介護医療院」で「要介護4」がそれぞれ6割台と高くなっています。

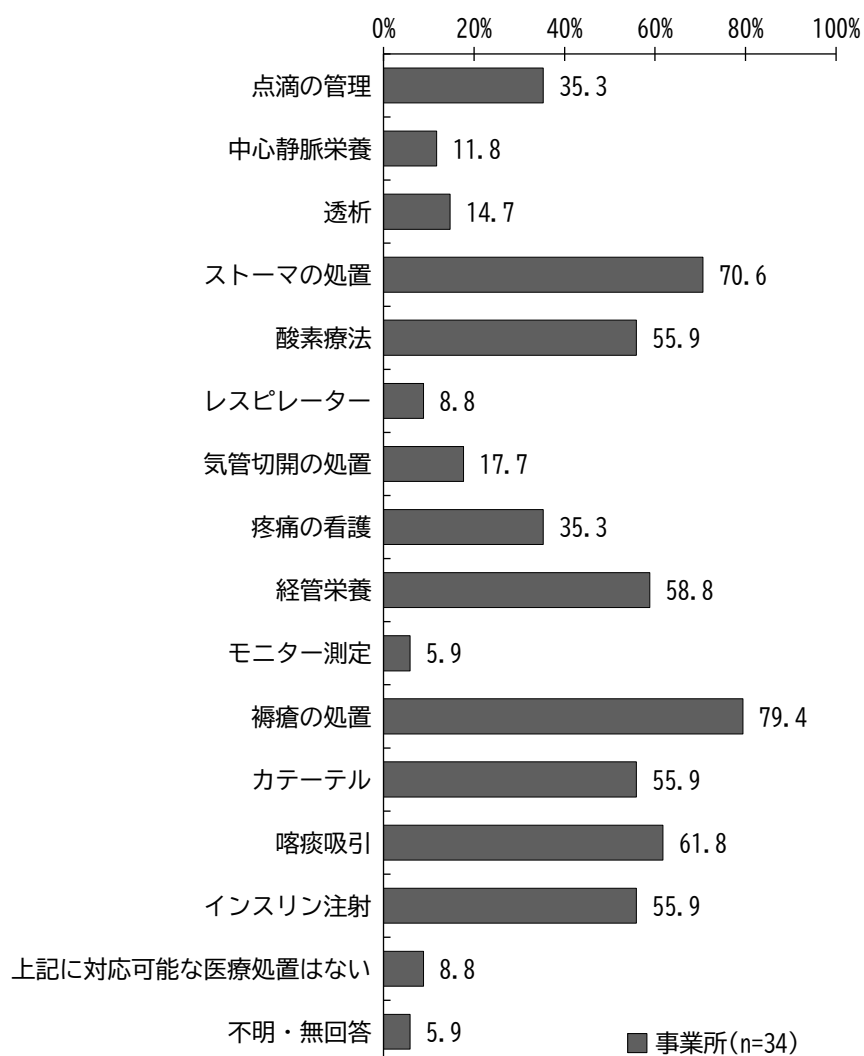


|                                  | 自立  | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 申請中・不明 |
|----------------------------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| (単位: %)                          |     |      |      |      |      |      |      |      |        |
| 住宅型有料老人ホーム(n=36)                 | 5.6 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 16.7 | 0.0  | 16.7 | 61.1 | 0.0    |
| サービス付き高齢者向け住宅<br>(特定施設除く)(n=145) | 7.6 | 4.8  | 6.9  | 16.6 | 19.3 | 16.6 | 16.6 | 6.2  | 5.5    |
| グループホーム(n=89)                    | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 40.4 | 33.7 | 11.2 | 7.9  | 6.7  | 0.0    |
| 特定施設(n=40)                       | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 22.5 | 35.0 | 20.0 | 17.5 | 5.0  | 0.0    |
| 介護老人保健施設(n=684)                  | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 12.1 | 15.9 | 25.3 | 32.6 | 13.2 | 0.9    |
| 介護医療院(n=110)                     | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.8  | 7.3  | 61.8 | 29.1 | 0.0    |
| 特別養護老人ホーム(n=537)                 | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 1.7  | 4.5  | 36.3 | 36.7 | 20.5 | 0.4    |
| 地域密着型特別養護老人ホーム<br>(n=58)         | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 1.7  | 31.0 | 39.7 | 27.6 | 0.0    |
| 不明・無回答(n=20)                     | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 5.0  | 10.0 | 20.0 | 45.0 | 20.0 | 0.0    |

※現在、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護医療院、グループホームに入所、入居されている方の実数をnとしています。

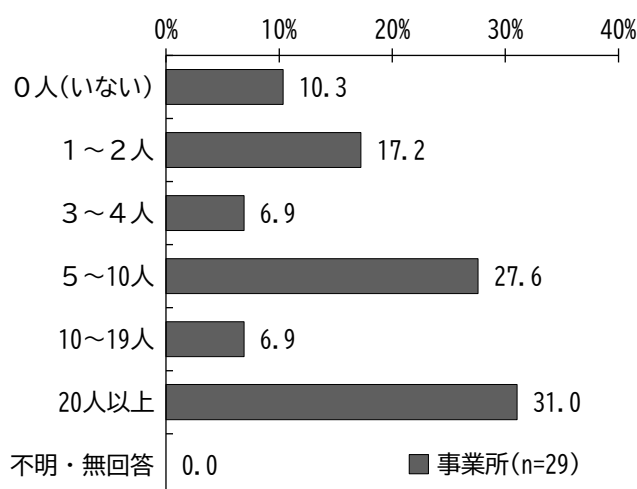
問 42 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。(○はいくつでも)  
※1人でも受け入れが可能であれば、○をつけてください。

医療処置が必要な利用者の受け入れが可能かどうかは、「褥瘡の処置」が79.4%と最も高く、次いで「ストーマの処置」が70.6%、「喀痰吸引」が61.8%となっています。なお、「上記に対応可能な医療処置はない」は8.8%となっています。



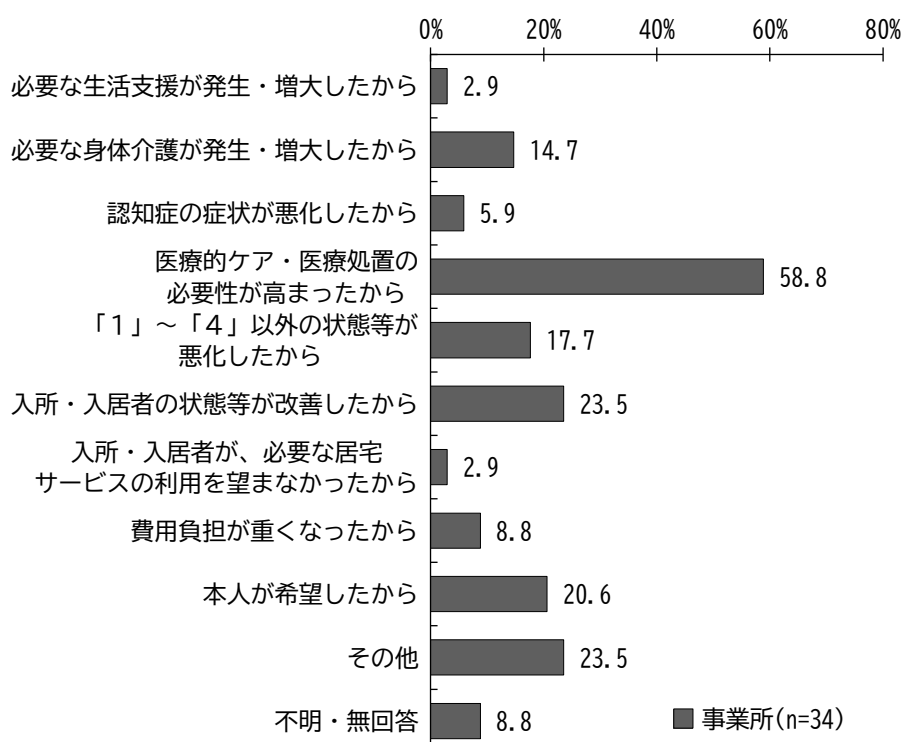
問 43 現在、問 42 の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。(数値を記入)

医療処置を受けている入所・入居者数は、「20 人以上」が 31.0%と最も高く、次いで「5～10 人」が 27.6%、「1～2 人」が 17.2%となっています。



問 44 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いもの（死亡した方は除く）を3つまで選択してください。(○は3つまで)

入居・入所者が、退去する理由は、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が 58.8%と最も高く、次いで「入所・入居者の状態等が改善したから」「その他」がそれぞれ 23.5%、「本人が希望したから」が 20.6%となっています。



問 45 貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。(自由回答)

入居・入所者が退去する主なケース

お亡くなりになられるため。

病状悪化による病院への入院。

入院、介護医療院への入所。(死亡、看取り対応の方を除いた場合)

看取りでなく、入院を希望される。

病院に入院されて、回復されずにそのまま退去となるケースがほとんどである。

老人保健施設なので4～5割の方は当施設でリハビリや介護指導の後は在宅復帰し、介護サービスを利用しながら在宅で生活している。その他、3割が病状悪化にて入院。2割が特別養護老人ホーム等の長期的な入所施設による退所である。

在宅復帰施設であり、3か月を目途に入所するケースが多い。3か月満了～在宅復帰となるケース。

特別養護老人ホームへの入所。

医療処置が必要となり入院し、そのまま状態が改善せず戻って来られないケース。特別養護老人ホームへの入所待ちの方の順番が来て転居するケース。(費用面)入居者の希望で地元の施設に入居したが、介護者の近くの施設へ転居するケース。

身体介護が増大してくる場合。

転倒による骨折で、リハビリに1か月以上が必要。嚥下機能の低下により普通食が食べられなくなった。

救急搬送。

西尾市 介護保険事業計画策定にかかるアンケート調査  
【調査結果報告書】

令和8年3月発行

発行 西尾市  
編集 西尾市 健康福祉部 長寿課

〒445-8501 愛知県西尾市寄住町下田 22 番地  
電話番号 0563-65-2119（直通）  
ファクス番号 0563-64-0995